

鳥取県がん検診実績報告書

平成17年 3 月

鳥 取 県
鳥取県健康対策協議会

は じ め に

鳥取県のがん検診の受診率は、全国平均に比べ高率である。それは、他県に先駆けて行った平成7年度からの肝臓がん検診及び陽性者へのフォローアップ事業、平成12年9月からの胃がん一次検診における内視鏡検査の導入、平成15年度からの便潜血検査1日2個法の採用等、特色ある検診事業が展開されていることと、また、市町村の保健師による住民への積極的な受診勧奨が行われていることが大きく寄与しているものと考えられる。

しかしながら、各市町村の対象者の把握方法が県下で統一されていないため、対象外とするべき者も含まれており、実際の受診率はもっと高いのではないかという疑問が残る。

対象者の把握については、平成14年度、県健康対策課が市町村に対し基本的な考え方を示し、それに沿って、ほとんどの町村は住民へのアンケート調査により把握することとしたが、しかし、4市では独自の数式で算定が行われている現状である。

また、平成15年度はやや改善されたが、精検受診率は低下傾向にあり、特に東部地区が低率である。市町村によっては、精検未受診者に受診したかどうかのアンケート調査等を行って、精検受診率80%以上の成果を出しているところもある。

がん検診を推進するに当たっては、市町村の検診への取組み体制の充実、要精検者に対する精検受診の大切さをより啓発すること、また、保健師の受診勧奨が極めて重要であることなどを、改めて認識すべきであると考えます。

特に平成16年度に市町村合併が行われてからは、人口規模の拡大により効率化に流されがちであり、検診の質の向上や受診率改善の見直しについて、今後も鋭意検討されるべきであると思っている。

以上、平成15年度の事業状況について取りまとめた。今後の事業展開のための指標として、本誌の活用を期待したい。

平成17年3月

鳥取県健康対策協議会

会 長 長 田 昭 夫

目 次

I. 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図	1
II. 平成15年度各がん検診事業実績	
1. 胃がん検診	3
2. 子宮がん検診	13
3. 肺がん検診	21
4. 乳がん検診	32
5. 大腸がん検診	39
6. 肝臓がん検診	48
7. 全国がん検診実績との比較	63
III. 平成16年度各がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況	
1. 胃がん検診症例研究会報告	69
2. 子宮がん検診症例研究会報告	70
3. 肺がん検診症例研究会報告	71
4. 乳がん検診症例研究会報告	73
5. 大腸がん検診症例研究会報告	74
6. 肝臓がん検診症例研究会報告	76
7. 各地区がん検診症例検討会開催状況	79
IV. 各がん検診精密検査医療機関登録について	80

Ⅱ. 平成15年度各がん検診事業実績

1. 胃 がん 検 診

1. 胃がん検診実績

対象者数（40歳以上のうち職域等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は171,941人で、このうち受診者数はX線検査31,587人、内視鏡検査は16,459人で合計48,046人であった。受診率は27.9%であった。平成14年度より受診者数は2,013人増加し、受診率は0.8ポイント増加した。また、年々と内視鏡検査の実施割合が増加している。

検査の結果、胃がんまたは胃がん疑いであった者は188人発見され（X線検査74人、内視鏡検査114人）、がん発見率は0.39%で前年度より27人、0.04ポイント増加した。発見がん数の増加の要因は、X線検査からの発見がん数が平成14年度より23例も増加したことである。

また、平成12年度から導入した内視鏡検査も4年間経過し、新規受診者の割合が減少し、発見癌数の伸び率が鈍化傾向となるが、X線検査でのがん発見率は0.23%に対し、内視鏡検査でのがん発見率0.69%で3倍も高い。

平成15年度の全国平均は受診率13.3%、要精検率11.5%、がん発見率0.18%で、鳥取県がいずれも上回っている。

(1) X線検査は39市町村で実施され、受診者数は31,587人で、受診率は18.4%で年々減少傾向である。一次検診の要精検者は3,434人、要精検率は10.9%。

このうち、精密検査を受診したのは2,702人、精検受診率は78.7%で、前年度より98人、5.6ポイントも増加した。このことが、がん発見者数、発見率の増加に寄与したと思われる。

毎年、東部地区の特に鳥取市の精検受診率が低率であることが指摘されるが、前年度より8.5ポイントも増加した。

鳥取市は「胃がん部会・胃がん対策専門委員会」で出された改善策を検討し、精検未受診者の紹介状を再発行し、受診の確認がとれた医療機関に送付し、結果を記入して頂くよう依頼。また、要精検者が紹介状を持参しない場合に備え、医療機関に紹介状を常置する等の措置を行った。また、米子市、境港市においては精密検査未受診者には受診したかどうかのアンケート調査を実施されていることを聞き、鳥取市も同様なアンケート調査を郵送することとした。しかし、米子市80.2%、境港市89.0%に比べ、鳥取市の精検受診率はまだまだ低い。

精検結果は、胃がんまたは胃がん疑いであった者は74人、胃がん発見率は0.23%で、平成14年度より23人も多かった。

(2) 内視鏡検査は、27市町村で実施され、受診者数は16,459人で、検査結果は胃がんまたは胃がん疑いであった者は114人が発見され、発見率は0.69%であった。

2. 胃がん検診発見胃がん確定調査結果

平成15年度に発見された胃がん及び胃がん疑いについて確定調査を行った結果、確定胃がんは158例（一次検査がX線検査：車検診33例、施設検診36例、一次検査内視鏡検査：89例）であった。

早期がんは112例、進行がんは46例で、早期がん率は70.9%と高率であった。このうち切除例は149例で、そのうち内視鏡切除は30例であった。

性・年齢別では、男性106例、女性52例であった。

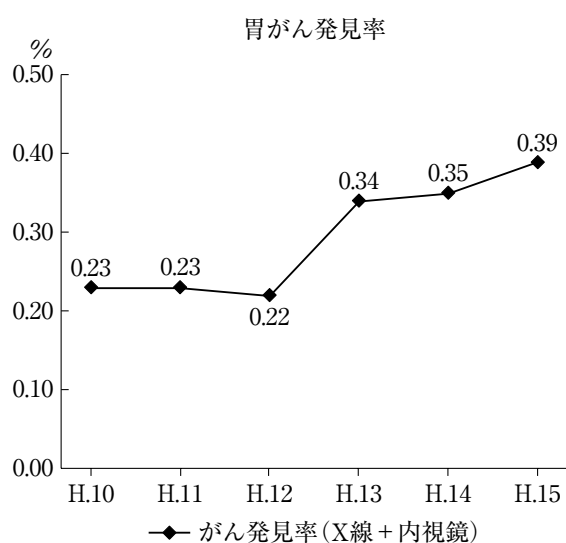
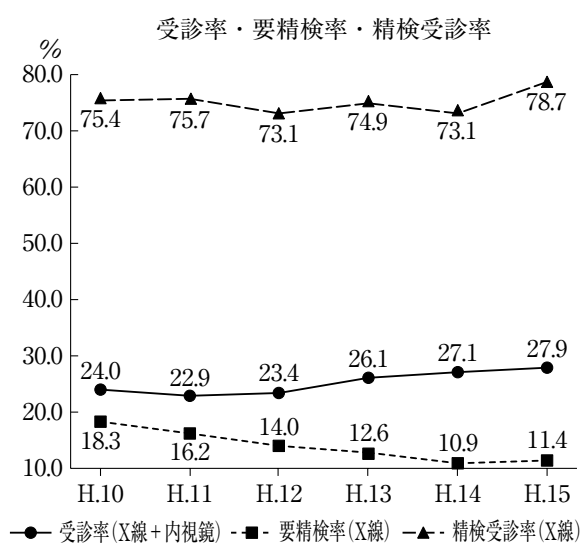
切除例の大きさは2cm以内が40.8%であった。車検診では46.7%、施設検診では18.2%、内視鏡検査では48.2%であった。

切除例の深達度では「t1」が108例で、そのうちmが71例であった。

また、前年度受診歴を有する進行癌は、車検診3例、施設検診4例、内視鏡検査で5例であった。

(1) 胃がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分	平 成 10年度	平 成 11年度	平成12年度			平成13年度			平成14年度			平成15年度			
			X線	内視鏡	計	X線	内視鏡	計	X線	内視鏡	計	X線	内視鏡	計	
一次検診	対象者数(人)	171,250	174,021			172,825			167,336			169,754			171,941
	受診者数(人)	41,165	39,783	36,706	3,651	40,357	33,904	9,732	43,636	32,738	13,295	46,033	31,587	16,459	48,046
	受診率(%)	24.0	22.9	21.2	2.1	23.4	20.3	5.8	26.1	19.3	7.8	27.1	18.4	9.6	27.9
一次検診 結 果	異常認めず(人)	33,639	33,319	31,556			29,618			29,175			28,153		
	要精検者数(人)	7,526	6,464	5,150			4,286			3,563			3,434		
	要精検率(%)	18.3	16.2	14.0			12.6			10.9			10.9		
精密検査	受診者数(人)	5,671	4,894	3,766			3,212			2,604			2,702		
	受診率(%)	75.4	75.7	73.1			74.9			73.1			78.7		
精密検査 結 果	胃がん又はがんの 疑いのある者(人)	95	90	64	23	87	75	73	148	51	110	161	74	114	188
	胃がん発見率(%)	0.23	0.23	0.17	0.63	0.22	0.22	0.75	0.34	0.16	0.81	0.35	0.23	0.69	0.39
確定調査 結 果	確定がん数(人)	84	82			79			109			142			158
	確定がん率(%)	0.20	0.21			0.20			0.25			0.31			0.33



(2) 平成15年度胃がんX線検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)		一 次 検 診 結 果				要精検率 (%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	457	883	54	74	403	809	11.8	8.4
45 ~ 49	597	1,163	73	97	524	1,066	12.2	8.3
50 ~ 54	865	1,979	91	156	774	1,823	10.5	7.9
55 ~ 59	969	2,445	113	224	856	2,221	11.7	9.2
60 ~ 64	1,555	3,040	199	283	1,356	2,757	12.8	9.3
65 ~ 69	2,072	3,774	271	357	1,801	3,417	13.1	9.5
70 ~ 74	2,294	3,629	314	383	1,980	3,246	13.7	10.6
75 ~ 79	1,585	2,328	216	262	1,369	2,066	13.6	11.3
80歳以上	831	1,121	140	127	691	994	16.8	11.3
計	11,225	20,362	1,471	1,963	9,754	18,399	13.1	9.6
合 計	31,587		3,434		28,153		10.9	

2) 胃がんX線検診精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)		精密検査結果								胃がん発見率(%)	
	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 がん		男	女
					男	女	男	女	男	女	男	女		
40～44	36	63	66.7	85.1	10	18	26	45	0	0	0	0	0.000	0.000
45～49	38	74	52.1	76.3	11	26	27	48	0	0	0	0	0.000	0.000
50～54	60	118	65.9	75.6	10	42	50	76	0	0	0	0	0.000	0.000
55～59	67	177	59.3	79.0	23	54	41	119	0	0	3	4	0.310	0.164
60～64	144	243	72.4	85.9	33	76	105	164	0	0	6	3	0.386	0.099
65～69	191	301	70.5	84.3	55	104	130	193	0	0	6	4	0.290	0.106
70～74	249	330	79.3	86.2	63	95	177	229	2	0	7	6	0.392	0.165
75～79	170	225	78.7	85.9	27	64	130	154	0	2	13	5	0.820	0.301
80歳以上	118	98	84.3	77.2	33	31	77	62	0	0	8	5	0.963	0.446
計	1,073	1,629	72.9	83.0	265	510	763	1,090	2	2	43	27	0.401	0.142
合 計	2,702		78.7		775		1,853		4		70		0.234	

3) 検査機関別

a. 一次検査結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)		一次検診結果				要精検率(%)	
	男	女	要精検者数		異常認めず		男	女
			男	女	男	女		
保健事業団	7,289	12,847	786	993	6,503	11,854	10.8	7.7
中国労働衛生協会	273	341	32	22	241	319	11.7	6.5
病 院	1,067	2,182	222	390	845	1,792	20.8	17.9
診 療 所	2,596	4,992	431	558	2,165	4,434	16.6	11.2
計	11,225	20,362	1,471	1,963	9,754	18,399	13.1	9.6
合 計	31,587		3,434		28,153		10.9	

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)		精密検査結果								胃がん発見率(%)	
	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 がん		男	女
					男	女	男	女	男	女	男	女		
保健事業団	591	864	75.2	87.0	148	256	415	582	0	2	18	14	0.247	0.125
中国労働衛生協会	22	21	68.8	95.5	8	10	12	10	0	0	2	0	0.733	0.000
集団検診小計	613	885	74.9	87.2	156	266	427	592	0	2	20	14	0.264	0.121
病 院	144	302	64.9	77.4	48	128	100	180	0	0	4	1	0.368	0.045
診 療 所	316	442	73.3	79.2	61	116	236	318	2	0	19	12	0.815	0.242
医療機関検診小計	460	744	70.4	78.5	109	244	336	498	2	0	23	13	0.683	0.181
計	1,073	1,629	72.9	83.0	265	510	763	1,090	2	2	43	27	0.401	0.142
合 計	2,702		78.7		775		1,853		4		70		0.234	

機関別要精検率

一次検診機関	13年度	14年度	15年度
保 健 事 業 団	10.1%	8.7%	8.8%
中国労働衛生協会	11.6%	5.9%	8.8%
集 団 検 診 小 計	10.2%	8.6%	8.8%
病 院	21.9%	19.2%	18.8%
診 療 所	14.0%	12.9%	13.0%
医療機関検診小計	16.8%	14.9%	14.8%
合 計	12.6%	10.9%	10.9%

4) 平成15年度鳥取県胃がんX線検診受診状況

市町村名	対象者数		受診施設		診者数		要精密検査者				検査結果				人員		
	A	車検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	車検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精検率 (%) I=H/D	精検受診者数 J	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の疾病 M	がん疑い N	がん O	異常者 計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	38,750	547	4,051	4,598	11.9	46	607	653	14.2	468	71.7	134	318	0	16	334	0.348
米子市	42,100	758	3,719	4,477	10.6	83	518	601	13.4	482	80.2	110	360	1	11	372	0.268
倉吉市	12,031	1,434	213	1,647	13.7	117	59	176	10.7	138	78.4	37	100	0	1	101	0.061
境港市	11,699	129	799	928	7.9	8	92	100	10.8	89	89.0	34	49	0	6	55	0.647
国府町	877	552	45	597	68.1	36	7	43	7.2	38	88.4	10	27	0	1	28	0.168
岩美町	2,721	771	91	862	31.7	51	20	71	8.2	52	73.2	16	36	0	0	36	0.000
福部村	896	99	126	225	25.1	5	9	14	6.2	7	50.0	2	5	0	0	5	0.000
郡家町	2,038	732	61	793	38.9	50	5	55	6.9	48	87.3	16	32	0	0	32	0.000
船岡町	1,375	569		569	41.4	49		49	8.6	42	85.7	18	21	0	3	24	0.527
河原町	2,573	585	137	722	28.1	41	30	71	9.8	49	69.0	15	34	0	0	34	0.000
八東町	2,488	621		621	25.0	34		34	5.5	32	94.1	6	24	1	1	26	0.322
若桜町	925	441		441	47.7	24		24	5.4	18	75.0	4	14	0	0	14	0.000
用瀬町	1,338	301	17	318	23.8	22	3	25	7.9	20	80.0	4	16	0	0	16	0.000
佐治村	1,060	232	13	245	23.1	22	1	23	9.4	16	69.6	7	8	0	1	9	0.408
智頭町	2,787	731	273	1,004	36.0	47	36	83	8.3	70	84.3	14	55	0	1	56	0.100
気高町	2,123	499	328	827	39.0	34	54	88	10.6	65	73.9	30	34	1	0	35	0.121
鹿野町	1,719	102	361	463	26.9	6	27	33	7.1	18	54.5	5	11	0	2	13	0.432
青谷町	3,126	596	201	797	25.5	50	48	98	12.3	73	74.5	36	32	0	5	37	0.627
羽合町	1,293	611	21	632	48.9	68	3	71	11.2	54	76.1	14	39	0	1	40	0.158
泊村	911	113	22	135	14.8	9	5	14	10.4	13	92.9	2	11	0	0	11	0.000
東郷町	1,828	526	31	557	30.5	37	4	41	7.4	31	75.6	8	21	0	2	23	0.359
三朝町	1,550	643		643	41.5	73		73	11.4	59	80.8	16	43	0	0	43	0.000
関金町	1,806	420		420	23.3	62		62	14.8	52	83.9	19	32	0	1	33	0.238
北条町	1,915	338	109	447	23.3	29	36	65	14.5	41	63.1	12	28	0	1	29	0.224
大栄町	1,963	867		867	44.2	75		75	8.7	65	86.7	25	39	0	1	40	0.115
東伯町	4,852	1,230		1,230	25.4	113		113	9.2	100	88.5	34	64	0	2	66	0.163
赤碕町	2,612	776	3	779	29.8	94	0	94	12.1	74	78.7	15	57	0	2	59	0.257
西伯町	1,495	252	97	349	23.3	27	8	35	10.0	28	80.0	5	22	1	0	23	0.287
糸見町	1,732	314		314	18.1	33		33	10.5	24	72.7	3	20	0	1	21	0.318
岸本町	2,335	548		548	23.5	52		52	9.5	43	82.7	10	33	0	0	33	0.000
日吉津村	440	249		249	56.6	24		24	9.6	21	87.5	4	16	0	1	17	0.402
淀江町	3,860	550	66	616	16.0	52	16	68	11.0	55	80.9	6	49	0	0	49	0.000
大山町	994	533		533	53.6	43		43	8.1	43	100.0	12	29	0	2	31	0.375
名和町	3,608	413		413	11.4	40		40	9.7	32	80.0	14	18	0	0	18	0.000
中山町	1,121	444		444	39.6	40		40	9.0	33	82.5	5	25	0	3	28	0.676
日南町	3,016	809	49	858	28.4	89	11	100	11.7	84	84.0	23	58	0	3	61	0.350
日野町	1,437	423	4	427	29.7	55	2	57	13.3	49	86.0	15	33	0	1	34	0.234
江府町	1,102	506		506	45.9	43		43	8.5	37	86.0	16	20	0	1	21	0.198
溝口町	1,445	486		486	33.6	50		50	10.3	39	78.0	19	20	0	0	20	0.000
合計	171,941	20,750	10,837	31,587	18.4	1,833	1,601	3,434	10.9	2,702	78.7	775	1,853	4	70	1,927	0.234

(3) 平成15年度胃がん内視鏡検診

1) 年齢階級別結果

年 齢	一次検診 受診者数 (人)		精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
			異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	174	346	83	192	91	153	0	0	0	1	0.000	0.289
45～49	177	382	72	201	104	181	0	0	1	0	0.565	0.000
50～54	310	611	150	298	158	312	0	1	2	0	0.645	0.164
55～59	407	1,010	176	502	230	506	1	1	0	1	0.246	0.198
60～64	762	1,477	379	784	384	689	1	1	2	3	0.394	0.271
65～69	1,199	1,873	529	942	658	928	0	0	12	5	1.001	0.267
70～74	1,424	2,035	594	1,034	811	992	2	2	17	7	1.334	0.442
75～79	1,098	1,516	486	729	590	775	2	4	20	8	2.004	0.792
80歳以上	621	1,037	301	520	306	511	3	2	11	4	2.254	0.579
計	6,172	10,287	2,770	5,202	3,332	5,047	9	11	65	29	1.199	0.389
合 計	16,459		7,972		8,379		20		94		0.693	

2) 検診機関別結果

検診機関	一次検診 受診者数 (人)		検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
			異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
病 院	1,878	2,782	737	1,248	1,128	1,526	2	5	11	4	0.692	0.324
診 療 所	4,294	7,505	2,033	3,954	2,201	3,524	7	6	54	25	1.421	0.413
計	6,172	10,287	2,770	5,202	3,329	5,050	9	11	65	29	1.199	0.389
合 計	16,459		7,972		8,379		20		94		0.693	

3) 平成15年度胃がん内視鏡検診受診状況

市町村名	検 査 結 果 別 人 員						がん発見率 (%) $G = (D + E) / A$
	受診者数 A	異常認めず B	その他の 疾 病 C	が ん 疑 い D	が ん E	異常者総計 F=C+D+E	
鳥取市	5,335	1,848	3,435	11	41	3,487	0.975
米子市	6,352	3,454	2,858	3	37	2,898	0.630
倉吉市	515	253	259	1	2	262	0.583
境港市	1,454	909	538	3	4	545	0.481
国府町	53	25	28	0	0	28	0.000
岩美町	184	68	116	0	0	116	0.000
福部村	88	18	70	0	0	70	0.000
郡家町	75	17	58	0	0	58	0.000
船岡町							—
河原町	90	22	68	0	0	68	0.000
八東町							—
若桜町							—
用瀬町	16	13	3	0	0	3	0.000
佐治村	160	121	37	0	2	39	1.250
智頭町	133	50	82	1	0	83	0.752
気高町	298	87	211	0	0	211	0.000
鹿野町	210	172	37	0	1	38	0.476
青谷町	81	28	53	0	0	53	0.000
羽合町	33	13	20	0	0	20	0.000
泊村	129	101	27	0	1	28	0.775
東郷町	30	10	20	0	0	20	0.000
三朝町							—
関金町							—
北条町	104	38	66	0	0	66	0.000
大栄町							—
東伯町							—
赤碕町	18	18	0	0	0	0	0.000
西伯町	571	391	176	1	3	180	0.701
会見町							—
岸本町							—
日吉津村							—
淀江町	75	19	56	0	0	56	0.000
大山町	52	40	12	0	0	12	0.000
名和町							—
中山町							—
日南町	54	38	16	0	0	16	0.000
日野町	71	31	40	0	0	40	0.000
江府町	106	88	15	0	3	18	2.830
溝口町	172	100	78	0	0	78	0.000
合計	16,459	7,972	8,379	20	94	8,493	0.693

(4) 平成15年度胃がん検診受診状況 (X線十内視鏡)

市町村名	対象者数 A	受診者数				X線検診精密検査及内視鏡検診結果別人員						
		X線 受診者 B	内視鏡 受診者 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	異常 認めず F	その他 の疾病 G	が ん 疑 い H	が ん I	異常者 総計 J=G+H+I	がん発見率 (%) K=(H+I)/D	
鳥取市	38,750	4,598	5,335	9,933	25.6	1,982	3,753	11	57	3,821	0.685	
米子市	42,100	4,477	6,352	10,829	25.7	3,564	3,218	4	48	3,270	0.480	
倉吉市	12,031	1,647	515	2,162	18.0	290	359	1	3	363	0.185	
境港市	11,699	928	1,454	2,382	20.4	943	587	3	10	600	0.546	
国府町	877	597	53	650	74.1	35	55	0	1	56	0.154	
岩美町	2,721	862	184	1,046	38.4	84	152	0	0	152	0.000	
福部村	896	225	88	313	34.9	20	75	0	0	75	0.000	
郡家町	2,038	793	75	868	42.6	33	90	0	0	90	0.000	
船岡町	1,375	569	0	569	41.4	18	21	0	3	24	0.527	
河原町	2,573	722	90	812	31.6	37	102	0	0	102	0.000	
八東町	2,488	621	0	621	25.0	6	24	1	1	26	0.322	
若桜町	925	441	0	441	47.7	4	14	0	0	14	0.000	
用瀬町	1,338	318	16	334	25.0	17	19	0	0	19	0.000	
佐治村	1,060	245	160	405	38.2	128	45	0	3	48	0.741	
智頭町	2,787	1,004	133	1,137	40.8	64	137	1	1	139	0.176	
気高町	2,123	827	298	1,125	53.0	117	245	1	0	246	0.089	
鹿野町	1,719	463	210	673	39.2	177	48	0	3	51	0.446	
青谷町	3,126	797	81	878	28.1	64	85	0	5	90	0.569	
羽合町	1,293	632	33	665	51.4	27	59	0	1	60	0.150	
泊村	911	135	129	264	29.0	103	38	0	1	39	0.379	
東郷町	1,828	557	30	587	32.1	18	41	0	2	43	0.341	
三朝町	1,550	643	0	643	41.5	16	43	0	0	43	0.000	
関金町	1,806	420	0	420	23.3	19	32	0	1	33	0.238	
北条町	1,915	447	104	551	28.8	50	94	0	1	95	0.181	
大栄町	1,963	867	0	867	44.2	25	39	0	1	40	0.115	
東伯町	4,852	1,230	0	1,230	25.4	34	64	0	2	66	0.163	
赤碕町	2,612	779	18	797	30.5	33	57	0	2	59	0.251	
西伯町	1,495	349	571	920	61.5	396	198	2	3	203	0.543	
会見町	1,732	314	0	314	18.1	3	20	0	1	21	0.318	
岸本町	2,335	548	0	548	23.5	10	33	0	0	33	0.000	
日吉津村	440	249	0	249	56.6	4	16	0	1	17	0.402	
淀江町	3,860	616	75	691	17.9	25	105	0	0	105	0.000	
大山町	994	533	52	585	58.9	52	41	0	2	43	0.342	
名和町	3,608	413	0	413	11.4	14	18	0	0	18	0.000	
中山町	1,121	444	0	444	39.6	5	25	0	3	28	0.676	
日南町	3,016	858	54	912	30.2	61	74	0	3	77	0.329	
日野町	1,437	427	71	498	34.7	46	73	0	1	74	0.201	
江府町	1,102	506	106	612	55.5	104	35	0	4	39	0.654	
溝口町	1,445	486	172	658	45.5	119	98	0	0	98	0.000	
合計	171,941	31,587	16,459	48,046	27.9	8,747	10,232	24	164	10,420	0.391	

(5) 平成15年度胃がん検診発見胃がん患者確定調査報告

表1 報告胃癌確定調査

	東 部			中 部			西 部			計
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
確 定 胃 癌 (発 見 率)	11	20	42	10	1	2	12	15	45	158 0.327
	73 (0.366)			13 (0.159)			72 (0.356)			
早 期 癌 (%)	7	13	30	8	0	2	9	4	39	112 (70.9)
	50 (68.5)			10 (76.9)			52 (72.2)			
進 行 癌	4	7	12	2	1	0	3	11	6	46
切 除 例	10	19	41	10	1	1	12	14	41	149
非 切 除 例	1	1	1	0	0	1	0	1	4	9

手術拒否…… 2 その他…… 1

手術不能…… 6

内視鏡手術：東 (15)、中 (2)、西 (13)

表2 性・年齢別

	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	2	5	25	55	19	106
女	0	5	13	22	12	52

表3 早期癌の肉眼分類

	東 部			中 部			西 部			計 (%)
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
I	1	4	5	3	0	0	0	0	0	13(11.6)
IIa	2	3	0	2	0	0	4	1	7	19(17.0)
IIc	2	3	21	2	0	0	4	1	22	55(49.1)
IIc+III	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3(2.7)
IIa+IIc	0	1	3	0	0	0	0	2	5	11(9.8)
そ の 他	2	2	0	0	0	2	1	0	4	11(9.8)
計	7	13	30	8	0	2	9	4	39	112

表4 進行癌の肉眼分類

	東 部			中 部			西 部			計 (%)
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2(4.4)
2	1	1	3	1	0	0	1	4	1	12(26.1)
3	0	3	2	1	0	0	0	2	0	8(17.4)
4	0	1	2	0	0	0	1	1	2	7(15.2)
5	2	1	4	0	0	0	1	3	3	14(30.4)
不 明	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3(6.5)
計	4	7	12	2	1	0	3	11	6	46

表5 切除例の深達度

	東 部			中 部			西 部			計
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
t1	6	13	30	8	0	1	9	4	37	108
m	3	9	19	6	0	1	9	1	23	71
t2	2	3	8	1	1	0	2	7	3	27
t3	2	3	3	1	0	0	1	3	1	14
t4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	19	41	10	1	1	12	14	41	149
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表6 切除例の大きさ

mm	～ 10	11 ～ 20	小計(%)	21 ～ 50	51 ～	計	不 明
車 検 診	3	11	14(46.7)	17	0	31	1
施 設 検 診	0	6	6(18.2)	15	12	33	1
内 視 鏡 検 診	15	24	40(48.2)	33	10	83	0
計	19	41	60(40.8)	64	22	147	2

表7—1 早期癌の占拠部位

	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
U	6	3	14
M	12	7	25
L	5	7	25
全 体	0	0	0
計	23	17	64
不 明	1	0	7

	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
小 弯	9	7	25
大 弯	2	3	12
前 壁	5	2	9
後 壁	7	4	18
全 周	0	1	0
計	23	17	64
不 明	1	0	7

表7—2 進行癌の占拠部位

	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
U	1	4	5
M	4	9	7
L	4	2	3
全 体	0	2	1
計	9	17	16
不 明	0	2	2

	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
小 弯	2	8	4
大 弯	1	1	2
前 壁	5	2	1
後 壁	0	4	5
全 周	1	2	4
計	9	17	16
不 明	0	2	2

表8 前年度受診歴を有する進行胃癌症例

地 区	検 診	歳	性	型	深達度	組織型	大きさ (mm)	占拠部位
東 部	車 検 診	78	男	5	t3 (se)	tub2	41×17	L 小弯
		63	女	5	t2 (mp)	por2	20×12	M 前壁
	施 設 検 診	81	女	2	t3 (se)	muc	67×58	ML 後壁
		67	男	不明	腹膜播種	不明	不明	試験開腹
	内視鏡検診	76	男	2	t3 (se)	tub2	25×22	U 後壁
		67	男	5	t2 (mp)	por2	25×20	M 後壁
中 部	車 検 診	68	女	2	t2 (ss)	por1	48×35	L 前壁
西 部	施 設 検 診	68	女	5	t3 (se)	por1	85×60	ML 小弯
		62	男	5	t2 (mp)	tub1	38×24	M 前壁
	内視鏡検診	79	女	5	t2 (mp)	tub2	40×18	ML 小弯
		72	男	2	t2 (ss)	por1	41×40	L 全周
		77	男	5	t2 (ss)	por1	100×60	UM前壁後壁小弯

表9 検診別癌発見率

	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
東 部	0.149	0.351	0.625
中 部	0.144	0.251	0.241
西 部	0.187	0.317	0.505

2. 子宮がん検診

1. 子宮がん検診実績

平成15年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は125,191人で、このうち受診者数は27,483人（「頸部のみ」26,718人、「頸部+体部」765人）で受診率は22.0%、要精検者数92人（車検診：23人、施設検診：69人）、要精検率は0.33%で、受診者数、受診率、要精検者数、要精検率ともに平成14年度とほぼ同様な結果であった。

このうち、精検受診者数は76人、精検受診率は82.6%で、平成14年度が75.0%と例年に比べかなり低率であったが、平成15年度は改善され、例年並の結果であった。また、毎年、東部地区の特に鳥取市の精検受診率が低率であることが指摘されるが、平成15年度は100%であった。

しかし、一次検診を病院で受診された人の精検受診率が63.6%で、例年は80%以上の結果であるのに対しかなり低率であった。精検未受診者となっても、実際には精検を受診し、何らかの理由で結果の把握ができていない者もあるのではないかと考えられるので、市町村の保健師にお願いして、結果収集をして頂くこととなった。

精検結果は、子宮がん8人、異形成34人の合計42人であり、子宮がん発見率は0.15%であった。

年代別にみると、例年通り30歳代の受診率は低いが、約6割は新規受診者が占めており、望ましい傾向に思われる。また、30～40歳台の要精検率、がん発見率は依然として高い。

また、要精検者には、がん発見率が高いので精密検査の早期受診勧奨が必要である。

2. 子宮体部がん検診

子宮がん検診受診者数27,483人中、体部がん検診対象者数は885人（3.2%）で、一次検診会場での受診者は762人、また一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者が77人で、受診者の合計は839人で、受診率は94.8%であった。子宮頸部がん検診者のうち子宮体部がん受診者の占める割合は平成14年度全国平均は9.04%であるが、それに比べ鳥取県は低率である。

一次検診の結果、要精検となった者は12人、要精検率1.57%で、精検受診者数9人、精検受診率は75.0%で、低下傾向である。

精検の結果、子宮体部がんは一次検診会場の受診者から1人、子宮内膜増殖症3人発見され、医療機関での検査受診者からは子宮内膜増殖症が4人発見された。がん発見率は0.95%であった。

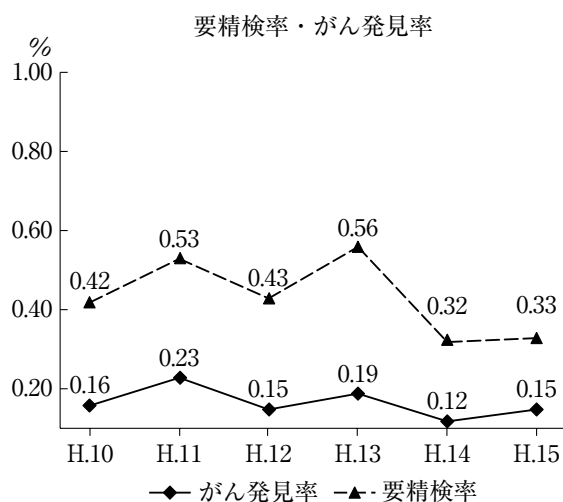
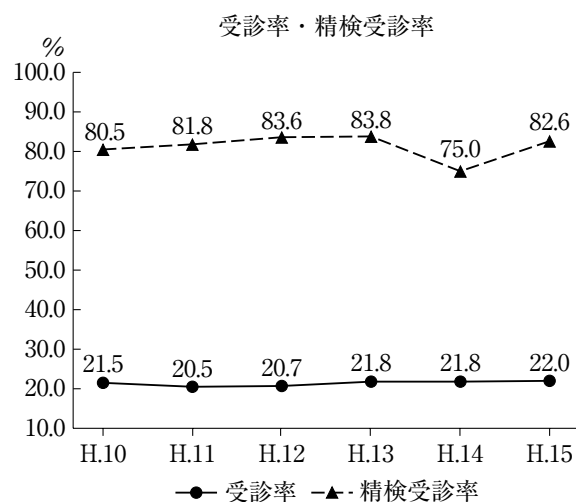
3. 子宮がん検診発見子宮がん確定調査結果

平成15年度は子宮頸部がん8名、異形成34名であった。そのうち1例は、Ⅲb期、腺癌で、手術不可能なものがあった。受診歴は3年以上前であった。

また、子宮体部がんが1例、子宮内膜増殖症は3例であった。

(1) 子宮頸部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
一次検診	対象者数(人)	124,486	126,103	124,662	121,326	125,040	125,191
	受診者数(人)	26,787	25,874	25,797	26,486	27,197	27,483
	受診率(%)	21.5	20.5	20.7	21.8	21.8	22.0
一次検診結果	異常認めず(人)	26,674	25,737	25,687	26,338	27,109	27,391
	要精検者数(人)	113	137	110	148	88	92
	要精検率(%)	0.42	0.53	0.43	0.56	0.32	0.33
精密検査	受診者数(人)	91	112	92	124	66	76
	受診率(%)	80.5	81.8	83.6	83.8	75.0	82.6
精密検査結果	子宮がん又は異形成の者(人)	42	59	39	49	33	42
	精検受診者に占めるがん・がん疑いの割合(%)	46.2	52.7	42.4	39.5	50.0	55.3
	子宮がん発見率(%)	0.16	0.23	0.15	0.19	0.12	0.15
確定調査結果	確定がん数(人)	5	19	10	8	12	8
	確定がん率(%)	0.02	0.07	0.04	0.03	0.04	0.03



(2) 平成15年度子宮頸部がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年齢	対象者数(人)	一次検診受診者数(人)	受診率(%)	一次検診結果		要精検率(%)
				要精検者数	異常認めず	
30～34	7,486	1,719	23.0	20	1,699	1.16
35～39	6,968	1,866	26.8	12	1,854	0.64
40～44	7,538	2,395	31.8	15	2,380	0.63
45～49	8,676	2,452	28.3	12	2,440	0.49
50～54	11,377	3,003	26.4	11	2,992	0.37
55～59	11,126	3,355	30.2	6	3,349	0.18
60～64	13,413	3,693	27.5	7	3,686	0.19
65～69	15,230	3,964	26.0	3	3,961	0.08
70～74	15,003	3,157	21.0	1	3,156	0.03
75～79	12,521	1,530	12.2	4	1,526	0.26
80歳以上	15,853	349	2.2	1	348	0.29
計	125,191	27,483	22.0	92	27,391	0.33

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精密検査結果				子宮がん発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異形形成	子宮がん	
30 ~ 34	19	95.0	4	4	10	1	0.640
35 ~ 39	10	83.3	0	1	7	2	0.482
40 ~ 44	12	80.0	3	4	5	0	0.209
45 ~ 49	11	91.7	3	1	5	2	0.285
50 ~ 54	7	63.6	3	3	1	0	0.033
55 ~ 59	3	50.0	0	0	1	2	0.089
60 ~ 64	6	85.7	0	3	2	1	0.081
65 ~ 69	3	100.0	3	0	0	0	0.000
70 ~ 74	1	100.0	0	0	1	0	0.032
75 ~ 79	3	75.0	0	1	2	0	0.131
80歳以上	1	100.0	1	0	0	0	0.000
計	76	82.6	17	17	34	8	0.153

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)	一次検診結果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
保健事業団	12,034	23	12,011	0.19
病 院	6,564	33	6,531	0.50
診 療 所	8,885	36	8,849	0.41
計	27,483	92	27,391	0.33

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精密検査結果				子宮がん発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異形形成	子宮がん	
保健事業団	21	91.3	3	3	13	2	0.125
病 院	21	63.6	6	4	8	3	0.168
診 療 所	34	94.4	8	10	13	3	0.180
計	76	82.6	17	17	34	8	0.153

4) 平成15年度子宮頸部がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査者		検査結果		別人員							
	A	B	C	計	受診率 (%)	F	G	H = F + G	I = H/D	要精密検査率 (%)	精検査者数	精検査率 (%)	L	M	N	O	P	がん発見率 (%)
				D = B + C	E = D/A			H = F + G	I = H/D	J	K = J/H							Q = (N+O)/D
鳥取市	31,860	651	3,501	4,152	13.0	0	20	20	0.5	20	100.0	5	6	6	3	15	0.217	
米子市	30,580	4	5,898	5,902	19.3	0	23	23	0.4	17	73.9	4	2	8	3	13	0.186	
倉吉市	7,678	440	944	1,384	18.0	2	6	8	0.6	8	100.0	0	3	5	0	8	0.361	
境港市	8,279		1,041	1,041	12.6		5	5	0.5	5	100.0	3	1	1	0	2	0.096	
国府町	638	458	61	519	81.3	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
岩美町	1,954	659	119	659	33.7	1	1	1	0.2	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000	
福部村	658	69	119	188	28.6	0	2	2	1.1	1	50.0	0	0	1	0	1	0.532	
郡家町	1,450	597	90	687	47.4	2	0	2	0.3	2	100.0	0	0	2	0	2	0.291	
船岡町	1,035	355		355	34.3	1	1	1	0.3	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000	
河原町	1,894	378	141	519	27.4	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
八東町	1,726	369		369	21.4	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
若桜町	1,320	414		414	31.4	1	1	1	0.2	1	100.0	0	0	1	0	1	0.242	
用瀬町	915	99	121	220	24.0	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
佐治村	674	197	54	251	37.2	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
智頭町	1,960	546	104	650	33.2	3	0	3	0.5	2	66.7	0	0	2	0	2	0.308	
気高町	1,425	80	460	540	37.9	0	1	1	0.2	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000	
鹿野町	1,315	161	110	271	20.6	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
青谷町	2,175	262	82	344	15.8	0	1	1	0.3	0	0.0					0	0.000	
羽合町	1,015	147	304	451	44.4	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
泊村	533	122	81	203	38.1	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
東郷町	1,280	177	151	328	25.6	1	1	2	0.6	1	50.0	0	1	0	0	1	0.000	
三朝町	1,297	454		454	35.0	1	1	1	0.2	1	100.0	0	0	0	1	1	0.220	
関金町	1,299	334		334	25.7	3	3	3	0.9	3	100.0	0	0	3	0	3	0.898	
北条町	1,559	360	117	477	30.6	0	3	3	0.6	3	100.0	1	2	0	0	2	0.000	
大栄町	1,417	856		856	60.4	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
東伯町	3,369	822		822	24.4	1	1	1	0.1	1	100.0	0	0	1	0	1	0.122	
赤碕町	1,762	561	11	572	32.5	2	0	2	0.3	2	100.0	0	1	1	0	2	0.175	
西伯町	666		251	251	37.7	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
会見町	1,045	189	27	216	20.7	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
岸本町	1,680	350	182	532	31.7	1	0	1	0.2	1	100.0	0	0	1	0	1	0.188	
日吉津村	459	33	246	279	60.8	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
淀江町	2,667	58	518	576	21.6	0	2	2	0.3	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000	
大山町	677	354	25	379	56.0	2	0	2	0.5	2	100.0	0	0	1	1	2	0.528	
名和町	2,421	129	240	369	15.2	0	1	1	0.3	0	0.0					0	0.000	
中山町	718	186	56	242	33.7	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
日南町	1,637	501		501	30.6	1	1	1	0.2	1	100.0	0	0	1	0	1	0.200	
日野町	623	349	33	382	61.3	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
江府町	959	3	375	378	39.4	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000	
溝口町	572	310	106	416	72.7	1	4	5	1.2	0	0.0					0	0.000	
合計	125,191	12,034	15,449	27,483	22.0	23	69	92	0.3	76	82.6	17	17	34	8	59	0.153	

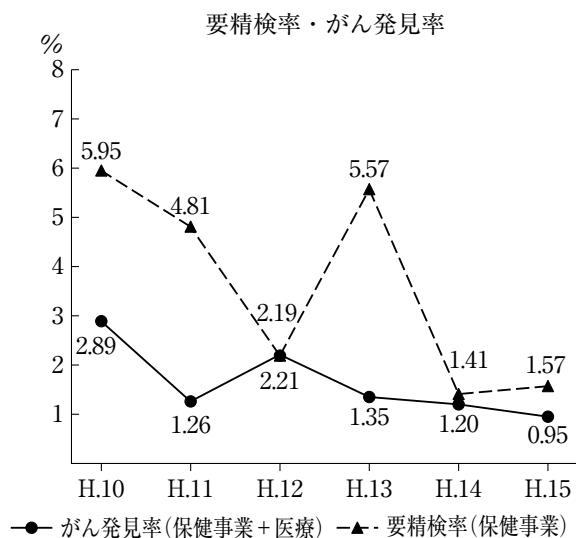
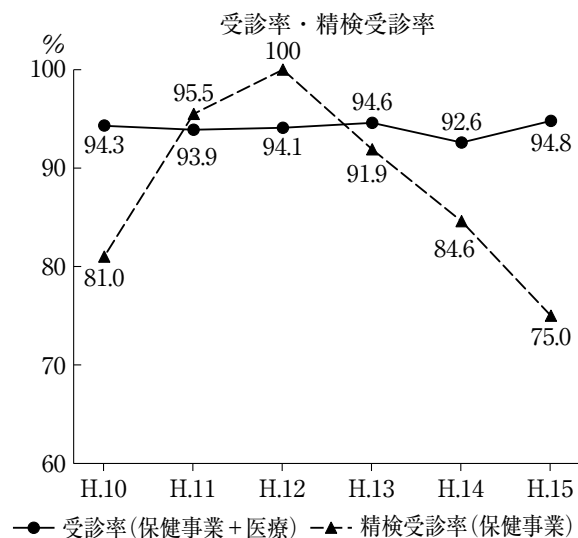
(3) 子宮体部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成10年度			平成11年度			平成12年度		
		保健事業分	医療分	合計	保健事業分	医療分	合計	保健事業分	医療分	合計
一次検診	対象者数(人)	404		404	506		506	626		626
	受診者数(人)	353	28	381	457	18	475	502	87	589
	受診率(%)	87.4		94.3	90.3		93.9	80.2		94.1
一次検診結果	異常認めず(人)	332			435			491		
	要精検(人)	21			22			11		
	要精検者の割合(%)	5.95			4.81			2.19		
精密検査	受診者数(人)	17			21			11		
	受診率(%)	81.0			95.5			100.0		
精密検査結果	子宮がん又はがんの疑いのある者(人)	6	5	11	5	1	6	2	11	13
	子宮がん発見率(%)	1.70	17.86	2.89	1.09	5.56	1.26	0.40	12.64	2.21

区	分	平成13年度			平成14年度			平成15年度		
		保健事業分	医療分	合計	保健事業分	医療分	合計	保健事業分	医療分	合計
一次検診	対象者数(人)	785		785	1,084		1,084	885		885
	受診者数(人)	664	79	743	921	83	1,004	762	77	839
	受診率(%)	84.6		94.6	85.0		92.6	86.1		94.8
一次検診結果	異常認めず(人)	627			908			750		
	要精検(人)	37			13			12		
	要精検者の割合(%)	5.57			1.41			1.57		
精密検査	受診者数(人)	34			11			9		
	受診率(%)	91.9			84.6			75.0		
精密検査結果	子宮がん又はがんの疑いのある者(人)	8	2	10	5	7	12	4	4	8
	子宮がん発見率(%)	1.20	2.53	1.35	0.54	8.43	1.20	0.52	5.19	0.95

※「保健事業分」については医療機関検診及び集団検診において検診を受けた者、「医療分」については集団検診で当日体部がん検診を受けられず、後日医療機関で受診した者です。

※全体の対象者は平成8年度から集計を行っているため、それ以前の受診率は算出できません。



(4) 平成15年度子宮体部がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年 齢	体部がん検診対象者数(人)	一次検診受診者数(人)	受診率(%)	一 次 検 診 結 果		要精検割合(%)
				要精検者数	異常認めず	
30～34	42	39	92.9	0	39	0.00
35～39	75	70	93.3	0	70	0.00
40～44	113	108	95.6	0	108	0.00
45～49	158	144	91.1	2	142	1.39
50～54	247	194	78.5	4	190	2.06
55～59	110	99	90.0	2	97	2.02
60～64	52	43	82.7	3	40	6.98
65～69	43	34	79.1	0	34	0.00
70～74	28	18	64.3	1	17	5.56
75～79	16	13	81.3	0	13	0.00
80歳以上	1	0	0.0	0	0	0.00
計	885	762	86.1	12	750	1.57

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)	精 密 検 査 結 果				子宮がん発見率(%)
		異常認めず	その他の疾病	子宮内膜増殖症	子宮体部がん	
30～34	0	0	0	0	0	0.00
35～39	0	0	0	0	0	0.00
40～44	0	0	0	0	0	0.00
45～49	0	0	0	0	0	0.00
50～54	4	1	1	2	0	1.03
55～59	2	1	0	1	0	1.01
60～64	2	0	1	0	1	2.33
65～69	0	0	0	0	0	0.00
70～74	1	1	0	0	0	0.00
75～79	0	0	0	0	0	0.00
80歳以上	0	0	0	0	0	0.00
計	9	3	2	3	1	0.52

3) 一次検診会場で子宮体部がん検診を受診できなかった者の結果 (年齢階級別)

年 齢	体部がん検査受診者数(人)	検 査 結 果			
		異常認めず	その他の疾病	子宮内膜増殖症	子宮体部がん
30～34	1	1	0	0	0
35～39	3	1	1	1	0
40～44	0	0	0	0	0
45～49	6	5	0	1	0
50～54	32	25	5	2	0
55～59	10	10	0	0	0
60～64	5	5	0	0	0
65～69	9	8	1	0	0
70～74	7	6	1	0	0
75～79	4	3	1	0	0
80歳以上	0	0	0	0	0
計	77	64	9	4	0

4) 平成15年度子宮体部がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数			要精密検査者			検査結果				がん発見率 (%) Q = (N+O)/D			
	A	B	車検診 C	施設検診 D = B+C	受診率 (%) E = D/A	車検診 F	施設検診 G	計 H = F+G	要精検率 (%) I = H/D	精検受診 者数 J	精検受診 率 (%) K = J/H	異常 認めず L		その 他の 疾病 M	子宮内 膜 増 殖 症 N	が ん O
鳥取市	248		231	231	93.1	F	1	1	0.4	0	0.0				0	
米子市	299		291	291	97.3		5	5	1.7	5	100.0	2	1	1	1	3
倉吉市	62		52	52	83.9		1	1	1.9	0	0.0				0	
境港市	28		28	28	100.0		1	1	3.6	1	100.0	0	0	1	0	1
国府町	7		2	2	28.6		0	0	—		—				0	
岩美町	6		0	0	—		0	0	—		—				0	
福部村	12		10	10	83.3		0	0	—		—				0	
郡家町	7		1	1	14.3		0	0	—		—				0	
船岡町	9		0	0	—		0	0	—		—				0	
河原町	7		2	2	28.6		0	0	—		—				0	
八東町			0	0	—		0	0	—		—				0	
若桜町	6		0	0	—		0	0	—		—				0	
用瀬町	14		14	14	100.0		0	0	—		—				0	
佐治村	4		4	4	100.0		0	0	—		—				0	
智頭町	4		0	0	—		0	0	—		—				0	
気高町	29	1	26	27	93.1		0	0	—		—				0	
鹿野町	9	1	8	9	100.0		1	2	22.2	2	100.0	1	1	0	0	1
青谷町			0	0	—		0	0	—		—				0	
羽合町	20	3	13	16	80.0		0	1	6.3	0	0.0				0	
羽村	3		3	3	100.0		0	0	—		—				0	
東郷町	14		9	9	64.3		0	0	—		—				0	
三朝町	6		0	0	—		0	0	—		—				0	
関金町	1		0	0	—		0	0	—		—				0	
北条町			0	0	—		0	0	—		—				0	
大栄町	11		0	0	—		0	0	—		—				0	
東伯町			0	0	—		0	0	—		—				0	
赤碕町			0	0	—		0	0	—		—				0	
西伯町	16		16	16	100.0		0	0	—		—				0	
会見町	1	1	1	1	100.0		0	0	—		—				0	
岸本町	11		9	9	81.8		1	1	11.1	1	100.0	0	0	1	0	1
日吉津村	5	1	4	5	100.0		0	0	—		—				0	
淀江町	14		13	13	92.9		0	0	—		—				0	
大山町			0	0	—		0	0	—		—				0	
名和町	11	1	10	11	100.0		0	0	—		—				0	
中山町	6	2		2	33.3		0	0	—		—				0	
日南町	9			0	—			0	—		—				0	
日野町				0	—			0	—		—				0	
江府町	6		6	6	100.0		0	0	—		—				0	
漣口町				0	—			0	—		—				0	
合計	885	10	752	762	86.1	1	11	12	1.6	9	75.0	3	2	3	1	6

(5) 平成15年度子宮がん検診発見がん患者確定調査結果

表1 子宮がん検診確定調査結果（頸部）

最終診断	車検診		施設検診	
	平成14年度	平成15年度	平成14年度	平成15年度
異形成	6	14	16	20
頸癌0期	1	2	6	3
頸癌Ia期	0	0	3	2
頸癌Ib期以上	0	0	2	1
合計	7	16	27	26

表2 子宮がん検診確定調査結果（体部）

最終診断	平成14年度	平成15年度
内膜増殖症	8	3
体癌Ia、Ib期	1	1
体癌Ic期以上	2	0
合計	11	4

表3 発見子宮がん症例（Ib期以上）のがん検診受診歴

受診歴	車検診	施設検診	計
前年受診	0	0	0
2年間隔	0	0	0
3年以上の間隔	0	1	1
初回受診	0	0	0

表4 治療機関

	頸癌0期	頸癌Ia期	頸癌Ib期以上	体癌
鳥取大学	1	0	1	1
県立中央	2	1	0	0
鳥取市立	0	1	0	0
博愛	2	0	0	0

3. 肺 が ん 検 診

1. 肺がん検診実績

平成15年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は178,762人で、このうち受診者数は63,649人（車検診：49,951人、施設検診：13,698人）で、受診率は35.6%で、前年度とほぼ同率であった。

要精検者数は640人で、要精検率は1.01%で平成14年度より297人、0.47ポイント増加した。特に一次検診を病院、診療所で受診された人の要精検率が平成14年度より高くなっている。

そのうち、精検受診者は489人、精検受診率は76.4%で、前年度より218人増加した。精検受診率は上向きとなったが、過去の成績と比べると依然として低い結果である。また、毎年、東部地区の特に鳥取市の精検受診率が低率であることが指摘されるが、前年度より19ポイントも増加した。一次検診を病院、診療所で受診された人の精検受診率も改善されている。

精検結果、肺がん又はがん疑いのある者78人が発見され、がん発見率は0.12%で、過去最高の成績であった。追跡調査の結果、確定がん69人、がん発見率0.11%であった。特に、65歳以上の男性からがんが多く発見されている。

また、受診者総数のうち経年受診者は76.0%を占め、この経年受診者のがん発見率は0.103%、非経年受診者のがん発見率0.183%であった。

X線検査受診者63,649人中、喀痰検査の対象者となる高危険群所属者は8,443人で、そのうち喀痰検査を受診した者は5,182人であった。高危険群所属者のうち、がん・がん疑いの者が20人発見され、がん発見率は0.237%であった。

非高危険群所属者のうち、がん・がん疑いの者が58人発見され、がん発見率は0.105%で、高危険群所属者のがん発見率の方が約2.3倍高かった。

受診率は横這い状態であるが、要精検、精検受診、発見がん共に実数、率が増加した。これは、同委員会で、2003年度版判定基準の使用に向けて「X線検査D判定の中でがんの疑いを否定しえない者はE判定とするように」という話しを受けての結果と思われる。

また、一次検診を病院、診療所で受診された人の要精検率、精検受診率が平成14年度より増加している要因としては、医療機関検診が大半を占める鳥取市の改善が大きいと思われる。

しかし、精検未受診者が全体で151人もいる。精検未受診者となっても、実際には精検を受診し、何らかの理由で結果の把握ができていない者もあるのではないかという意見があり、市町村の保健師にお願いして、結果収集をして頂きたいという要望があった。また、54歳以下の精検受診率が低率であること、また、80歳以上からもがんが多く発見されているのに、精検受診率が低いので、受診勧奨を行うこととなった。

2. 肺がん検診発見肺がん追跡調査結果

1) 平成15年度は原発性肺癌65例（発見率10万対102）、転移性肺腫瘍4例、合計69例で過去最高であった。

(1) 胸部X線のみでの発見肺がんの割合は62例（95.4%）と引き続き高い傾向が続いている。内訳はE発見が44/62（約71%）と高率であった。最近の傾向であるが、喀痰検査のみでの発見がんは減少しており、平成15年度は1例であった。

(2) 平成15年度は平均年齢74.7歳で、例年に比べ高齢者が多く、手術が出来ない症例が多かった。また、近年は女性肺癌が増加傾向であったが、平成15年度は男性の癌が増えている。

扁平上皮癌が少し増えている。

(3) 手術症例の割合は50.8%と減少したが、手術症例のうち絶対的、相対的治癒手術は90.9%を占めていた。

(4) 腫瘍径は平均38.7mmで昨年度より大きながんが見つかった。その中でも、145mmと大きなものが見つかり、胸部X線D判定で、初回受診者であった。手術は施行されている。

2) 昭和62年から平成15年までの原発性肺癌は609例(発見率10万対59)であった。診断方法は胸X519例(85.2%)、細胞診51例(8.4%)、両者38例(6.2%)である。最近の特徴として細胞診からの肺癌発見が少なくなっている。平均年齢71.4歳、男：女=391：218で、最近の女性肺癌の増加が著しい。343例(56.3%)に手術が行われた。

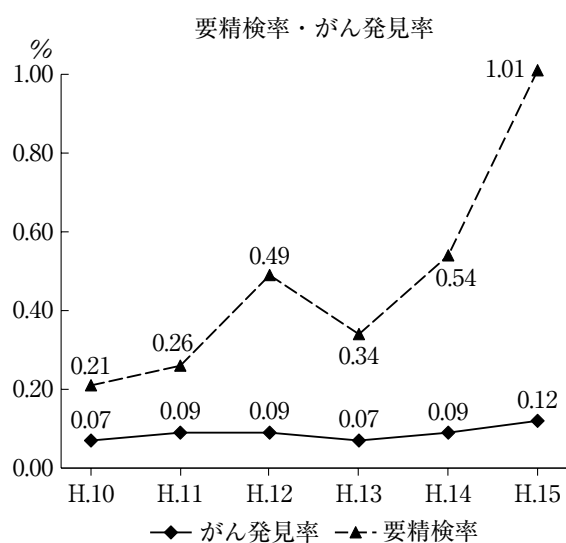
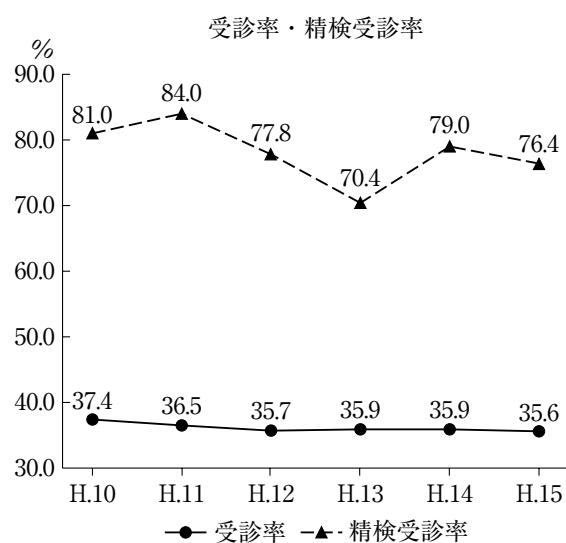
手術有無別の累積生存率、術後病期別(新分類)の累積生存率は次頁の図に示す。全症例(609例)の5生率37.8%、10生率21.1%であり、手術例の5生率59.5%、10生率35.5%である。そして手術例の1A期(158例)の5生率は81.2%、10生率は58.6%と良好な結果を示している。

鳥取県の場合、前年度検診受診者と前年度検診を受診していない者の予後を比較してみると大差がないことがわかった。原因を考えると、鳥取県の場合、前年度検診受診者の中には、実際にはX線E判定者とすべき症例があり、進行した予後不良症例が多いのではないかと考えられる。また、喀痰検査D、E判定から早期の肺癌が多く見つかったのに、近年、喀痰検査実施割合が減少している。特に、高危険群所属者の喀痰実施率が非常に低いことがあげられる。

(1) 肺がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	172,667	177,815	175,818	174,453	177,198	178,762
	受 診 者 数(人)	64,540	64,845	62,837	62,631	63,616	63,649
	受 診 率(%)	37.4	36.5	35.7	35.9	35.9	35.6
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	64,403	64,676	62,526	62,415	63,273	63,009
	要 精 検 者 数(人)	137	169	311	216	343	640
	要 精 検 率(%)	0.21	0.26	0.49	0.34	0.54	1.01
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	111	142	242	152	271	489
	受 診 率(%)	81.0	84.0	77.8	70.4	79.0	76.4
精密検査結果	肺がん又はがんの疑いのある者(人)	48	58	59	43	59	78
	肺がん発見率(%)	0.07	0.09	0.09	0.07	0.09	0.12
確定調査結果	確 定 が ん 数(人)	47 (40)	48 (41)	48 (42)	37 (30)	54 (48)	69 (65)
	確 定 が ん 率(%)	0.07	0.07	0.08	0.06	0.08	0.11

※確定がん数の()の数字は原発性肺癌です。



(2) 平成15年度肺がん検診検査結果（検診機関別）

1) 一次検診結果（年齢階級別）

a. X線検査結果

年 齢	対象者数 (人)		X 線 検 査								X 線 フ ィ ル ム 読 影 結 果							
			X線検査 受診者数		受診率 (%)		経年受診 者数再掲		経年受診 者数割合 (%)		異常認めず		要精検 者 数		要精検率 (%)		X線検査受診 者中高危険群 所 属 者 数	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	3,681	6,344	668	1,611	18.2	25.4	370	932	55.4	57.9	665	1,604	3	7	0.45	0.43	9	8
45～49	4,844	7,395	889	1,892	18.4	25.6	582	1,296	65.5	68.5	883	1,878	6	14	0.67	0.74	10	9
50～54	6,858	10,268	1,376	3,085	20.1	30.0	938	2,182	68.2	70.7	1,365	3,062	11	23	0.80	0.75	641	49
55～59	6,799	10,419	1,648	4,014	24.2	38.5	1,103	2,902	66.9	72.3	1,632	3,990	16	24	0.97	0.60	778	61
60～64	9,322	13,515	2,724	5,451	29.2	40.3	1,884	4,124	69.2	75.7	2,698	5,416	26	35	0.95	0.64	1,123	82
65～69	10,880	15,676	4,034	6,949	37.1	44.3	3,128	5,504	77.5	79.2	3,983	6,884	51	65	1.26	0.94	1,473	98
70～74	11,029	15,895	4,963	7,422	45.0	46.7	3,965	5,844	79.9	78.7	4,906	7,361	57	61	1.15	0.82	1,828	78
75～79	8,296	13,535	3,878	5,902	46.8	43.6	3,191	4,776	82.3	80.9	3,828	5,837	50	65	1.29	1.10	1,308	65
80歳以上	7,157	16,849	2,593	4,550	36.2	27.0	2,123	3,531	81.9	77.6	2,536	4,481	57	69	2.20	1.52	778	45
計	68,866	109,896	22,773	40,876	33.1	37.2	17,284	31,091	75.9	76.1	22,496	40,513	277	363	1.22	0.89	7,948	495
合 計	178,762		63,649		35.6		48,375		76.0		63,009		640		1.01		8,443	

b. 喀痰細胞診結果

年 齢	喀痰細胞診受診者数 (人)		喀 痰 細 胞 診 結 果				要精検率 (%)	
			精検不要		要精検者数			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	73	30	73	30	0	0	0.00	0.00
45～49	128	21	128	21	0	0	0.00	0.00
50～54	265	60	265	60	0	0	0.00	0.00
55～59	375	101	374	101	1	0	0.27	0.00
60～64	555	171	554	171	1	0	0.18	0.00
65～69	799	194	799	194	0	0	0.00	0.00
70～74	1,013	144	1,010	144	3	0	0.30	0.00
75～79	770	102	769	102	1	0	0.13	0.00
80歳以上	330	51	328	51	2	0	0.61	0.00
計	4,308	874	4,300	874	8	0	0.19	0.00
合 計	5,182		5,174		8		0.15	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年齢	要精検者数 (人)		精密検査 受診者数		精密検査 受診率(%)		精密検査結果								肺がん発見率 (%)	
	男	女	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん		男	女
							男	女	男	女	男	女	男	女		
40～44	3	7	3	4	100.0	57.1	3	3	0	1	0	0	0	0	0.000	0.000
45～49	6	14	3	9	50.0	64.3	3	6	0	3	0	0	0	0	0.000	0.000
50～54	11	23	4	21	36.4	91.3	2	15	2	5	0	0	0	1	0.000	0.032
55～59	16(1)	24	11	17	68.8	70.8	5	10	4	7	1	0	1	0	0.121	0.000
60～64	26(1)	35	19	29	73.1	82.9	11	16	6	11	0	1	2	1	0.073	0.037
65～69	51	65	45	49	88.2	75.4	20	24	17	18	2	2	6	5	0.198	0.101
70～74	57(3)	61	46	50	80.7	82.0	21	25	17	19	1	2	7	4	0.161	0.081
75～79	50(1)	65	44	46	88.0	70.8	11	20	15	21	4	4	14	1	0.464	0.085
80歳以上	57(2)	69	39	50	68.4	72.5	16	26	11	17	1	2	11	5	0.463	0.154
計	277(8)	363	214	275	77.3	75.8	92	145	72	102	9	11	41	17	0.220	0.068
合計	640(8)		489		76.4		237		174		20		58		0.123	

() はX線検査と喀痰細胞診検査結果が両者とも要精検

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

年齢	一次検診受診者数 (人)		一次検診結果				要精検率(%)	
	男	女	要精検者数		異常認めず		男	女
			男	女	男	女		
保健事業団	17,575	31,481	148	179	17,427	31,302	0.84	0.57
中国労働会 衛生協会	336	559	7	9	329	550	2.08	1.61
病院	2,235	3,875	69	77	2,166	3,798	3.09	1.99
診療所	2,627	4,961	53	98	2,574	4,863	2.02	1.98
計	22,773	40,876	277	363	22,496	40,513	1.22	0.89
合計	63,649		640		63,009		1.01	

b. 精密検査結果

年齢	要精検者数 (人)		精密検査受 診者数(人)		精密検査受 診率(%)		精密検査結果								肺がん発見 率(%)	
	男	女	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん		男	女
							男	女	男	女	男	女	男	女		
保健事業団	148	179	119	145	80.4	81.0	57	85	28	42	7	5	27	13	0.193	0.057
中国労働会 衛生協会	7	9	6	8	85.7	88.9	2	3	2	4	1	1	1	0	0.595	0.179
病院	69	77	47	54	68.1	70.1	18	30	23	21	1	2	5	1	0.268	0.077
診療所	53	98	42	68	79.2	69.4	15	27	19	35	0	3	8	3	0.305	0.121
計	277	363	214	275	77.3	75.8	92	145	72	102	9	11	41	17	0.220	0.068
合計	640		489		76.4		237		174		20		58		0.123	

4) 平成15年度肺がん検診受診状況

市町村名	受診者数				要精密検査者				検査結果				異常者総計 P	がん発見率 (%) Q = (N+O)/D			
	対象者数 A	車検診 B	診施設検診 C	計 D = B + C	受診率 (%) E = D/A	車検診 F	施設検診 G	計 H = F + G	要精検率 (%) I = H/D	精受診者数 J	精検受診率 (%) K = J/H	異常者認めず L			その他の疾病 M	がん疑い N	がん O
鳥取市	38,750	389	10,596	10,985	28.3	0	206	206	1.88	147	71.4	49	77	4	17	98	0.191
米子市	42,100	4,198	4,198	4,198	10.0	14	14	14	0.33	11	78.6	2	5	1	3	9	0.095
倉吉市	12,031	1,926	691	2,617	21.8	17	22	39	1.49	35	89.7	22	12	0	1	13	0.038
境港市	11,699	978		978	8.4	5		5	0.51	5	100.0	1	0	2	2	4	0.409
国府町	1,488	1,130		1,130	75.9	4		4	0.35	4	100.0	2	2	0	0	2	0.000
岩美町	2,968	967		967	32.6	7		7	0.72	6	85.7	2	2	1	1	4	0.207
福部村	953	393	4	397	41.7	4	1	5	1.26	5	100.0	3	2	0	0	2	0.000
郡家町	2,558	1,604	114	1,718	67.2	10	3	13	0.76	10	76.9	6	2	0	2	4	0.116
船岡町	1,506	1,038		1,038	68.9	5		5	0.48	4	80.0	2	1	0	1	2	0.096
河原町	2,238	963	223	1,186	53.0	9	1	10	0.84	6	60.0	4	1	0	1	2	0.084
八東町	2,678	975		975	36.4	16		16	1.64	13	81.3	9	2	1	1	4	0.205
若桜町	1,133	689		689	60.8	3		3	0.44	3	100.0	3	0	0	0	0	0.000
用瀬町	2,465	770	37	807	32.7	3		3	0.37	2	66.7	1	0	0	1	1	0.124
佐治村	1,179	462	176	638	54.1	3	2	5	0.78	3	60.0	2	1	0	0	1	0.000
智頭町	2,909	1,226	199	1,425	49.0	8	16	24	1.68	20	83.3	10	8	1	1	10	0.140
気高町	2,123	940	618	1,558	73.4	2	11	13	0.83	8	61.5	3	4	0	1	5	0.064
鹿野町	1,568	825	198	1,023	65.2	10	1	11	1.08	6	54.5	2	1	0	3	4	0.293
青谷町	3,162	1,311	299	1,610	50.9	5	8	13	0.81	10	76.9	6	1	0	3	4	0.186
羽合町	1,550	1,279	55	1,334	86.1	6	5	11	0.82	8	72.7	6	1	0	2	2	0.075
泊村	1,006	423	152	575	57.2	6	3	9	1.57	9	100.0	4	4	1	0	5	0.174
東郷町	2,544	1,728	48	1,776	69.8	23	1	24	1.35	23	95.8	12	7	2	2	11	0.225
三朝町	2,081	1,694		1,694	81.4	12		12	0.71	8	66.7	5	1	0	2	3	0.118
関金町	1,943	981		981	50.5	3		3	0.31	3	100.0	2	1	0	0	1	0.000
北条町	2,155	1,336	213	1,549	71.9	24	14	38	2.45	20	52.6	16	2	1	1	4	0.129
大栄町	2,645	2,256		2,256	85.3	20		20	0.89	16	80.0	4	10	0	2	12	0.089
東伯町	4,882	3,137		3,137	64.3	5		5	0.16	4	80.0	2	0	0	2	2	0.064
赤碕町	2,910	2,220	21	2,241	77.0	17		17	0.76	15	88.2	10	4	1	0	5	0.045
西伯町	1,792	963		963	53.7	25		25	2.60	15	60.0	8	5	0	2	7	0.208
会見町	1,057	744		744	70.4	1		1	0.13	0	0.0					0	0.000
岸本町	2,335	1,437		1,437	61.5	3		3	0.21	3	100.0	0	2	1	0	3	0.070
日吉津村	589	407		407	69.1	3		3	0.74	3	100.0	2	0	1	0	1	0.246
淀江町	3,416	2,154		2,154	63.1	20		20	0.93	17	85.0	10	2	1	4	7	0.232
大山町	2,265	1,768	54	1,822	80.4	3	3	6	0.33	6	100.0	6	0	0	0	0	0.000
名和町	3,699	1,253		1,253	33.9	13		13	1.04	11	84.6	7	2	0	2	4	0.160
中山町	2,135	1,581		1,581	74.1	8		8	0.51	7	87.5	5	2	0	0	2	0.000
日南町	2,515	1,394		1,394	55.4	5		5	0.36	5	100.0	0	4	0	1	5	0.072
日野町	1,437	669		669	46.6	0		0	0.00	0	0.0					0	0.000
江府町	1,068	895		895	83.8	16		16	1.79	14	87.5	5	6	2	1	9	0.335
溝口町	1,230	848		848	68.9	5		5	0.59	4	80.0	4	0	0	0	0	0.000
合計	178,762	49,951	13,698	63,649	35.6	343	297	640	1.01	489	76.4	237	174	20	58	252	0.123

(3) 平成15年度肺がん検診発見がん患者の予後調査の確定について

肺がん確定診断（原発性609、転移性84）	693例
他部位癌（鼻腔1、咽頭2、喉頭3、その他5）	11例
他の良性疾患	23例
<hr/>	
総計	727例

1) 肺がん確定診断

(単位：例)

	62年	63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
原発性肺癌	6	22	18	32	36	37	41	22	38
転移性肺癌	0	4	4	4	7	9	3	5	5
合計	6	26	22	36	43	46	44	27	43

	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	合計
原発性肺癌	38	53	40	41	42	30	48	65	609
転移性肺癌	4	2	7	7	6	7	6	4	84
合計	42	55	47	48	48	37	54	69	693

2) 原発性肺がん診断方法

		〔H15年度集計〕				
胸 X 間 接	Dのみ	221例	519例(85.2%)	Dのみ	18例	62例(95.4%)
	Eのみ	298例		Eのみ	44例	
細 胞 診	Dのみ	18例	51例(8.4%)	Dのみ	0例	1例(1.5%)
	Eのみ	33例		Eのみ	1例	
胸X線間接と細胞診	D + D	10例	38例(6.2%)	D + D	0例	2例(3.1%)
	D + E	8例		D + E	0例	
	E + D	4例		E + D	0例	
	E + E	16例		E + E	2例	
	不明	1例	1例(0.2%)	不明	0例	0例(0.0%)
計		609例(100 %)		計		65例

3) 精密検診受診・原発性肺癌発見の状況

年	受診者(人)	要精検者(人)	精検受診者(人)	肺癌発見者(人)	発見者(対人口10万)
S 62	16,420	745 (4.54%)	652 (87.5%)	6	37
S 63	38,445	65 (0.17%)	60 (92.3%)	22	57
H 1	52,473	117 (0.22%)	107 (91.5%)	18	34
H 2	68,374	153 (0.22%)	132 (86.3%)	32	49
H 3	70,189	95 (0.14%)	89 (93.7%)	36	51
H 4	69,909	133 (0.19%)	111 (83.5%)	37	53
H 5	69,027	133 (0.19%)	98 (72.9%)	41	59
H 6	66,316	103 (0.16%)	89 (86.4%)	22	33
H 7	65,226	162 (0.25%)	135 (83.3%)	38	58
H 8	64,169	114 (0.18%)	91 (79.8%)	38	59
H 9	67,092	152 (0.23%)	123 (80.9%)	53	79
H10	64,540	137 (0.21%)	111 (81.0%)	40	62
H11	64,845	169 (0.26%)	142 (84.0%)	41	64
H12	62,837	311 (0.49%)	242 (77.8%)	42	67
H13	62,631	216 (0.34%)	152 (70.4%)	30	48
H14	63,616	343 (0.54%)	271 (79.0%)	48	75
H15	63,649	640 (1.01%)	489 (76.4%)	65	102
計	1,029,758	3,788 (0.37%)	3,094 (81.7%)	609	59

4) 原発性肺癌 (609例)

a. 年齢・性別

〔H15年度集計〕

区分	原発性肺癌	比率 (%)
～59歳	45例	7.4
60～69歳	204	33.5
70～79歳	269	44.2
80～	91	14.9
計	609	100.0

区分	原発性肺癌	比率 (%)
50～59歳	2例	3.1
60～69歳	14	21.5
70～79歳	32	49.2
80～	17	26.2
計	65	100.0

平均年齢=71.4
男：女=391例：218例

平均年齢=74.7
男：女=44例：21例

b. 原発性肺癌の臨床病期と組織型

(a) 病期分類

〔H15年度集計〕

臨床病期	(%)
Occult	2例
I A	212(34.8)
I B	96
II A	22
II B	45
III A	93
III B	40
IV	75
不明	24
計	609

臨床病期	(%)
Occult	0
I A	18(27.7)
I B	9
II A	5
II B	7
III A	10
III B	9
IV	7
不明	0
計	65

(b) 組織型

〔H15年度集計〕

組織型	(%)
扁平上皮癌	196例
腺癌	310(50.9)
大細胞癌	10
小細胞癌	38
腺扁平上皮癌	5
腺様嚢胞癌	1
不明	49
計	609

組織型	(%)
扁平上皮癌	16例
腺癌	33(50.8)
大細胞癌	2
小細胞癌	5
腺扁平上皮癌	1
腺様嚢胞癌	0
不明	8
計	65

c. 原発性肺癌の手術症例 (343例、手術率：56.3%)

〔H15年度集計〕

原発性肺癌ノ手術症例

(a) 臨床病期、術後病期

(33例、手術率：50.8%)

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	2例	Occult	2例
I A	176(51.3)	I A	156(45.5)
I B	70	I B	69
II A	11	II A	14
II B	23	II B	28
III A	49	III A	51
III B	9	III B	15
IV	3	IV	10
計	343	計	343

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	0例	Occult	0例
I A	16(48.5)	I A	15(45.5)
I B	7	I B	8
II A	3	II A	2
II B	5	II B	4
III A	2	III A	3
III B	0	III B	1
IV	0	IV	0
計	33	計	33

(b) 組織型分類

〔15年度集計〕

組織型	(%)
扁平上皮癌	103例
腺癌	217(63.3)
大細胞癌	9
小細胞癌	6
腺扁平上皮癌	6
腺様嚢胞癌	1
不明	1
計	343

組織型	(%)
扁平上皮癌	7例
腺癌	23(64.7)
大細胞癌	1
小細胞癌	1
腺扁平上皮癌	1
腺様嚢胞癌	0
不明	0
計	33

(c) 根治度

〔平成15年度集計〕

根治度分類	(%)
絶対的治癒手術	253例(73.8)
相対的治癒手術	49
相対的非治癒手術	18
絶対的非治癒手術	19
不明	4
計	343

} 302(88.0%)

根治度分類	(%)
絶対的治癒手術	25例(75.8)
相対的治癒手術	5
相対的非治癒手術	2
絶対的非治癒手術	1
不明	0
計	33

} 30(90.9%)

d. 腫瘍径

腫瘍径 (mm)	H10年度 (%)	H11年度 (%)	H12年度 (%)	H13年度 (%)	H14年度 (%)	H15年度 (%)
0～10	1例	2例	1例	0例	2例	1例
11～20	9 (22.5)	10	15 (35.7)	11 (36.7)	17 (35.4)	11
21～30	6	15 (36.6)	7	6	13	13
31～40	6	9	8	9	8	17 (26.2)
41～50	7	1	3	1	3	8
51～	7	2	6	3	3	13
不明	4	2	2	0	2	2
計	40	41	42	30	48	65
平均	37.1mm	27.9mm	32.2mm	33.5mm	28.8mm	38.7mm

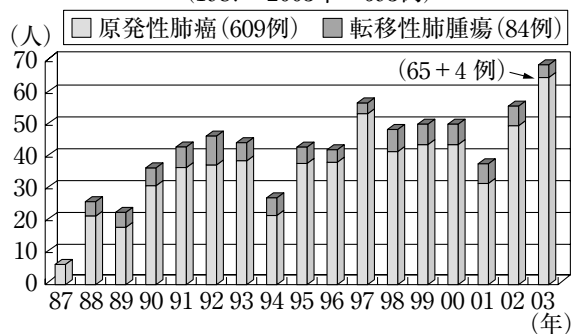
最高145mm

5) 転移性肺癌 (84例)

大腸ガン：24例 腎臓癌：9例 甲状腺癌：9例 乳癌：7例 肝臓癌：5例
 前立腺癌：4例 胆のう癌：3例 卵巣癌：2例 胃癌：2例 肺癌：2例
 子宮癌：2例 尿管癌：2例 食道癌：2例 咽頭癌：1例 肛門癌：1例
 顎下腺：1例 子宮肉腫：1例 胸腺癌：1例 膵臓癌：1例 膀胱癌：1例
 胆管癌：1例 不明：3例

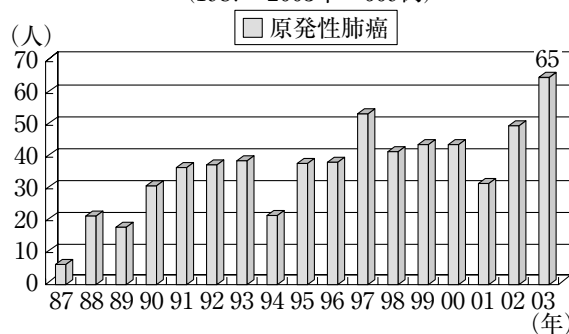
6) 検診で発見された肺癌の推移

(1987—2003年：693例)



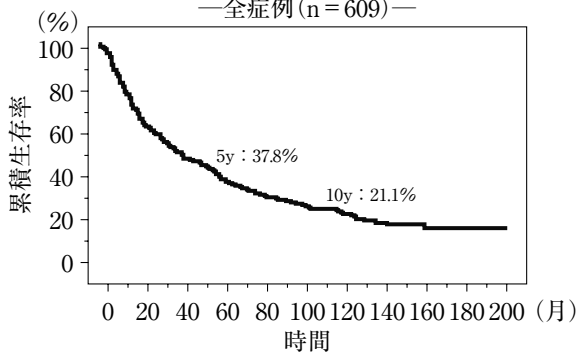
7) 検診で発見された原発性肺癌の推移

(1987—2003年：609例)

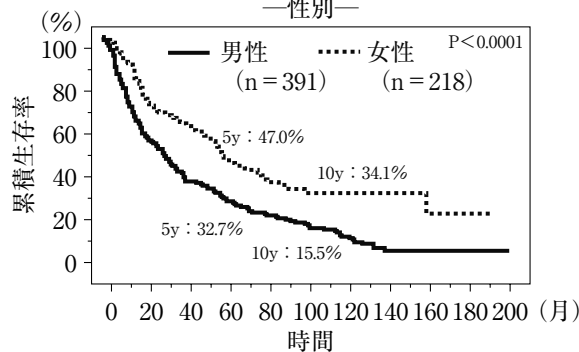


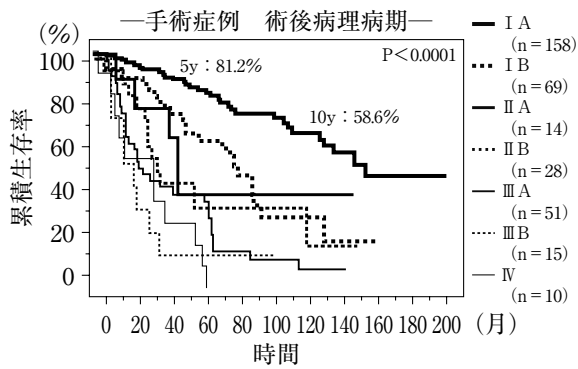
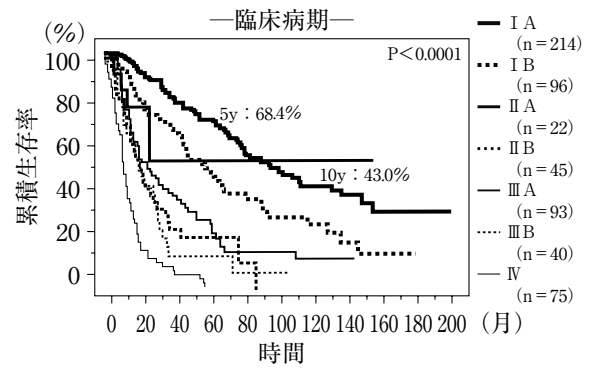
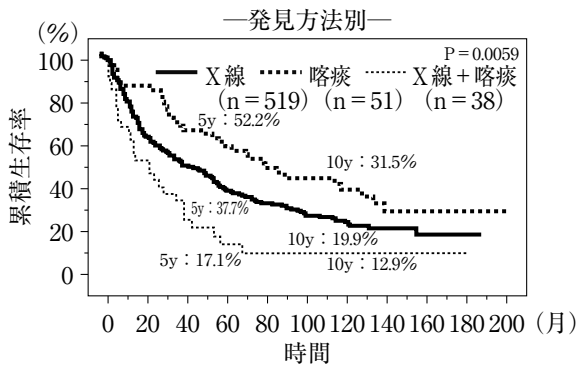
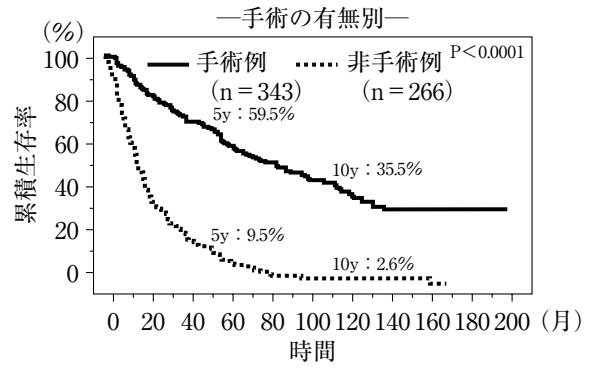
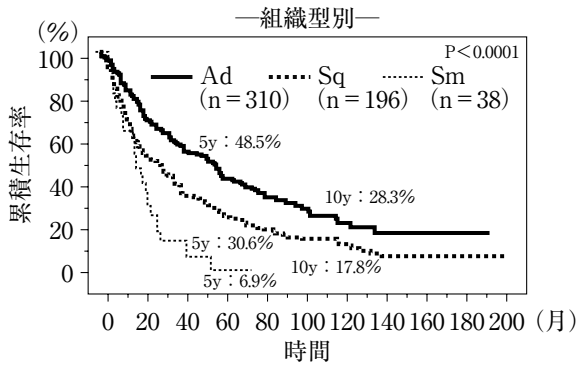
8) 検診発見肺癌の予後

—全症例 (n = 609)—

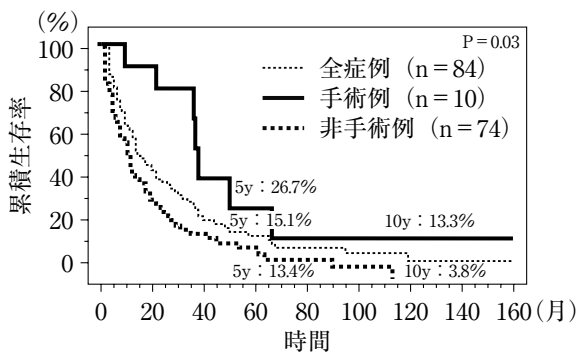


—性別—





9) 検診発見転移性肺腫瘍の予後



4. 乳 がん 検 診

1. 乳がん検診実績

平成15年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は127,945人で、このうち受診者数は31,539人（出張検診：13,924人、施設検診：17,615人）で受診率は24.7%であった。平成12年度以降、受診者数、率ともに僅かながら増加傾向である。受診率の全国平均が12.9%なので、鳥取県は良好な数字であるが、さらなる受診率の向上を目指す必要があると思われる。

要精検者数は1,115人（出張検診：139人、施設検診：976人）、要精検率は3.54%で、精検受診者数985人、精検受診率は88.3%であった。平成11年度より、一部の市町村でマンモグラフィ併用検診を行っているところがあり、その影響か要精検率が僅かずつ増加傾向にある。また、精検受診率は平成7年度以降減少傾向であったが、平成14年度より6.5ポイントも増加し、近年では非常に高い結果であった。

精検の結果、乳がん又は乳がん疑いが49人発見され、過去最高であった。がん発見率0.155%であった。

年代別にみると、要精検率は40～44歳、がん発見率は50～54歳がそれぞれ高かった。

陽性反応的中度（発見癌／精検受診者数）を見てみると、一次検診を病院で受診した人の要精検率は7.23%と高いが、陽性反応的中度2.36と低い結果であった。

また、鳥取県腫瘍登録に乳がんとして届けられた中で、受診動機別集計を行ったところ、健康診断（人間ドック）、検診で受診した人は12.2%、有訴受診の人は57.2%で、全部位での有訴受診が約4割に対し高い傾向にあり、検診未受診者が多いと思われる。

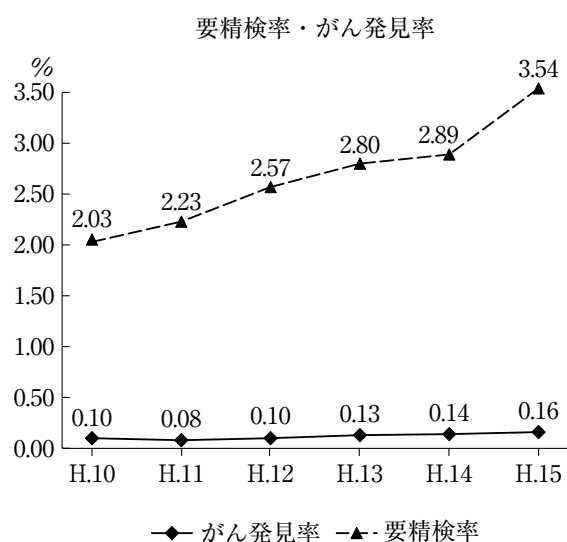
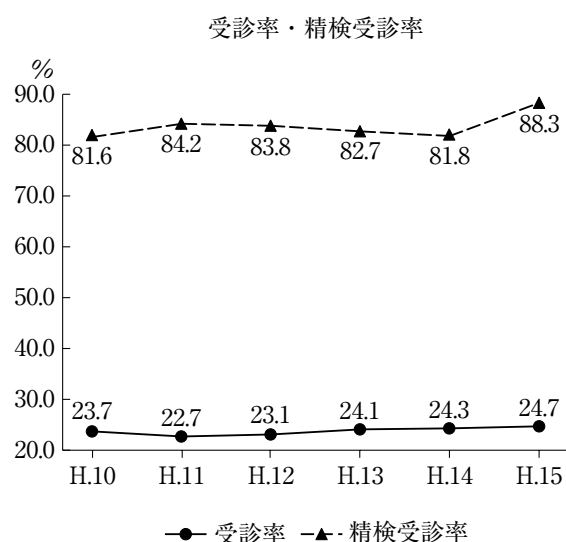
平成15年度は6町でマンモグラフィ併用検診が行われ、受診者数810人、要精検数59人、要精検率7.28%、がん及びがん疑いは発見されなかった。また、岩美町はマンモグラフィ検診のみの実施で、受診者数149人、要精検数9人、要精検率6.04%、がん及びがん疑いは2人発見された。

2. 乳がん検診発見乳がん確定調査結果

平成15年度の確定乳がんは48例（両側乳癌1例）であった（マンモグラフィ検診のみで発見されたがん2例も含む）。平均年齢は58.1歳と昨年とほぼ同じであった。非浸潤癌が9例発見されている。温存手術例の割合が増加し、特に病期Iでは80%以上であった。初回検診者の進行例が多い傾向は昨年と同様であった。

(1) 乳がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
一次検診	対象者数(人)	127,118	128,948	127,810	123,896	127,944	127,945
	受診者数(人)	30,086	29,231	29,532	29,840	31,105	31,539
	受診率(%)	23.7	22.7	23.1	24.1	24.3	24.7
一次検診結果	異常認めず(人)	29,476	28,578	28,774	29,003	30,207	30,424
	要精検者数(人)	610	653	758	837	898	1,115
	要精検率(%)	2.03	2.23	2.57	2.80	2.89	3.54
精密検査	受診者数(人)	498	550	635	692	735	985
	受診率(%)	81.6	84.2	83.8	82.7	81.8	88.3
精密検査結果	乳がん又はがんの疑いのある者(人)	29	24	29	38	42	49
	乳がん発見率(%)	0.10	0.08	0.10	0.13	0.14	0.16
確定調査結果	確定がん数(人)	28	24	29	32	41	46
	確定がん率(%)	0.09	0.08	0.10	0.11	0.13	0.15



(2) 平成15年度乳がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年齢	一次検診受診者数(人)	一次検診結果		要精検率 (%)
		要精検者数	異常認めず	
30～34	1,573	85	1,488	5.40
35～39	1,741	102	1,639	5.86
40～44	2,283	151	2,132	6.61
45～49	2,528	141	2,387	5.58
50～54	3,210	147	3,063	4.58
55～59	3,732	97	3,635	2.60
60～64	4,288	118	4,170	2.75
65～69	4,748	126	4,622	2.65
70～74	4,173	81	4,092	1.94
75～79	2,393	47	2,346	1.96
80歳以上	870	20	850	2.30
計	31,539	1,115	30,424	3.54

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精 密 検 査 受診者数(人)	精 密 検 査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
30 ~ 34	75	88.2	23	51	0	1	0.064
35 ~ 39	84	82.4	25	56	1	2	0.172
40 ~ 44	124	82.1	29	93	0	2	0.088
45 ~ 49	126	89.4	30	89	1	6	0.277
50 ~ 54	132	89.8	45	77	2	8	0.312
55 ~ 59	87	89.7	33	49	0	5	0.134
60 ~ 64	106	89.8	54	48	0	4	0.093
65 ~ 69	118	93.7	57	54	1	6	0.147
70 ~ 74	75	92.6	42	29	1	3	0.096
75 ~ 79	41	87.2	23	14	0	4	0.167
80 歳 以上	17	85.0	9	6	0	2	0.230
計	985	88.3	370	566	6	43	0.155

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診 機 関	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率 (%)
		要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	
医 師 雇 上	2,879	64	2,815	2.22
保 健 事 業 団	11,045	75	10,970	0.68
病 院	8,536	617	7,919	7.23
診 療 所	9,079	359	8,720	3.95
計	31,539	1,115	30,424	3.54

b. 精密検査結果

一次検診 機 関	精 密 検 査 受診者数(人)	精 密 検 査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
医 師 雇 上	58	90.6	34	21	0	3	0.104
保 健 事 業 団	64	85.3	23	36	0	5	0.045
病 院	552	89.5	223	313	3	13	0.187
診 療 所	311	86.6	90	196	3	22	0.275
計	985	88.3	370	566	6	43	0.155

4) 平成15年度乳がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数			要精密検査者				検査結果				人員		
	A	出張検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	出張検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密検査率 (%) I=H/D	精検受診者数 J	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の 疾病 M	がん N	がん O	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	31,860	620	4,665	5,285	16.6	28	281	309	5.85	274	88.7	130	131	6	7	0.246
米子市	30,580	4	5,808	5,812	19.0	0	292	292	5.02	273	93.5	28	222	0	23	0.396
倉吉市	7,678	454	895	1,349	17.6	5	80	85	6.30	77	90.6	42	34	0	1	0.074
境港市	8,279	0	1,247	1,247	15.1	0	35	35	2.81	33	94.3	12	17	0	4	0.321
国府町	700	500	73	573	81.9	5	5	10	1.75	8	80.0	7	0	0	1	0.175
岩美町	2,129	841	0	841	39.5	2	0	2	0.24	2	100.0	1	0	0	1	0.119
福部村	705	83	139	222	31.5	0	6	6	2.70	3	50.0	1	2	0	0	0.000
郡家町	1,518	723	62	785	51.7	1	6	7	0.89	6	85.7	5	1	0	0	0.000
船岡町	1,094	453	0	453	41.4	1	0	1	0.22	0	0.0	0	0	0	0	0.000
河原町	1,982	417	165	582	29.4	0	16	16	2.75	12	75.0	8	4	0	0	0.000
八東町	1,783	446	0	446	25.0	2	0	2	0.45	2	100.0	0	2	0	1	0.224
若桜町	1,405	443	0	443	31.5	14	0	14	3.16	13	92.9	10	2	0	0	0.000
用瀬町	915	99	125	224	24.5	0	13	13	5.80	12	92.3	7	5	0	0	0.000
佐治村	744	318	2	320	43.0	3	0	3	0.94	3	100.0	2	1	0	0	0.000
智頭町	2,037	3	730	733	36.0	0	26	26	3.55	22	84.6	14	8	0	0	0.000
気高町	1,425	80	607	687	48.2	0	24	24	3.49	19	79.2	10	9	0	0	0.000
鹿野町	1,197	154	167	321	26.8	0	9	9	2.80	8	88.9	3	5	0	0	0.000
青谷町	2,344	330	124	454	19.4	1	8	9	1.98	9	100.0	5	4	0	0	0.000
羽合町	1,099	200	313	513	46.7	1	18	19	3.70	12	63.2	7	5	0	0	0.000
泊村	573	158	84	242	42.2	1	3	4	1.65	4	100.0	3	0	0	1	0.413
東郷町	1,283	198	150	348	27.1	0	2	2	0.57	2	100.0	1	1	0	0	0.000
三朝町	1,312	476	4	480	36.6	4	0	4	0.83	3	75.0	2	1	0	0	0.000
関金町	1,378	393	0	393	28.5	3	0	3	0.76	2	66.7	0	1	0	1	0.254
北条町	1,559	420	128	548	35.2	2	19	21	3.83	12	57.1	8	4	0	0	0.000
大栄町	1,650	1,023	0	1,023	62.0	9	0	9	0.88	9	100.0	5	4	0	0	0.000
東伯町	3,443	922	0	922	26.8	16	0	16	1.74	16	100.0	6	10	0	0	0.000
赤碕町	1,923	739	14	753	39.2	5	0	5	0.66	4	80.0	2	2	0	0	0.000
西伯町	866	0	423	423	48.8	0	16	16	3.78	16	100.0	7	9	0	0	0.000
奈昆町	1,045	271	28	299	28.6	1	2	3	1.00	3	100.0	1	2	0	0	0.000
岸本町	1,680	486	171	657	39.1	1	20	21	3.20	17	81.0	4	13	0	0	0.000
日吉津村	468	115	102	217	46.4	1	10	11	5.07	11	100.0	3	8	0	0	0.000
淀江町	2,822	201	465	666	23.6	16	22	38	5.71	34	89.5	14	20	0	0	0.000
大山町	819	468	26	494	60.3	3	2	5	1.01	5	100.0	0	3	0	2	0.405
名和町	2,514	188	274	462	18.4	4	21	25	5.41	15	60.0	5	9	0	1	0.216
中山町	798	266	56	322	40.4	0	4	4	1.24	2	50.0	0	2	0	0	0.000
日南町	1,827	591	0	591	32.3	5	0	5	0.85	5	100.0	3	2	0	0	0.000
日野町	942	451	45	496	52.7	0	2	2	0.40	2	100.0	2	0	0	0	0.000
江府町	949	3	410	413	43.5	0	21	21	5.08	19	90.5	10	9	0	0	0.000
漣口町	620	387	113	500	80.6	5	13	18	3.60	16	88.9	2	14	0	0	0.000
合計	127,945	13,924	17,615	31,539	24.7	139	976	1,115	3.54	985	88.3	370	566	6	43	0.155

5) マンモグラフィ併用検診について

平成15年度 マンモグラフィ併用検診実績

		受診者数 (人) (A)	受診者の 比 率 (%)	要精検者 (人) (B)	要精検率 (%) (C)=(B)/(A)	がん及び がん疑い (人) (D)	が ん 発 見 率 (%) (E)=(D)/(A)
岩 美 町	視触診検査のみ	841	84.9%	2	0.24%	1	0.12
	マンモグラフィ検診のみ	149	15.1%	9	6.04%	2	1.34
	計	990	100.0%	11	1.11%	3	0.30
用 瀬 町	視触診検査のみ	184	82.1%	7	3.80%	0	0.00
	マンモグラフィ併用検診	40	17.9%	6	15.00%	0	0.00
	計	224	100.0%	13	5.80%	0	0.00
智 頭 町	視触診検査のみ	368	50.2%	4	1.09%	0	0.00
	マンモグラフィ併用検診	365	49.8%	22	6.03%	0	0.00
	計	733	100.0%	26	3.55%	0	0.00
西 伯 町	視触診検査のみ	210	49.6%	4	1.90%	0	0.00
	マンモグラフィ併用検診	213	50.4%	12	5.63%	0	0.00
	計	423	100.0%	16	3.78%	0	0.00
日 吉 津 村	視触診検査のみ	179	82.5%	7	3.91%	0	0.00
	マンモグラフィ併用検診	38	17.5%	4	10.53%	0	0.00
	計	217	100.0%	11	5.07%	0	0.00
日 野 町	視触診検査のみ	455	91.7%	0	0.00%	0	0.00
	マンモグラフィ併用検診	41	8.3%	2	4.88%	0	0.00
	計	496	100.0%	2	0.40%	0	0.00
溝 口 町	視触診検査のみ	387	77.4%	5	1.29%	0	0.00
	マンモグラフィ併用検診	113	22.6%	13	11.50%	0	0.00
	計	500	100.0%	18	3.60%	0	0.00
合 計	視触診検査のみ	2,624	73.2%	29	1.11%	1	0.04
	マンモグラフィ検診のみ	149	4.2%	9	6.04%	2	1.34
	マンモグラフィ併用検診	810	22.6%	59	7.28%	0	0.00
	計	3,583	100.0%	97	2.71%	3	0.08

(注) 江府町はマンモグラフィ併用検診について隔年実施としているため、平成15年度は実績なし。(視触診のみ)

(3) 平成15年度検診発見乳がん患者確定調査結果

1) 登録届け出数 51 ※(マンモグラフィ検診発見がん2名含む)

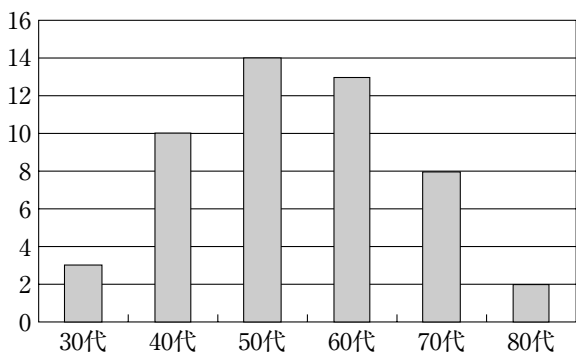
確定乳癌 48 (両側乳癌1)

鳥取市 13、米子市 23、倉吉市 1、境港市 4

国府町 1、岩美町 3、若桜町 1、泊村 1、関金町 1

大山町 2、名和町 1

2) 年齢構成 平均年齢 58.1歳

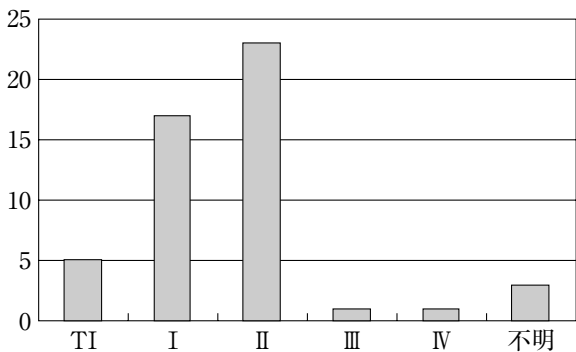


3) 病期分類

組織型 非浸潤癌 9

浸潤癌 40

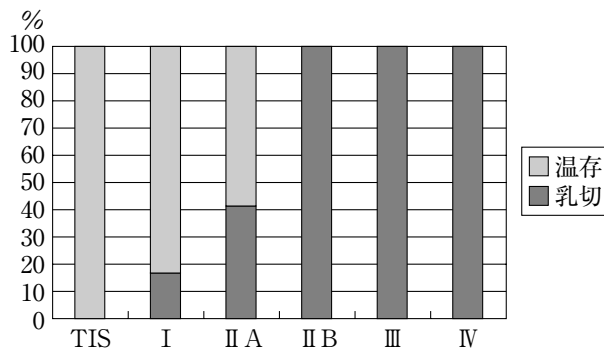
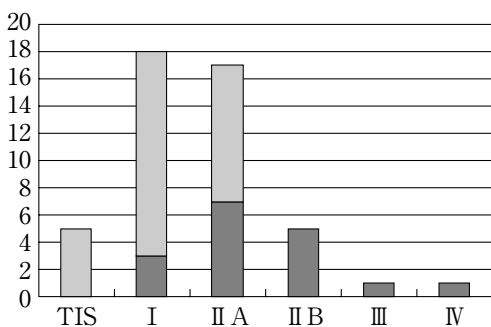
不明 2



4) 手術術式

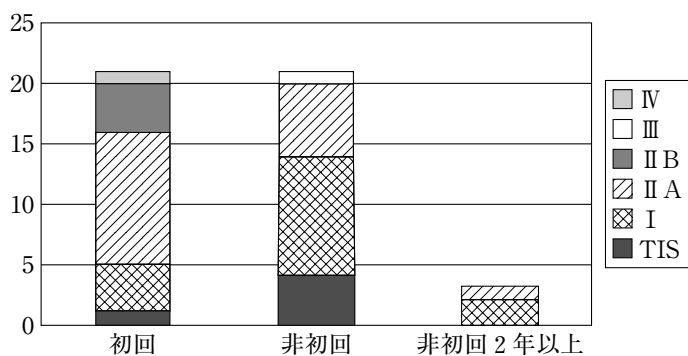
乳房切除術 17

乳房温存術 32



5) 検診歴

初回検診	26
繰り返し検診 (1年)	21
(2年以上)	3



6) まとめ

1. 平成15年度検診発見確定乳癌は48例であった。
2. 平均年齢は58.1歳と昨年とほぼ同じであった。
3. 非浸潤癌が9例あり増加傾向であった。
4. 温存術の割合が増加していた。特に病期Iでは80%以上であった。
5. 初回検診のほうが進行例が多い傾向は昨年と同様であった。

5. 大腸がん検診

1. 大腸がん検診実績

平成15年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は179,274人で、このうち受診者数は56,218人（地域検診：26,565人、施設検診：29,653人）で、受診率は31.4%で、要精検者数は5,194人（地域検診：1,879人、施設検診：3,315人）、要精検率は9.2%、そのうち、精検受診者数は3,449人、精検受診率は66.4%であった。精検の結果、大腸がん149人、大腸がん疑い8人の合計157人が発見され、がん発見率は0.28%であった。

受診者数、率ともに年々増加傾向にあり、平成14年度に比べ要精検率0.9ポイント、精検受診率3.6ポイント、がん発見率0.02ポイント増加した。

特に、毎年、東部地区の精検受診率が低率であることが指摘されるが、平成15年度の精検受診率は前年度より6.8ポイントも増加し、このことが、がん発見者数25人の増加、発見率0.1ポイント増加した要因と思われる。また、医療機関検診の精検受診率が前年度より5.2ポイントも増加した。

しかし、60歳未満の男性の精検受診率が依然と低いので、受診勧奨を行っていく必要があると思われる。

また、平成15年度より一日2個法を導入したのは、26市町村で、受診者数は44,104人で、前年度の同26市町村実績に比べ受診者数が2,578人の増加、特に医療機関検診分の受診者数が増えている。採便が簡単ということから受診者が増えていると思われる。検査の結果、要精検率は9.6%、精検受診率65.4%、がん発見率は0.288%であった。

同26市町村の前年度の要精検率は8.5%、がん発見率は0.26%であり、平成15年度の1日2個法のがん発見率が高かった。このデータについては、平成16年5月に開催された「日本消化器集団検診学会総会」のシンポジウムにおいて発表した。また、1日2個法の論文が日本消化器集団検診学会雑誌に掲載された。

2. 大腸がん検診発見大腸がん確定調査結果

平成15年度に発見された大腸がん及び大腸がん疑い157例（地域検診：59例、施設検診：98例）について確定調査を行った結果、147例が確定癌で、そのうちの早期がんは94例で、早期癌率は63.98%で、平成14年度全国集計とほぼ同様な結果であった。

部位別にみると「直腸」「S状結腸」で61.9%を占め、早期癌では「Ip」「Isp」「Is」が、進行癌では「2」が大半を占めていた。平成14年度全国平均とほぼ同様な結果であったが、「IIc」が6.4%で、全国平均1.7%に比べ少し多かった。

大きさは、10mm以下が21.1%であった。EMRを施行し、大きさが記入していない症例が11例もあった。

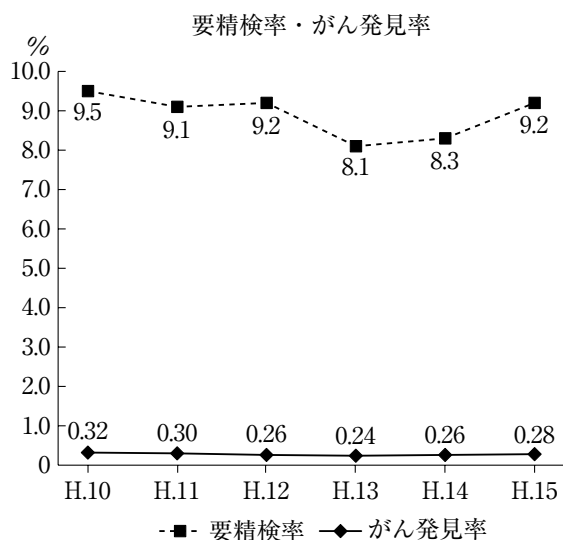
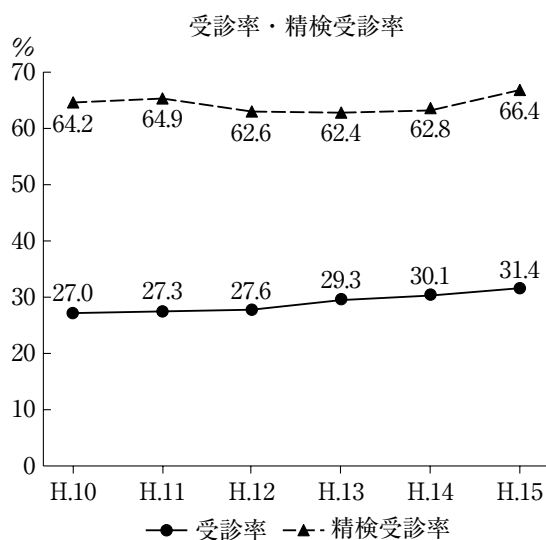
Dukes分類は「A」が77.6%で全国集計に比べ9.1ポイントも高かった。組織型分類は「Well」が58.5%で、全国集計に比べ少し下回った。平成14年度も同様の結果であり、病理診断の精度が気になる。

東部と西部では受診者数に大差はないのに、例年は西部から発見がんが多く見つかっている。しかし、平成15年度は東部でがんが多く見つかっており、特に早期癌が多い。これは、精検受診率の向上が大きく関係していると思われる。また、治療方法では例年は東部の外科手術の実施割合が高く、西部は内視鏡的治療が多く実施されているが、平成15年度は逆の結果であった。

また、逐年検診発見進行大腸癌は20例（東部7例、中部4例、西部9例）であった。22例中15例は前年度の便潜血検査結果が陰性であったが、精検未受診者が3例、精密検査の結果、異常なしと診断されたものが1例、経過観察のものが1例であった。

(1) 大腸がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
一次検診	対象者数(人)	182,629	181,677	179,933	175,103	177,254	179,274
	受診者数(人)	49,302	49,544	49,671	51,295	53,336	56,218
	受診率(%)	27.0	27.3	27.6	29.3	30.1	31.4
一次検診結果	異常認めず(人)	44,612	45,046	45,108	47,141	48,931	51,024
	要精検者数(人)	4,690	4,498	4,563	4,154	4,405	5,194
	要精検率(%)	9.5	9.1	9.2	8.1	8.3	9.2
精密検査	受診者数(人)	3,013	2,920	2,858	2,593	2,767	3,449
	受診率(%)	64.2	64.9	62.6	62.4	62.8	66.4
精密検査結果	大腸がん又はがんの疑いのある者(人)	159	147	127	124	138	157
	大腸がん発見率(%)	0.32	0.30	0.26	0.24	0.26	0.28
確定調査結果	確定がん数(人)	147	138	117	118	127	147
	確定がん率(%)	0.30	0.28	0.24	0.23	0.24	0.26



(2) 平成15年度大腸がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階層別)

年 齢	対象者数(人)		一次検診受診者数(人)		受診率(%)		一次検診結果				要精検率(%)	
	男	女	男	女	男	女	要精検者数		異常認めず		男	女
							男	女	男	女		
40～44	4,226	6,808	732	1,411	17.3	20.7	46	88	686	1,323	6.3	6.2
45～49	5,485	7,838	943	1,722	17.2	22.0	67	105	876	1,617	7.1	6.1
50～54	7,548	10,678	1,372	2,852	18.2	26.7	109	179	1,263	2,673	7.9	6.3
55～59	7,273	10,532	1,655	3,855	22.8	36.6	167	243	1,488	3,612	10.1	6.3
60～64	9,365	13,260	2,622	5,119	28.0	38.6	265	358	2,357	4,761	10.1	7.0
65～69	10,789	15,482	3,812	6,375	35.3	41.2	446	482	3,366	5,893	11.7	7.6
70～74	10,830	15,439	4,457	6,636	41.2	43.0	557	556	3,900	6,080	12.5	8.4
75～79	8,022	12,885	3,261	4,703	40.7	36.5	413	481	2,848	4,222	12.7	10.2
80歳以上	6,779	16,035	1,842	2,849	27.2	17.8	251	381	1,591	2,468	13.6	13.4
計	70,317	108,957	20,696	35,522	29.4	32.6	2,321	2,873	18,375	32,649	11.2	8.1
合 計	179,274		56,218		31.4		5,194		51,024		9.2	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)		精密検査結果								大腸がん発見率(%)	
					異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	24	55	52.2	62.5	12	33	10	21	0	0	2	1	0.273	0.071
45～49	37	71	55.2	67.6	14	35	23	33	0	0	0	3	0.000	0.174
50～54	50	131	45.9	73.2	14	75	34	55	0	0	2	1	0.146	0.035
55～59	98	182	58.7	74.9	44	95	50	85	0	0	4	2	0.242	0.052
60～64	171	266	64.5	74.3	54	138	105	119	0	2	12	7	0.458	0.176
65～69	287	350	64.3	72.6	88	180	173	158	1	2	25	10	0.682	0.188
70～74	364	410	65.4	73.7	105	199	237	196	1	1	21	14	0.494	0.226
75～79	276	330	66.8	68.6	103	144	161	174	0	0	12	12	0.368	0.255
80歳以上	150	197	59.8	51.7	51	80	89	105	0	1	10	11	0.543	0.421
計	1,457	1,992	62.8	69.3	485	979	882	946	2	6	88	61	0.435	0.189
合計	3,449		66.4		1,464		1,828		8		149		0.279	

3) 検診機関別

a 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)		一次検診結果				要精検率(%)	
			要精検者数		異常認めず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	9,433	14,941	860	845	8,573	14,096	9.1	5.7
ファルコ	385	551	39	40	346	511	10.1	7.3
中国労働衛生協会	681	574	53	42	628	532	7.8	7.3
病院	2,862	4,938	362	437	2,500	4,501	12.6	8.8
診療所	7,335	14,518	1,007	1,509	6,328	13,009	13.7	10.4
計	20,696	35,522	2,321	2,873	18,375	32,649	11.2	8.1
合計	56,218		5,194		51,024		9.2	

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)		精密検査結果										大腸がん発見率(%)	
					異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
保健事業団	566	634	65.8	75.0	198	336	334	277	1	0	33	21	0.360	0.141		
ファルコ	25	36	64.1	90.0	8	25	15	11	0	0	2	0	0.519	0.000		
中国労働衛生協会	30	37	56.6	88.1	13	20	16	15	0	0	1	2	0.147	0.348		
集団検診小計	621	707	65.2	76.3	219	381	365	303	1	0	36	23	0.352	0.143		
病院	217	279	59.9	63.8	73	134	130	136	0	0	14	9	0.489	0.182		
診療所	618	1,007	61.4	66.7	193	464	386	508	1	6	38	29	0.532	0.241		
医療機関小計	835	1,286	61.0	66.1	266	598	516	644	1	6	52	38	0.520	0.226		
計	1,456	1,993	62.7	69.4	485	979	881	947	2	6	88	61	0.435	0.189		
合計	3,449		66.4		1,464		1,828		8		149		0.279			

4) 平成15年度大腸がん検診受診状況 ※左側に○のある市町村は、1日2個法の実施市町村

市町村名	対象者数			受診者数			要精密検査			検査者			検査結果別人員				
	A	B	C	D=B+C	E=D/A (%)	F	G	H=F+G	I=H/D (%)	J	K=J/H (%)	L	M	N	O	P	Q=(N+O)/D (%)
○鳥取市	38,750	781	9,704	10,485	27.1	65	985	1,050	10.0	643	61.2	262	343	2	36	381	0.362
○米子市	42,100	11,471	11,471	11,471	27.2	1,286	1,286	1,286	11.2	829	64.5	335	459	3	32	494	0.305
○倉吉市	12,031	1,372	706	2,078	17.3	111	77	188	9.0	125	66.5	44	77	4	4	81	0.192
○境港市	11,699	2,435	2,435	2,435	20.8	80	360	360	14.8	294	81.7	103	180	11	11	191	0.452
○国府町	1,240	976	97	1,073	86.5	15	15	95	8.9	67	70.5	25	42		42	42	0.000
○岩美町	3,067	1,114	239	1,353	44.1	86	22	108	8.0	67	62.0	22	41	4	4	45	0.296
○福船村	970	193	216	409	42.2	15	23	38	9.3	18	47.4	7	11		11	11	0.000
○郡家町	2,682	1,446	109	1,555	58.0	110	7	117	7.5	70	59.8	33	36	1	1	37	0.064
○船岡町	1,431	765		765	53.5	32	32	32	4.2	22	68.8	5	16		1	17	0.131
○河原町	2,901	883	212	1,095	37.7	62	18	80	7.3	51	63.8	25	23	3	26	26	0.274
○八東町	2,680	932		932	34.8	53	53	53	5.7	39	73.6	20	18	1	19	19	0.107
○若桜町	1,451	578	302	880	60.6	36	34	70	8.0	57	81.4	20	37		37	37	0.000
○用瀬町	2,451	534	37	571	23.3	31	1	32	5.6	22	68.8	9	9	4	13	13	0.701
○佐治村	1,171	368	174	542	46.3	28	16	44	8.1	28	63.6	14	13	1	14	14	0.185
○智頭町	3,044	849	355	1,204	39.6	56	43	99	8.2	73	73.7	28	44		45	45	0.083
○気高町	2,123	63	1,069	1,132	53.3	7	105	112	9.9	82	73.2	38	41	3	44	44	0.265
○鹿野町	1,721	91	520	611	35.5	8	62	70	11.5	29	41.4	16	10	3	13	13	0.491
○青谷町	3,162	947	297	1,244	39.3	84	30	114	9.2	87	76.3	38	41	8	49	49	0.643
○羽谷町	1,163	693	55	748	64.3	56	7	63	8.4	41	65.1	18	21	2	23	23	0.267
○泊村	1,007	214	151	365	36.2	32	29	61	16.7	47	77.0	28	19		19	19	0.000
○東郷町	2,074	537	58	595	28.7	60	9	69	11.6	43	62.3	21	18	4	22	22	0.672
○三朝町	2,065	869		869	42.1	44	44	44	5.1	30	68.2	12	17	1	18	18	0.115
○関金町	1,929	471		471	24.4	39	39	39	8.3	27	69.2	16	8	3	11	11	0.637
○北条町	2,273	566	202	768	33.8	42	24	66	8.6	34	51.5	12	20	2	22	22	0.260
○大栄町	2,684	1,675		1,675	62.4	122	24	122	7.3	95	77.9	56	34	5	39	39	0.299
○東伯町	5,277	1,293		1,293	24.5	115		115	8.9	95	82.6	42	50	3	53	53	0.232
○赤碕町	2,739	722	20	742	27.1	50	2	52	7.0	41	78.8	17	22	2	24	24	0.270
○西伯町	1,356	54	810	864	63.7	4	100	104	12.0	44	42.3	26	14	1	3	18	0.463
○谷尻町	1,732	371		371	21.4	21	21	21	5.7	13	61.9	7	6		6	6	0.000
○岸本町	2,335	777		777	33.3	42	42	42	5.4	32	76.2	11	18	3	21	21	0.386
○日吉津村	620	402		402	64.8	16	16	16	4.0	8	50.0	3	5		5	5	0.000
○淀江町	4,158	937	143	1,080	26.0	79	32	111	10.3	82	73.9	47	33	2	35	35	0.185
○大山町	1,075	607	52	659	61.3	36	7	43	6.5	28	65.1	12	16		16	16	0.000
○名和町	3,857	930		930	24.1	48	48	48	5.2	26	54.2	9	17		17	17	0.000
○中山町	1,393	490	113	603	43.3	25	11	36	6.0	20	55.6	9	11		11	11	0.000
○日南町	3,151	1,082	106	1,188	37.7	48	10	58	4.9	38	65.5	21	13	1	17	17	0.337
○日野町	1,437	575		575	40.0	44	44	44	7.7	28	63.6	16	11	1	12	12	0.174
○江府町	1,200	673		673	56.1	43	43	43	6.4	36	83.7	16	18	2	20	20	0.297
○溝口町	1,075	735		735	68.4	49	49	49	6.7	38	77.6	21	16	1	17	17	0.136
合 計	179,274	26,565	29,653	56,218	31.4	1,879	3,315	5,194	9.2	3,449	66.4	1,464	1,828	8	149	1,985	0.279

平成15年度大腸がん検診受診状況（最終報告）（一次検診方法別）

区分	対象者数		受診者数		要精検		密検		検査者		検査結果		人員									
	集検	団診	医機	療関	計	受診率	集検	団診	医機	療関	計	要精検率	密検	精受診者数	精検受診率	異認めず	その他の病	人が疑い	人が	異常者計	がん発見率	
	A	B	C	D	E=D/A	(%)	F	G	H	I=H/D	J	K=J/H	L	M	N	O	P	Q=(N+O)/D				
2個法(26)	140,130	16,018	28,086	44,104	31.5		1,085	3,137	4,222	9.6	2,762	65.4	1,154	1,481	7	120	1,608	0.288				
2日法(13)	39,144	10,547	1,567	12,114	30.9		794	178	972	8.0	687	70.7	310	347	1	29	377	0.248				
合計	179,274	26,565	29,653	56,218	31.4		1,879	3,315	5,194	9.2	3,449	66.4	1,464	1,828	8	149	1,985	0.279				
2個法																						
東部(13)	64,629	9,303	12,802	22,105	34.2		669	1,302	1,971	8.9	1,254	63.6	520	668	2	64	734	0.299				
中部(3)	4,235	1,776	206	1,982	46.8		132	36	168	8.5	118	70.2	58	57		3	60	0.151				
西部(10)	71,266	4,939	15,078	20,017	28.1		284	1,799	2,083	10.4	1,390	66.7	576	756	5	53	814	0.290				
2日法																						
東部(2)	4,215	1,217	529	1,746	41.4		84	59	143	8.2	101	70.6	42	57	1	1	59	0.115				
中部(7)	29,007	6,636	986	7,622	26.3		539	112	651	8.5	460	70.7	208	229		23	252	0.302				
西部(4)	5,922	2,694	52	2,746	46.4		171	7	178	6.5	126	70.8	60	61		5	66	0.182				

平成14年度実績との比較

■全体

	1日2個法に変更した市町村数	2日法を継続した市町村
実施市町村数	26	13
受診率	31.5	30.9
精検率	30.1	30.0
要検	1.4	0.9
精受診率	9.6	8.0
精検率	8.5	7.4
精受診率	1.1	0.6
精検率	65.4	70.7
精受診率	61.4	68.4
精検率	4.0	2.3
が発見率	0.288	0.248
見率	0.260	0.254
増減	0.028	-0.006

※H14はともにも2日法による。

■医療機関検診

	1日2個法に変更した市町村数	2日法を継続した市町村
実施市町村数	19	7
要検	11.2	11.4
精検率	9.8	10.0
精受診率	1.4	1.4
精検率	64.8	52.8
精受診率	58.4	50.6
精検率	6.4	2.2
が発見率	0.331	0.191
見率	0.276	
増減	0.055	0.191

※H14はともにも2日法による。

■集団検診

	1日2個法に変更した市町村数	2日法を継続した市町村
実施市町村数	24	13
要検	6.8	7.5
精検率	6.4	7.0
精受診率	0.4	0.5
精検率	67.3	74.7
精受診率	67.9	70.7
精検率	-0.6	4.0
が発見率	0.212	0.256
見率	0.215	0.282
増減	-0.003	-0.026

※H14はともにも2日法による。

(3) 平成15年度大腸がん検診発見大腸がん患者確定調査結果

表1 報告癌と確定癌

	地域検診				施設検診				計			総計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	
報告癌	23	24	12	59	45	2	51	98	68	26	63	157
確定癌	23	23	11	57	42	2	46	90	65	25	57	147
腺腫	0	1	1	2	1	0	2	3	1	1	3	5
その他	0	0	0	0	2	0	3	5	2	0	3	5
調査中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表2 性及び年齢

年齢		40～	45～	50～	55～	60～	65～	70～	75～	80～	計
地域	男	1	0	2	4	6	6	10	5	3	37
	女	0	3	0	0	4	3	5	3	2	20
	計	1	3	2	4	10	9	15	8	5	57
施設	男	2	0	0	0	6	18	10	7	8	51
	女	0	0	1	2	3	10	7	8	8	39
	計	2	0	1	2	9	28	17	15	16	90
計	男	3	0	2	4	12	24	20	12	11	88
	女	0	3	1	2	7	13	12	11	10	59
総計		3	3	3	6	19	37	32	23	21	147

表3 部位

部位	鳥取県 (H15年度)					全国 (%) H14年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
P 肛門管	0	0	0	0	0.0	0.3
R 直腸	20	8	14	42	28.6	30.1
S S状結腸	22	9	18	49	33.3	34.5
D 下行結腸	5	3	1	9	6.1	5.8
T 横行結腸	2	2	10	14	9.5	8.2
A 上行結腸	12	2	11	25	17.0	14.9
C 盲腸	4	1	3	8	5.5	6.1
V 虫垂	0	0	0	0	0.0	0.1
計	65	25	57	147	100.0	100.0 n = 3,842

表4 大きさ

大きさ (mm)	鳥取県 (H15年度)					全国 (%) H14年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
0～10	11	9	11	31	(21.1)	26.4
11～20	25	5	21	51	(34.7)	32.1
21～50	20	7	18	45	(30.6)	34.4
51～	2	3	4	9	(6.1)	7.1
不明	7	1	3	11	(7.5)	
計	65	25	57	147	100.0	100.0 n = 3,479

表5 肉眼分類

肉眼型	鳥取県 (%) H15年度		全国 (%) H14年度
0	94	(63.9)	63.2
1	4	(2.7)	5.8
2	45	(30.6)	27.0
3	2	(1.4)	3.2
4	1	(0.7)	0.2
5	1	(0.7)	0.6
不明	0	(0.0)	
計	147	100.0	100.0 n = 3,759

表6 0型の肉眼分類

肉眼型	鳥取県 (%) H15年度		全国 (%) H14年度
I p	17	(18.1)	26.8
I sp	31	(33.0)	32.5
I s	13	(13.8)	14.1
II a	15	(16.0)	13.0
II a + II c	8	(8.5)	4.5
II b	0	(0.0)	0.3
II c	6	(6.4)	1.7
III	0	(0.0)	0.2
その他	2	(2.1)	2.9
不明	2	(2.1)	4.0
計	94	100.0	100.0 n = 2,377

表7 深達度

深達度	鳥取県 (H15年度)					全国 (%) H14年度
	東部 (%)	中部 (%)	西部 (%)	計	(%)	
m	29 (44.6)	12 (48.0)	15 (26.3)	56	(38.1)	46.3
sm	16 (24.6)	2 (8.0)	17 (29.8)	35	(23.8)	18.1
不明	1 (1.6)	1 (4.0)	1 (1.8)	3	(2.0)	
小計	46 (70.8)	15 (60.0)	33 (57.9)	94	(63.9)	64.4
mp	5 (7.7)	2 (8.0)	9 (15.8)	16	(10.9)	11.1
ss	11 (16.9)	6 (24.0)	9 (15.8)	26	(17.7)	17.9
se	3 (4.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	3	(2.0)	5.8
si	0 (0.0)	1 (4.0)	5 (8.7)	6	(4.1)	0.8
不明	0 (0.0)	1 (4.0)	1 (1.8)	2	(1.4)	
計	65 (100.0)	25 (100.0)	57 (100.0)	147	(100.0)	100.0 n = 3,712

表8 Dukes分類

Dukes分類	鳥取県 (H15年度)					全国 (%) H14年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
A	53	19	42	114	(77.6)	68.5
B	5	2	5	12	(8.2)	11.1
C	6	3	9	18	(12.2)	} 20.4
D	1	1	1	3	(2.0)	
不明	0	0	0	0	(0.0)	
計	65	25	57	147	100.0	100.0 n = 2,750

表9 組織型分類

組織型	鳥取県 (%) H15年度					全国 (%) H14年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
Wel	43	14	29	86	(58.5)	71.8
Mod	21	10	23	54	(36.7)	24.7
Por	0	0	2	2	(1.4)	1.4
muc	1	1	1	3	(2.0)	0.8
その他不明	0	0	2	2	(1.4)	1.3
計	65	25	57	147	100.0	100.0 n = 3,567

表10 治療法

治療方法	鳥取県 (H15年度)					全国 (%) H14年度
	東部(%)	中部(%)	西部(%)	計	(%)	
外科手術	35(53.8)	13(52.0)	37(64.9)	85	(57.8)	51.2
内視鏡治療	30(46.2)	12(48.0)	20(35.1)	62	(42.2)	46.6
その他不明	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0	(0.0)	2.2
計	65(100.0)	25(100.0)	57(100.0)	147	(100.0)	100.0 n = 3,389

表11 平成15年度逐年検診発見進行癌

症 例				病 巣					便潜血		前年の精密検査結果	地区	検診方式	
No.	氏名	年齢	性	部位	大きさ	深達度	肉眼型	組織型	前年	当年				
1	H.I	83	M	R	50mm	ss	2	mod	+-	++	経 過 観 察	東部	施設 検 診	
2	I.O	74	M	C	30mm	ss	2	wel	--	++				
3	H.K	69	F	T	15mm	mp	2	mod	--	++				
4	K.I	68	F	R	17mm	mp	2	mod	--	-+		西部		
5	K.U	88	F	T	28mm	mp	2	wel	--	++				
6	M.S	66	M	T	70mm	si	2	por	++	++	未受診*(H12~)			
7	U.W	71	M	S	20mm	mp	2	mod	+-	++	注腸造影異常なし			
8	K.H	66	F	T	?	ss	2	mod	++	++	未受診**(アンケート調)			
9	I.M	85	M	A	25mm	mp	2	mod	--	++		東部		地域 検 診
10	I.S	70	F	A	20mm	ss	2	mod	--	+-				
11	S.M	68	F	S	35mm	ss	2	mod	--	++				
12	Y.H	76	M	D	19mm	ss	2	mod	--	++				
13	Y.T	58	M	R	30mm	se	2	mod	--	+-				
14	T.A	77	M	S	15mm	mp	2	mod	--	-+			中部	
15	T.T	70	F	A	40mm	ss	2	mod	--	-+				
16	K.I	66	M	S	20mm	mp	1	mod	--	++				
17	Y.Y	62	M	R	28mm	ss	2	mod	++	++	未 受 診	西部		
18	A.K	61	F	A	12mm	ss	2	mod	--	++				
19	T.H	63	F	R	20mm	ss	2	mod	--	++				
20	K.I	78	M	R	25mm	mp	2	mod	--	++				

*H12年度より毎年++だが未受診。 **アンケート調査では「忙しい」と回答、電話連絡取れず。

6. 肝 臓 が ん 検 診

1. 肝臓がん検診実績

1) 平成15年度肝臓がん検診実績について

平成15年度より単県事業の肝臓がん対策事業(平成7年度より開始された鳥取県肝臓がん検診)の検査方法を基本健康診査における肝炎ウイルス検査(平成14年度より開始された国庫事業)と同一とした。

平成15年度は、単県事業の肝臓がん対策事業あるいは基本健康診査における肝炎ウイルス検査のいずれかまたは双方の肝臓がん検診が36市町村で実施された。対象者数59,859人のうち、受診者数は6,211人(単県事業の肝臓がん対策事業1,365人・基本健康診査における肝炎ウイルス検査4,846人)で受診率は10.4%であった。要精検者数はHBs抗原のみ陽性者124人、HCV抗体のみ陽性者60人、HBs抗原・HCV抗体ともに陽性者2人の計186人・受診者数の2.99%であった。受診者数におけるHBs抗原陽性率は2.02%、HCV抗体陽性率は1.00%であった。また、要精検者186人のうち精検受診者は102人、精検受診率は54.8%であった。精検受診者102人のうち、肝臓がんまたは肝臓がん疑いの者は1人もなかった。

平成7年度から平成15年度の9年間を集計すると、平成7～9年度の検診時において、市町村から報告のあった対象者数192,315人に対し、受診者数83,280人、推計受診率43.3%である。そのうちHBs抗原陽性者は2,153人(2.59%)、HCV抗体陽性者は3,305人(3.97%)であった。

2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査の状況について

肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対して定期検査を行っているが、定期検査対象者となる「健康指導対象者」は、B型肝炎ウイルス陽性者が1,091人、C型肝炎ウイルス陽性者が1,113人であり、このうち受診者数はB型肝炎ウイルス陽性者が566人、C型肝炎ウイルス陽性者が656人であった。

定期検査の結果、慢性肝炎と診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が109人(受診者数の19.3%)、C型肝炎ウイルス陽性者が310人(受診者数の47.3%)であった。また、肝硬変と診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が6人(受診者数の1.1%)、C型肝炎ウイルス陽性者が25人(受診者数の3.8%)であった。肝臓がんまたは肝臓がん疑いと診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が3人(受診者数の0.5%)、C型肝炎ウイルス陽性者が15人(受診者数の2.3%)であった。

2. 肝臓がん検診発見肝臓がん追跡調査結果

平成7年度から平成15年度の肝臓がん検診発見がん患者の確定調査では、確定がんは17人であった。また平成10年度から平成15年度の定期検査中に発見された確定がんは40人であった。

肝臓がん検診発見がん患者17人のうち、16人は死亡、生存中は1人であった。また、定期検査中に発見されたがん患者40人のうち、18人は死亡(他病死を含む)、生存中は22人であった。

3. 平成7年度事業以来の肝臓がん対策に係る評価分析について

鳥取県は、全国に先駆けて平成7年度より肝臓がん検診及び肝炎ウイルス陽性者へのフォローアップ事業を実施してきた。この8年間の成果を取りまとめ、「鳥取県の肝臓がん対策」として冊子を600部作成し、関係先に配布した。

(1) 平成15年度肝臓がん検診結果(基本健康診査における肝炎ウイルス検査十県単独肝臓がん検診)

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)		一 次 検 診 結 果								HBs抗原 陽性率 (%)		HCV抗体 陽性率 (%)	
			HBs抗原 のみ陽性		HCV抗体 のみ陽性		HBs・HCV 陽 性		異常なし		男	女	男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
40 ~ 44	146	344	4	9	0	1	0	0	142	333	2.7	2.6	0.0	0.3
45 ~ 49	123	283	7	6	0	0	0	0	116	277	5.7	2.1	0.0	0.0
50 ~ 54	188	434	7	9	0	2	1	0	179	422	4.3	2.1	0.5	0.5
55 ~ 59	243	605	7	12	2	9	0	0	233	579	2.9	2.0	0.8	1.5
60 ~ 64	385	679	9	13	5	6	0	0	367	655	2.3	1.9	1.3	0.9
65 ~ 69	416	651	11	13	4	2	0	1	397	630	2.6	2.2	1.0	0.5
70 ~ 74	484	709	7	6	6	11	0	0	469	686	1.4	0.8	1.2	1.6
75 ~ 79	139	184	0	2	4	3	0	0	135	179	0.0	1.1	2.9	1.6
80歳以上	60	138	0	2	0	5	0	0	60	131	0.0	1.4	0.0	3.6
計	2,184	4,027	52	72	21	39	1	1	2,098	3,892	2.4	1.8	1.0	1.0
合 計	6,211		124		60		2		5,990		2.0		1.0	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)		一次検査結果						HBs抗原陽性率 (%)		HCV抗体陽性率 (%)		
	男	女	HBs抗原のみ陽性		HCV抗体のみ陽性		HBs・HCV陽性		異常なし	男	女	男	女
			男	女	男	女	男	女					
直営	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0
保健事業団	708	994	13	29	5	8	0	0	951	1.8	2.9	0.7	0.8
中国労働衛生協会	54	92	4	4	0	0	0	0	88	7.4	4.3	0.0	0.0
病院	275	470	7	9	2	7	0	0	452	2.5	1.9	0.7	1.5
診療所	1,143	2,470	28	30	14	24	1	1	2,400	2.5	1.3	1.3	1.0
合計	2,184	4,027	52	72	21	39	1	1	3,892	2.4	1.8	1.0	1.0
		6,211	124		60		2		5,990	2.0		1.0	

b. 精密検査結果

一次検診機関	区分	精密検査受診者(人)		精密検査結果												肝臓がん発見率 %		
		男	女	健康診断名						対象者診断名						男	女	
				無症候性キャリア	脂肪肝	慢性肝炎	肝硬変	アルコール性肝障害	肝臓がん疑い	肝臓がん	その他の疾病	その他						
直営	B型陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C型陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健事業団	全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	B型陽性	6	16	4	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
中国労働衛生協会	C型陽性	1	8	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	全体	7	24	4	20	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
病院	B型陽性	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	C型陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
診療所	全体	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	B型陽性	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	C型陽性	2	5	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	全体	6	9	2	6	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
診療所	B型陽性	13	16	9	12	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
	C型陽性	10	14	5	6	0	1	3	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0
計	全体	23	30	14	18	0	2	4	9	1	0	0	0	0	0	0	3	0.0
	B型陽性	25	37	16	29	1	2	4	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0.0
合計	C型陽性	13	27	6	16	0	2	5	8	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0
	全体	38	64	22	45	1	4	9	12	1	0	0	0	0	0	4	2	0.0
合計	B型陽性	62	45	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0.0
	C型陽性	40	22	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0.0
全体	102	67	21	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0.0	

※「その他」は、転出、死亡、入院中の者及び医師が他の疾病の罹患等により、当事業でのフォローは不必要であると認められた者を指す。

4) 平成15年度肝臓がん検診実施状況（市町村別）

a. 一次検診結果

市町村名	対象者数 (人) A	肝炎ウイルス検査				検査結果				HBs抗原 陽性率 (%) K = H + J / D	HCV抗体 陽性率 (%) L = I + J / D
		集 団 検 査 B	医 療 機 関 C	計 D = B + C	受 診 率 (%) E = D / A	異 常 認 め ず (人) G	HBs抗原 のみ陽性 H	HCV 抗体のみ 陽性 I	HBs抗原・ HCV抗体 とも陽性 J		
鳥取市	12,700	0	337	337	2.7	321	12	3	1	3.9	1.2
米子市	6,986	0	2,614	2,614	37.4	2,543	40	30	1	1.6	1.2
倉吉市	3,474	131	0	131	3.8	127	3	1	0	2.3	0.8
境港市	1,937	0	506	506	26.1	497	6	3	0	1.2	0.6
国府町	4,255	79	0	79	1.9	78	1	0	0	1.3	0.0
岩美町	1,594	151	0	151	9.5	147	2	2	0	1.3	1.3
福部村	804	9	20	29	3.6	25	3	1	0	10.3	3.4
郡家町	981	71	29	100	10.2	99	1	0	0	1.0	0.0
船岡町	1,507	83	0	83	5.5	81	2	0	0	2.4	0.0
河原町	641	60	77	137	21.4	134	2	1	0	1.5	0.7
八束町	1,799	84	36	120	6.7	78	5	1	0	4.2	0.8
若桜町	17	17	0	17	100.0	17	0	0	0	0.0	0.0
用瀬町	310	0	36	36	11.6	34	1	1	0	2.8	2.8
佐治村	70	15	0	15	21.4	16	0	0	0	0.0	0.0
智頭町	2,272	220	240	460	20.2	449	8	3	0	1.7	0.7
気高町	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
鹿野町	456	3	18	21	4.6	21	0	0	0	0.0	0.0
青谷町	7,980	71	0	71	0.9	69	1	1	0	1.4	1.4
羽合町	122	26	0	26	21.3	25	1	0	0	3.8	0.0
泊村	1,110	21	105	126	11.4	117	4	5	0	3.2	4.0
東郷町	1,612	10	63	73	4.5	72	1	0	0	1.4	0.0
三朝町	67	26	0	26	38.8	26	0	0	0	0.0	0.0
関金町	557	33	0	33	5.9	27	0	6	0	0.0	18.2
北条町	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
大栄町	606	42	0	42	6.9	41	1	0	0	2.4	0.0
東伯町	5,580	298	0	298	5.3	290	8	0	0	2.7	0.0
赤碕町	889	30	0	30	3.4	30	0	0	0	0.0	0.0
西伯町	166	9	56	65	39.2	62	2	1	0	3.1	1.5
会見町	42	42	0	42	100.0	40	2	0	0	4.8	0.0
岸本町	303	61	0	61	20.1	58	3	0	0	4.9	0.0
日吉津村	22	3	0	3	13.6	3	0	0	0	0.0	0.0
淀江町	109	0	39	39	35.8	38	1	0	0	2.6	0.0
大山町	197	22	31	53	26.9	52	1	0	0	1.9	0.0
名和町	324	27	54	81	25.0	80	1	0	0	1.2	0.0
中山町	4	2	0	2	50.0	2	0	0	0	0.0	0.0
日南町	108	0	108	108	100.0	105	2	1	0	1.9	0.9
日野町	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
江府町	208	146	0	146	70.2	138	8	0	0	5.5	0.0
溝口町	50	50	0	50	100.0	48	2	0	0	4.0	0.0
合計	59,859	1,842	4,369	6,211	10.4	5,990	124	60	2	2.0	1.0

b. 精密検査結果

市町村	区分	要精検者 M	精 検 受 診 者 N	精 診 率 (%) O = N/M	精 密 検 査 結 果									がん発見率 (%) Z = (U + V)/D	
					健康指導対象者診断名										その他 X
					無症候性 キャリア P	脂肪肝 Q	慢性肝炎 R	肝硬変 S	アルコール 性肝障 害 T	がん 疑い U	がん V	その他 の疾病 W			
鳥取市	B型陽性	13	6	46.2	6	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	4	2	50.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	17	8	47.1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
米子市	B型陽性	41	21	51.2	14	1	2	1	1	0	0	2	0		
	C型陽性	31	20	64.5	9	1	9	0	0	0	0	1	0		
	全 体	72	41	56.9	23	2	11	1	1	0	0	3	0	0.0	
倉吉市	B型陽性	3	1	33.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	1	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
	全 体	4	2	50.0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0	
境港市	B型陽性	6	5	83.3	2	1	2	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	3	2	66.7	1	0	1	0	0	0	0	0	0		
	全 体	9	7	77.8	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0.0	
国府町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
岩美町	B型陽性	2	1	50.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	2	1	50.0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
	全 体	4	2	50.0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0	
福部村	B型陽性	3	2	66.7	1	0	1	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	1	1	100.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	4	3	75.0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0	
郡家町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
船岡町	B型陽性	2	1	50.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	2	1	50.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
河原町	B型陽性	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	1	1	100.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	3	1	33.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
八東町	B型陽性	5	2	40.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	1	1	100.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	6	3	50.0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
若桜町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
用瀬町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	1	1	100.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	2	1	50.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
佐治村	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
智頭町	B型陽性	8	5	62.5	2	0	1	0	0	0	0	2	0		
	C型陽性	3	1	33.3	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
	全 体	11	6	54.5	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0.0	
気高町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
鹿野町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	

市町村	区分	要精検者 M	精 検 者 受 診 者 N	精 検 率 受 診 (%) O = N/M	精 密 検 査 結 果									がん 発 見 率 (%) Z = (U + V)/D	
					健 康 指 導 対 象 者 診 断 名										そ の 他 X
					無 症 候 性 キ ャ リ ア P	脂 肪 肝 Q	慢 性 肝 炎 R	肝 硬 変 S	ア ル コ ー ル 性 肝 障 害 T	が ん 疑 い U	が ん V	そ の 他 の 疾 病 W			
青 谷 町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
羽 合 町	B型陽性	1	1	100.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	1	1	100.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
泊 村	B型陽性	4	3	75.0	2	0	1	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	5	5	100.0	2	1	1	0	0	0	0	0	1		
	全 体	9	8	88.9	4	1	2	0	0	0	0	0	1	0.0	
東 郷 町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
三 朝 町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
関 金 町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	6	4	66.7	4	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	6	4	66.7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
北 条 町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
大 栄 町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
東 伯 町	B型陽性	8	6	75.0	5	1	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	8	6	75.0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
赤 碓 町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
西 伯 町	B型陽性	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	3	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
会 見 町	B型陽性	2	2	100.0	1	0	1	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	2	2	100.0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0	
岸 本 町	B型陽性	3	1	33.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	3	1	33.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
日 吉 津 村	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
淀 江 町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
大 山 町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
名 和 町	B型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
中 山 町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	

市町村	区分	要精検者 M	精 検 受診者 N	精 検 受診率 (%) O = N/M	精 密 検 査 結 果									がん 発 見 率 (%) Z = (U + V)/D	
					健 康 指 導 対 象 者 診 断 名										そ の 他 X
					無 症 候 性 キ ャ リ ア P	脂 肪 肝 Q	慢 性 肝 炎 R	肝 硬 変 S	ア ル コ ー ル 性 肝 障 害 T	が ん 疑 い U	が ん V	そ の 他 の 疾 病 W			
日 南 町	B型陽性	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	C型陽性	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	全 体	3	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
日 野 町	B型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0.0
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	全 体	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
江 府 町	B型陽性	8	3	37.5	3	0	0	0	0	0	0	0	0		0.0
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	全 体	8	3	37.5	3	0	0	0	0	0	0	0	0		
溝 口 町	B型陽性	2	2	100.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		0.0
	C型陽性	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	全 体	2	2	100.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計	B型陽性	126	62	49.2	45	3	8	1	1	0	0	4	0		0.0
	C型陽性	62	40	64.5	22	2	13	0	0	0	0	2	1	0.0	
	全 体	188	102	54.3	67	5	21	1	1	0	0	6	1		

(2) 基本健康診査における肝炎ウイルス検査

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年 齢	受診者数 (人)		HBs抗原 のみ陽性		HCV抗体 のみ陽性		HBs・HCV 陽性		異常なし		HBs抗原 陽性率 (%)		HCV抗体 陽性率 (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	111	292	4	8	0	0	0	0	106	278	3.6	2.7	0.0	0.0
45～49	75	220	5	4	0	0	0	0	70	214	6.7	1.8	0.0	0.0
50～54	118	333	4	8	0	2	1	0	112	322	4.2	2.4	0.8	0.6
55～59	156	469	5	6	2	5	0	0	148	455	3.2	1.3	1.3	1.1
60～64	246	529	7	7	4	4	0	0	233	512	2.8	1.3	1.6	0.8
65～69	313	532	8	7	3	1	0	1	299	520	2.6	1.5	1.0	0.4
70～74	415	638	6	5	6	11	0	0	401	621	1.4	0.8	1.4	1.7
75～79	103	133	0	1	4	2	0	0	97	129	0.0	0.8	3.9	1.5
80歳以上	49	114	0	2	0	5	0	0	49	107	0.0	1.8	0.0	4.4
計	1,586	3,260	39	48	19	30	1	1	1,515	3,158	2.5	1.5	1.3	1.0
合 計	4,846		87		49		2		4,673		1.8		1.1	

(3) 県単独肝臓がん検診

1) 一次検診結果（年齢階級別）

年 齢	受診者数 (人)		HBs抗原 のみ陽性		HCV抗体 のみ陽性		HBs・HCV 陽性		異常なし		HBs抗原 陽性率(%)		HCV抗体 陽性率(%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	36	54	0	1	0	1	0	0	36	52	0.0	1.9	0.0	1.9
45～49	48	66	2	2	0	0	0	0	46	64	4.2	3.0	0.0	0.0
50～54	71	105	3	2	0	0	0	0	68	103	4.2	1.9	0.0	0.0
55～59	78	118	2	5	0	3	0	0	76	110	2.6	4.2	0.0	2.5
60～64	139	155	2	6	1	3	0	0	136	146	1.4	3.9	0.7	1.9
65～69	104	122	3	6	1	1	0	0	100	115	2.9	4.9	1.0	0.8
70～74	73	70	1	1	0	0	0	0	72	69	1.4	1.4	0.0	0.0
75～79	38	52	0	1	0	1	0	0	38	50	0.0	1.9	0.0	1.9
80歳以上	11	25	0	0	0	0	0	0	11	25	0.0	0.0	0.0	0.0
計	598	767	13	24	2	9	0	0	583	734	2.2	3.1	0.3	1.2
合 計	1,365		37		11		0		1,317		2.7		0.8	

(4) 平成7年度から平成14年度肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者の定期検査結果

1) 平成15年度B型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年齢	健康指導対象者 (平成15年4月1日現在の実人数)		受診者数 (平成16年3月31日現在の実人数)		定期検査結果																	
	健康指導対象者		受診者数		健康			指 導			対 象			診 断			結 果					
	男	女	男	女	無症候性HBs キャリア	脂 肪 肝	慢 性 肝 炎	肝 硬 変	ア ル コ ー ル 肝 炎	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん			
40~44	14	19	5	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
45~49	28	45	13	20	7	15	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
50~54	50	73	14	33	8	23	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
55~59	52	110	14	44	8	33	4	4	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
60~64	55	122	21	73	14	53	4	5	2	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
65~69	57	112	32	72	19	57	1	1	11	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
70~74	54	101	37	61	29	45	1	2	5	12	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
75~79	41	67	31	36	24	24	0	3	5	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
80歳以上	30	61	22	34	14	28	2	2	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	381	710	189	377	128	282	8	19	43	66	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
合 計	1,091		566		410			109			6			1			2			7		

※「その他」は、転出、死亡、入院中の者及び医師が他の疾病の罹患等により、当事業でのフォローは不必要であると認められた者を指す。

2) 平成15年度C型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年齢	健康指導対象者 (平成15年4月1日現在の実人数)		受診者数 (平成16年3月31日現在の実人数)		定期検査結果																	
	健康指導対象者		受診者数		健康			指 導			対 象			診 断			結 果					
	男	女	男	女	無症候性HCV キャリア	脂 肪 肝	慢 性 肝 炎	肝 硬 変	ア ル コ ー ル 肝 炎	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん	肝 臓 が ん 疑 い	肝 臓 が ん			
40~44	5	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
45~49	12	9	3	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
50~54	14	24	3	13	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
55~59	11	47	4	23	2	9	1	0	1	12	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
60~64	21	84	10	52	3	25	1	1	5	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
65~69	62	140	37	88	8	27	1	1	23	54	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
70~74	66	163	28	110	8	47	1	3	15	52	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
75~79	95	148	55	111	18	44	2	1	26	51	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0		
80歳以上	81	129	51	61	24	37	0	1	19	15	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	367	746	194	462	65	147	6	7	95	215	10	15	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計	1,113		656		262			13			310			5			10			12		

※「その他」は、転出、死亡、入院中の者及び医師が他の疾病の罹患等により、当事業でのフォローは不必要であると認められた者を指す。

	健康指導 対象者数	定期検査 受診者数	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん疑い または肝臓がん
B型肝炎ウイルス陽性者	1,091	566	109 (19.3%)	6 (1.1%)	3 (0.5%)
C型肝炎ウイルス陽性者	1,113	656	310 (47.3%)	25 (3.8%)	15 (2.9%)

(5) 平成7～15年度年代別肝臓がん検診結果

年 齢	一次検診 受診者数 (人)		HBs抗原 陽性者 (人)		HBs抗原 陽性率 (%)		HCV抗体 陽性者 (人)		HCV抗体 陽性率 (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	1,830	3,857	83	119	4.54	3.09	32	43	1.75	1.11
45～49	1,977	4,353	106	169	5.36	3.88	32	91	1.62	2.09
50～54	1,920	5,255	102	196	5.31	3.73	29	148	1.51	2.82
55～59	2,125	6,348	71	198	3.34	3.12	62	233	2.92	3.67
60～64	4,667	9,760	134	203	2.87	2.08	168	444	3.60	4.55
65～69	5,888	10,083	148	204	2.51	2.02	269	487	4.57	4.83
70～74	5,093	8,237	88	143	1.73	1.74	268	412	5.26	5.00
75～79	2,600	4,462	53	68	2.04	1.52	138	216	5.31	4.84
80歳以上	1,823	3,002	19	49	1.04	1.63	104	129	5.70	4.30
計	27,923	55,357	804	1,349	2.88	2.44	1,102	2,203	3.95	3.98
合 計	83,280		2,153		2.59		3,305		3.97	

(6) 平成15年度肝臓がん検診および定期検査による発見がん患者追跡調査結果について

1) 平成15年度肝臓がん検診発見がんまたはがん疑いおよび定期検査による発見がん疑い
(検診発見癌または癌疑い)

肝臓がん検診においては、がんまたはがん疑いの者は一人も発見されなかった。

(定期検査による発見癌または癌疑い)

No.	年齢	性	診断	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	AFP
1	75	男	肝臓	切除	03.6.3.	単発	S6	20×20	腫瘍	有	B	6215
2	76	男	肝臓	切除	04.2.9.	2個	S28	50×50	腫瘍	無	C	22
3	76	男	肝臓	MCT	03.8.14.	単発	S8	25×20	腫瘍	有	C	59
4	83	男	肝臓	PEIT	03.5.30.	単発	S5/6	22×21	腫瘍	無	C	29
5	72	女	癌なし								C	3
6	80	男女	肝臓	RFA	04.8.3.	>4個	S13468	30×25	腫瘍	有	C	15
7	91	男女	肝臓	NT		>4個	S3478	100×100	腫瘍	不明	C	NT
8	74	男女	肝臓	TAE		>4個			腫瘍	無	C	NT
9	75	男女	肝臓	TAE	03.10.	単発	S8	23×23	腫瘍	有	C	239
10	79	男女	癌なし								C	19
11	81	男女	嚢胞								C	10
12	79	男	肝臓	RFA	04.3.15.	単発	S8	30×20	腫瘍	無	C	6

2) 平成7～14年度肝炎ウイルス陽性者定期検査による発見癌追跡調査報告

No.	年齢	性	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考
1	71	男	切除	95.8.	単発			腫瘍	有	C	
2	63	男	切除	97.2.26.	単発	S8	30×30	腫瘍	有	C	4年6か月後死亡
3	71	男	TAE	97.7.16.	2個	S68	30×30	腫瘍	無	C	再発、5年9か月後死亡
4	63	女	PEIT	97.12.3.	単発	S2	10×10	腫瘍	無	C	無再発生存中
5	59	男	TAE	98.5.	単発	S8	20×20	腫瘍	有	B	再発、3年2か月後死亡
6	76	女	TAE	98.6.30.	単発	S8	30×30	腫瘍	有	C	再発、2年3か月後死亡
7	70	男	切除	98.9.1.	単発	S8	40×30	腫瘍	有	C	再発、2年9か月後死亡
8	68	男	MCT	99.1.25.	4個	S2377	27×27	腫瘍	有	C	再発、3年5か月後死亡
9	83	男	TAE	99.2.11.	>4個	S35678	40×30	腫瘍	有	C	11か月後死亡
10	79	男	TAE	99.6.9.	単発	S8		浸潤	有	C	8か月後死亡
11	64	男	切除	00.2.8.	2個	S5/6,4	75×70	腫瘍	無	C	再発、3年6か月後死亡
12	79	女	TAE	00.3.1.	単発	S6	10×10	腫瘍	有	B	5か月後再発
13	66	男	切除	00.9.27.	2個	S65	15×15	腫瘍	有	B	2年10か月後再発
14	82	男	TAE	00.4.5.	単発	S4	55×40	腫瘍	有	C	1年2か月後他病死
15	74	男女	切除	00.2.28.	単発	S2	32×32	腫瘍	有	C	4年4か月後死亡
16	64	女	TAI	99.10.14.	>4個	S23457	10×10	腫瘍	有	C	生存中
17	75	男	TAE	00.4.19.	単発	S7	30×30	腫瘍	無	C	4年5か月後死亡
18	75	男	TAE	97.11.	>4個	S4568	25×25	腫瘍	有	C	4年1か月後他病死
19	86	男女	PEIT	00.8.18.	単発	S4	15×15	腫瘍	無	C	2年1か月後再発
20	70	男女		00.7.2.						C	同月死亡
21	65	男	切除	98.2.5.	単発	S1	90×90	腫瘍	有	B	3年10か月後死亡
22	67	男	切除	01.11.19.	単発	S8	13×13	腫瘍	有	B	無再発生存中
23	76	女	T/P	01.8.1.	単発	S7	15×15	腫瘍	有	C	1年8か月後再発
24	66	女	TAE	01.7.26.	単発	S7	10×10	腫瘍	無	C	無再発生存中
25	75	女	T/P	02.3.4.	単発	S5/6	37×31	腫瘍	無	C	5か月後再発
26	73	男	TAE	01.4.10.	単発	S5	20×20	腫瘍	有	C	7か月後死亡
27	76	女	T/P	02.10.10.	単発	S5	20×20	腫瘍	有	C	2年1か月後他病死
28	79	女	TAE	01.06.27.	>4個	S2457	40×40	腫瘍	無	C	1年10か月後死亡
29	79	女	切除	03.2.26.	単発	S3	30×30	浸潤	有	C	9か月後再発
30	82	女	RFA	03.5.26.	単発	S5	35×35	腫瘍	無	B	8か月後再発
31	78	女	T/R	02.9.24.	単発	S8	40×40	腫瘍	無	C	無再発生存中
32	75	男	切除	03.6.3.	単発	S6	20×20	腫瘍	有	B	無再発生存中
33	76	男	切除	04.2.9.	2個	S28	50×50	腫瘍	無	C	無再発生存中
34	76	男	MCT	03.8.14.	単発	S8	25×20	腫瘍	有	C	無再発生存中
35	83	男	PEIT	03.5.30.	単発	S5/6	22×21	腫瘍	無	C	無再発生存中
36	80	男	RFA	04.8.3.	>4個	S13468	30×25	腫瘍	有	C	生存中
37	91	女	NT		>4個	S3478	100×100	腫瘍	不明	C	生存中
38	74	女	TAE		>4個			腫瘍	無	C	生存中
39	75	男女	TAE	03.10.	単発	S8	23×23	腫瘍	有	C	11か月後再発
40	79	男	RFA	04.3.15.	単発	S8	30×20	腫瘍	無	C	無再発生存中

3) 平成7～15年度肝臓がん検診発見癌追跡調査報告

No.	年齢	性	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考
1	74	女	切除	95.10.24.	単発	S4	55×55	腫瘤	有	C	再発、7年7か月後死亡
2	70	女	TAE	96.2.20.	単発	S8	40×38	腫瘤	無	C	死亡
3	63	女	切除	96.3.13.	単発	S7	30×23	腫瘤	有	C	無再発生存中
4	83	男	TAE	96.7.15.	単発	S4	12×12	腫瘤	無	C	再発、3年9か月後死亡
5	74	女	TAE	96.8.29.	>4個	S5/78	35×35	腫瘤	無	C	再発、1年8か月後死亡
6	64	女	TAE	96.10.25.	>4個	S67	67×57	腫瘤	無	B	9か月後死亡
7	72	男	TAE	96.11.1.	2個	S6	20×20	腫瘤	有	—	再発、1年1か月後死亡
8	70	男	PEIT	96.11.22.	単発	S5	25×25	腫瘤	有	C	再発、5年2か月後死亡
9	69	男	PEIT	97.1.7.	単発	S7	10×9	腫瘤	無	C	再発、6年1か月後死亡
10	73	女	TAE	97.11.17.	>4個	S234	80×60	腫瘤	無	C	3か月後死亡
11	61	男	TAE	97.11.17.	3個	S568	15×10	腫瘤	有	C	再発、2年3か月後死亡
12	75	男	TAE	97.12.4.	単発	S7/8	40×32	腫瘤	無	C	7か月後死亡
13	57	男	TAE	98.3.3.	単発	S1	70×50	腫瘤	有	B	1年後死亡
14	80	女	切除	98.7.31.	単発	S5/6	25×25	腫瘤	無	C	9か月後死亡
15	49	男	RES	99.12.15.	>4個	S4568	80×80	浸潤	無	B	4か月後死亡
16	69	男	切除	00.12.23.	単発	S8	50×50	腫瘤	無	—	再発、1年5か月後死亡
17	66	男	TAE	01.9.19.	単発	S6	100×100	腫瘤	無	C	1年10か月後死亡

7. 全国がん検診実績との比較

(単位：人 %)

区 分		平成15年度実績（鳥取県）	平成15年度実績（全国）
胃 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	171,941	33,820,361
	受 診 者 数(人)	48,046	4,508,041
	受 診 率(%)	27.9	13.3
	受 診 率 順 位	4 位	—
	要 精 検 者 数(人)	3,434	518,753
	要 精 検 率(%)	10.9	11.5
	精 検 受 診 者 数(人)	2,702	391,638
	精 検 受 診 率(%)	78.7	75.5
	がん又はがんの疑いのある者(人)	188	8,197
	が ん 発 見 率(%)	0.39	0.18
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	125,191	26,723,632
	受 診 者 数(人)	27,483	3,650,689
	受 診 率(%)	22.0	13.7
	受 診 率 順 位	11位	—
	要 精 検 者 数(人)	92	38,875
	要 精 検 率(%)	0.33	1.06
	精 検 受 診 者 数(人)	76	26,079
	精 検 受 診 率(%)	82.6	67.1
	がん又はがんの疑いのある者(人)	42	7,229
	が ん 発 見 率(%)	0.15	0.20
肺 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	178,762	33,020,676
	受 診 者 数(人)	63,649	7,795,794
	受 診 率(%)	35.6	23.6
	受 診 率 順 位	15位	—
	要 精 検 者 数(人)	640	229,270
	要 精 検 率(%)	1.01	2.94
	精 検 受 診 者 数(人)	489	165,493
	精 検 受 診 率(%)	76.4	72.2
	がん又はがんの疑いのある者(人)	78	7,929
	が ん 発 見 率(%)	0.12	0.10

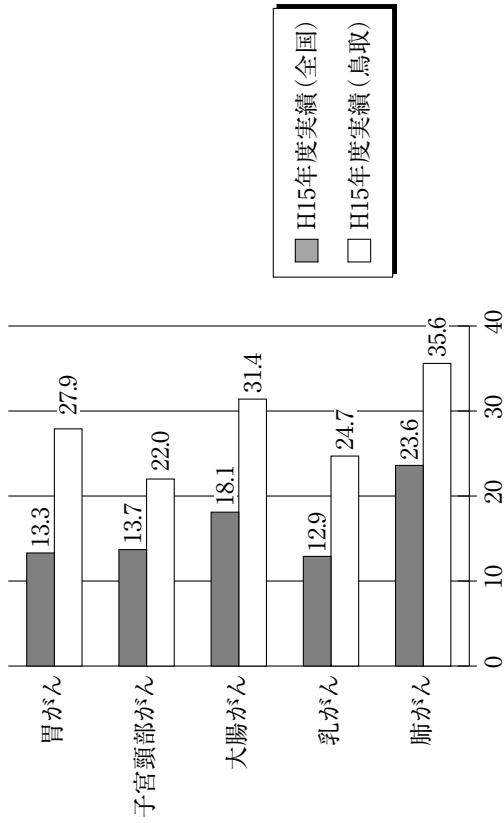
区 分		平成15年度実績（鳥取県）	平成15年度実績（全国）
乳 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	127,945	26,956,184
	受 診 者 数(人)	31,539	3,488,074
	受 診 率(%)	24.7	12.9
	受 診 率 順 位	5 位	—
	要 精 検 者 数(人)	1,115	200,165
	要 精 検 率(%)	3.54	5.74
	精 検 受 診 者 数(人)	985	155,490
	精 検 受 診 率(%)	88.3	77.7
	がん又はがんの疑いのある者(人)	49	7,070
	が ん 発 見 率(%)	0.16	0.20
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	179,274	35,475,105
	受 診 者 数(人)	56,218	6,403,659
	受 診 率(%)	31.4	18.1
	受 診 率 順 位	5 位	—
	要 精 検 者 数(人)	5,194	466,172
	要 精 検 率(%)	9.2	7.3
	精 検 受 診 者 数(人)	3,449	264,746
	精 検 受 診 率(%)	66.4	56.8
	がん又はがんの疑いのある者(人)	157	13,014
	が ん 発 見 率(%)	0.28	0.20

(出典) 鳥取県数値（受診率順位を除く）＝鳥取県健康対策協議会各がん検診専門委員会資料
 全国数値及び鳥取県の受診率順位＝地域保健・老人保健事業報告（厚生労働省）

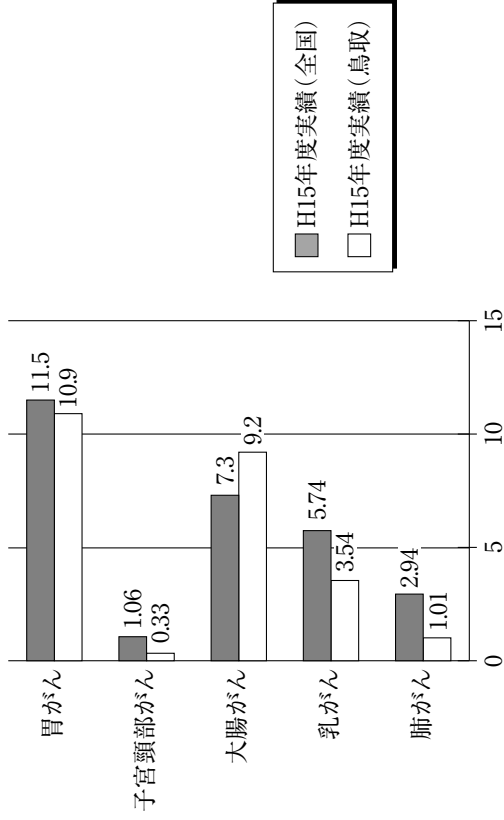
- (注) 1 鳥取県の数値は、県が独自に調査した結果であり、厚生労働省による調査結果である「地域保健・老人報告事業報告」に記載された数値とは異なる場合がある。
 2 肺がん検診の数値は、喀痰検査のみ受診した者の数値を含まない。

老人保健事業健康診査 (平成15年度)

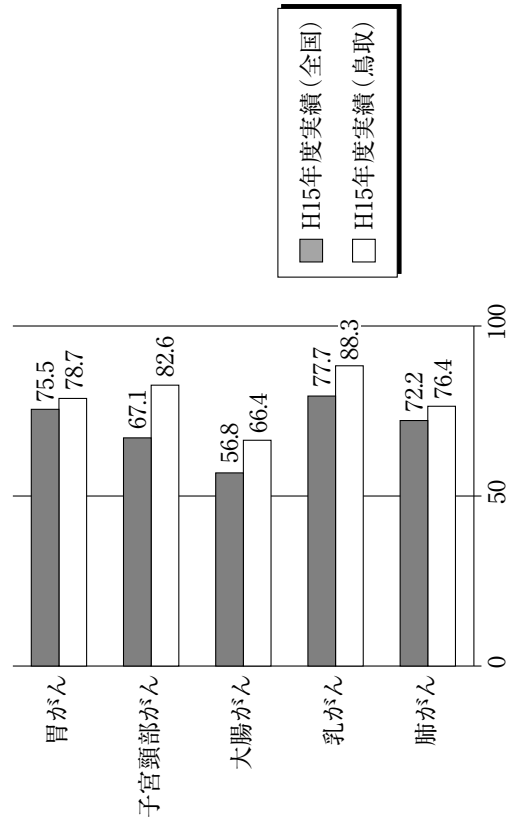
受診率 (%)



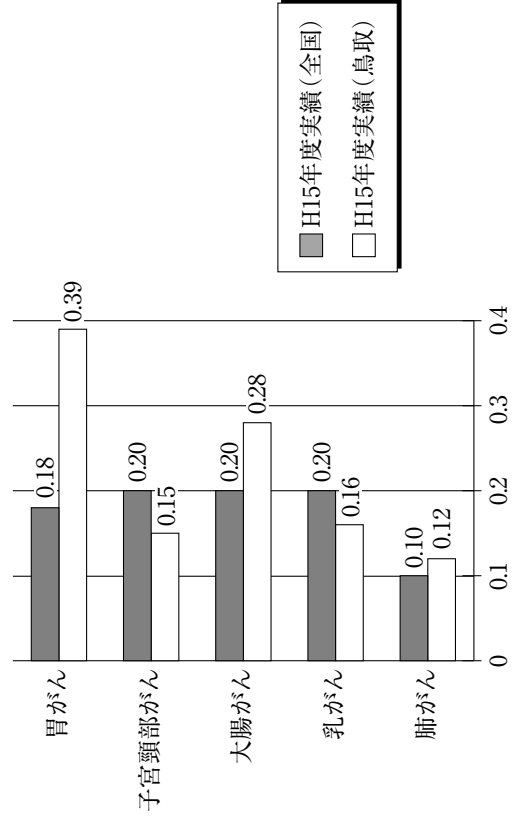
要精検率 (%)



精検受診率 (%)



がん発見率 (%)



Ⅲ. 平成16年度各がん検診従事者講習会及び 症例研究会開催状況

平成16年度がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況

事	業	名	開催日時	場	所	出席者	内	容
胃がん	業	胃がん検診従事者講習会 及び症例研究会	平成17年1月29日(土) 午後4時～午後6時	米子市 西部医師会館		158名	演題：「上部消化管内視鏡検査のコツ『見落としの少ない内視鏡』」 講師：島根大学医学部附属病院光学医療部助教 天野祐二先生 症例検討 東部—1例：鳥取赤十字病院 堀江 聡先生 中部—1例：鳥取県立厚生病院 野口直哉先生 西部—1例：山陰労災病院 謝花典子先生	
子宮がん	業	子宮がん検診従事者講習会 及び症例検討会	平成17年2月6日(日) 午後4時～ 午後5時30分	米子市 西部医師会館		57名	演題：「子宮がん検診の今後の課題」 講師：鳥取大学医学部附属病院産科婦人科助手 板持広明先生 症例提示4例	
肺がん	業	肺がん検診従事者講習会 及び症例研究会	平成17年2月12日(土) 午後4時～午後6時	米子市 西部医師会館		74名	演題：「肺癌検診における喀痰細胞診の現状と対策」 講師：癌研究会附属病院呼吸器内科部長 宝来 威先生 症例検討 東部—1例：鳥取県立中央病院 中村一彦先生 中部—1例：鳥取県立厚生病院 吹野俊介先生 西部—1例：鳥大医 胸部外科 中村廣繁先生	
乳がん	業	乳がん検診従事者講習会及 び第12回鳥取県検診発見乳 がん症例検討会	平成16年7月31日(土) 午後4時～ 午後5時45分	鳥取市 鳥取県健康会館		104名	演題：「鳥取県における視触診による乳がん検診の現状とマンモグ ラフイ併用検診導入の意義と問題点」 講師：鳥取赤十字病院第2外科部長 工藤浩史先生 症例検討 東部—1例：鳥取市立病院 小寺正人先生 中部—4例：鳥取県立厚生病院 林 英一先生 西部—1例：鳥大医 第2外科 石黒清介先生	
		乳がん検診従事者講習会	平成16年12月18日(土) 午後4時～ 午後5時10分	倉吉市 中部医師会館		92名	演題：「マンモグラフィ併用検診導入の現状と問題点」 講師：鳥取大学医学部附属病院第2外科講師 石黒清介先生	

事	業	名	開催日時	場	所	出席者	内	容
大腸がん	大腸がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成16年8月21日(土) 午後4時～ 午後5時30分	米子市 西部医師会館		104名	演題：「便潜血検査2日法と1日2個法による大腸がん検診の比較」 講師：宮崎内科医院院長 宮崎博実先生 症例検討 東部—1例：鳥取生協病院 鈴木一則先生 中部—1例：北岡病院 松田哲郎先生 西部—1例：山陰労災病院 向山智之先生	
肝臓がん	肝臓がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成17年3月5日(土) 午後4時～午後6時	鳥取市 鳥取県健康会館		106名	演題「肝臓克服のために」 講師：鳥取赤十字病院第1内科部長 松田裕之先生 東部—1例：鳥取赤十字病院 松田裕之先生 中部—1例：鳥取県立厚生病院 嵯峨山 敦先生 西部—2例：山陰労災病院 岸本幸廣先生	

1. 胃がん検診症例研究会

日 時 平成17年1月29日（土） 午後4時～午後6時

場 所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 堀 江 聡

65歳、男性

集検歴：平成13年 異常なし

平成15年 異常なし

経 過：基本健診にて貧血の指摘あり。平成15年6月体重減少、左上腹部痛出現、嚥下時つかえ感あり当院初診。内視鏡上、胃噴門部に2型腫瘍を認め、噴門部切除施行。7×3.5cm、Type 2、T3(se)、tub₁、Iy₃、v₂、INF_β、Stage IV。術後化学療法を施行したが、全身状態は次第に悪化し、平成16年2月死亡。

検 討：平成15年集検フィルムで胃噴門部に隆起性病変の指摘が可能である。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 野 口 直 哉

55歳、男性

検診歴：平成14年 異常なし

平成15年 異常なし

平成16年 異常指摘

経 過：異常発見の契機となった平成16年5月の検診では胃体上部後壁のレリーフ異常を指摘していた。

検診で異常を指摘され、同年6月当院受診、上部消化管内視鏡を受けた。胃体上部後壁の胃潰瘍瘢痕、さらに、胃角部小湾前壁よりに2型胃癌を認めた。

手術結果：胃角部の病変は2型進行胃癌 Poorly differentiated Adenocarcinoma pT₂(ss)、inf_β、ly(-)、v(-)、n₁ 潰瘍瘢痕部はbenign ulcerであった。

考 察：いわゆる“やぶにらみ症例”であるが、異常指摘時の検診フィルムを見直すと胃癌部も指摘可能と考えられた。

病変が2箇所、認められたために検診での異常の指摘は1個にとどめられたとも考えられた。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 謝 花 典 子

77歳、男性

集検歴：平成14年 異常なし

平成15年 異常なし

経 過：平成16年5月頃より、食欲なく、腹部膨満感出現し、近医より紹介当院受診となった。精査し、7月胃切除術を行った。

切除標本（病理所見）：胃体部後壁 2型、40×40mm、por₂>por₁、T4(SI)、N₁、INF_γ、Iy₂ v₂₋₃、H1（肝転移認める）、Stage IV

検 討：平成14年集検フィルムでは指摘できず、平成15年集検フィルムの検討では病変がわかって見直すと、病変の輪郭がわずかに示現されてはいるが、小腸および椎体との重なりで、その指摘は非常に困難と思われた。撮影時（体位変換時）の観察が発見への重要な手がかりになると考えられた。

2. 子宮がん検診症例研究会

日 時 平成17年2月6日(日) 午後4時～午後5時30分

場 所 鳥取県西部医師会館

1. 症例検討

鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学分野助教授 紀川純三先生の進行により、症例4例について症例検討が行われた。

平成16年度 子宮がん検診症例検討会提出症例

症例	年齢	検診月日	一次検診機関	一次検診結果	精密検査機関	精密検査結果			治療機関名
						組織診断	進行期分類	TMN分類	
症例1	62歳	H12.05.19	鳥取県保健事業団	class III a—N/C比のやや高いクロマチンの増量した細胞を散見	鳥取県立厚生病院	細胞診にて mild dysplasia	0期	pT ₀ N _x M _x	鳥取県立中央病院
		H13.05.22	鳥取県保健事業団	class III a 腺異型・moderate dysplasia	未受診				
		H15.05.27	鳥取県保健事業団	Squamous cell carcinoma (keratinizing type)	鳥取県立中央病院	Squamous cell carcinoma			
症例2	56歳	H12.12.14	博愛病院	class II			III b期	T _{3b} N _x M ₀	鳥取大学医学部附属病院
		H15.10.07	博愛病院	判定不能 (Adenocarcinoma疑)					
		H15.10.23	博愛病院	Adenocarcinoma (卵巣or卵管) 疑	鳥取大学医学部附属病院	Adenocarcinoma			
症例3	55歳	H15.11.14	鳥取市立病院	Adenosquamous cell carcinoma疑	鳥取市立病院	Squamous cell carcinoma early invasive	Ia1期	T ₁ N _x M _x	鳥取市立病院
症例4	62歳	H15.11.21	脇田ウイメンズヘルスケアセンター	Endometrial adenocarcinoma	鳥取大学医学部附属病院	Endometrial adenocarcinoma	Ia期	pT _{1a} N ₀ M ₀	鳥取大学医学部附属病院

3. 肺がん検診症例研究会

日 時 平成17年2月12日(土) 午後4時～午後6時

場 所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取県立中央病院 中 村 一 彦

症 例：73歳、男性

主 訴：精査目的

既往歴：72歳で胆石症にて胆嚢摘出術を受ける

家族歴：特記すべき事項なし

喫煙歴：40本40年

現病歴：平成12年より毎年肺癌住民検診を受けているが、BないしC判定であった。平成15年7月15日に行われた同検診では、喀痰細胞診および間接撮影ともにE判定となり、かかりつけ医より当科へ紹介受診となった。なお、以前より時々湿性咳嗽および血痰があった。

臨床経過：胸部単純X線では、右肺門部から胸膜まで達する楔状の陰影が認められた。CTでは、右上葉枝口に26×16mm大の不整形陰影が認められ、#3リンパ節の種大も認められた。腫瘍マーカーは、シフラが2.6ng/mlと軽度高値を示す他は正常範囲内であった。気管支鏡検査では、右上葉枝口をほぼ閉塞するような腫瘍が観察され、同部からの生検にて、“扁平上皮癌”が証明された。その他諸精査にて、C-T₂N₂M₀、stageⅢAと診断された。患者が手術を拒否したため、化学放射線療法を行い、PRが得られた後退院。その後も、内服での抗癌剤投与にて、現在腫瘍はほぼ消失している。

検 討：経年の間接撮影では異常陰影の指摘は困難だが、喀痰細胞診では平成12年に少なくともD判定とするべきではなかったか、との指摘があった。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 吹 野 俊 介

症 例：70歳、男性

たばこ指数は40×40=1,600であった。

平成13年の検診では、胸部X線写真は異常なし、喀痰細胞診は受けていなかった。平成14年は検診を受けなかったが、秋頃より労作時に血痰が出ることがあるのに、放置していた。平成15年の胸部X線写真は異常なしのB判定であったが、喀痰細胞診はE判定となり、当院に紹介となった。平成15年の間接写真だけを見るとB判定としても仕方がないようだが、平成13年と15年の間接写真を比較すると、左肺門陰影の増大が認められる。喀痰細胞診は、扁平上皮癌が認められた。

胸部CTでは、左S6に5cm大の腫瘍を認め、左肺動脈、左上下幹への腫瘍の浸潤のある所見であった。気管支鏡検査では、左B6の閉塞と腫瘍の露出が認められ、洗浄細胞診で腺癌、一部扁平上皮癌を認めるという所見で、喀痰細胞診との差異があった。以上より左肺癌の診断で手術を行った。

術 式：左肺全摘除術、ND2a、左S6に5.4×3.2×2.6cmの腫瘍があり、p-T₃N₀M₀、p₃d₀e₀p_{m0}(p₃)、p-Stage ⅡBであった。高分化扁平上皮癌で一部に腺癌様部分を認めるという病理所見であった。

術後経過：良好で、術後16か月経過して再発の徴候を認めない。

特別講演の宝来先生より、喀痰細胞診と洗浄細胞診の差異について、洗浄細胞診もしっか

り見れば扁平上皮癌として矛盾ないのでは、と指摘を受けた。

まとめ：今回の症例より、左肺門部の陰影には最大限の注意を払う必要があると、再認識させられた。また肺門部肺癌における喀痰細胞診の有効性を証明した症例であり、今後は肺癌の high risk群へ喀痰細胞診を徹底させる必要があると考えられた。

〔西部症例〕

提出者：鳥取大学医学部附属病院胸部外科 中村 廣 繁

症 例：59歳、男性

主 訴：咳、痰

現病歴：毎年検診を受けるが、異常は指摘されなかった。平成15年9月検診で胸部X線D判定、喀痰E判定を指摘された。1年間放置され、平成16年9月再び検診の喀痰細胞診でE判定を指摘された。平成16年10月、他院で精査を受け肺癌と診断され、手術目的で入院となった。

生活歴：喫煙 30本/日×40年

臨床経過：胸部CTで中葉の部分無気肺と肺門部にリンパ節腫大を伴う腫瘤を、さらに下葉S6に辺縁不整の腫瘤を認めた。気管支鏡検査で右B4根部に扁平上皮癌を、B6の擦過細胞診で腺癌を認めた。右肺中下葉切除+リンパ節郭清が行われ、扁平上皮癌（32×25×20mm）と腺癌（35×20×16mm）の多発癌、pT₂N₁M₀ II Bと診断された。

検 討：平成12年、13年、14年は胸部X線B判定、平成15年に胸部X線D判定、喀痰細胞診E判定で要精密検査とされたにもかかわらず、自己判断で1年放置され、平成16年に再び喀痰E判定で要精密検査とされた。喀痰E判定は肺癌の確率が極めて高く、判定区分は至急精密となるにもかかわらず、精密検査を受けなかったことは、今後かかる症例に対して精密検査の意義を十分に説明することや受診勧奨のあり方を考慮していくことが必要と思われた。また、平成15年度のX線D判定が、次年度には陰影がより明瞭になっているにもかかわらず、C判定となったことは検診従事者にとって反省すべき症例であった。

4. 乳がん検診症例研究会

日 時 平成16年7月31日（土） 午後4時～午後5時45分

場 所 鳥取県健康会館

〔東部症例〕

提出者：鳥取市立病院 小 寺 正 人

48才、女性

検診発見（右乳腺腫瘤疑い）、自覚症状なし。

左CD領域に1.0×1.0cm（腫瘤乳頭間：6.0cm）、弾性硬の腫瘤を触れた。可動性良好、えくぼ所見・胸筋固定なし。腋窩、鎖骨下、鎖骨上窩リンパ節触知せず。

エコーにて、0.7×0.6cm、円形、低エコー腫瘤陰影あり。マンモグラフィーにてカテゴリー1/1。摘出生検を行い、invasiveductal carcinoma, papillotubular and scirrhous carcinomaであった。手術（Bq+Ax、LevelⅡ）を行った。

最終病理診断：f、Iy₀、n₀、GradeⅢ、ER(+)、PgR(+)、HER-2スコア：(2+)。

補助療法：TAM：20mg/day。術後1年半経過し、無再発生存中である。

1年前の検診では異常なしとの判定であり、今回の要精検部も病変とは異なる部位であった。精検時のマンモグラフィーでも異常を指摘できず、結果的には詳細な触診とエコーで乳癌を指摘できた。更なる検診精度の向上と、見逃されたとしても中間期乳癌としていかに拾い上げられるかが重要と思われた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 林 英 一

マンモグラフィー上異常所見を認めなかった乳癌症例について

平成15年に当院で経験した乳癌手術症例31例のうち、マンモグラフィー上異常所見が認められなかった症例が4例（13%）存在した。これらの症例はいずれも触診上腫瘤が認められている。年齢は30歳代が1例、40歳代が3例であり、癌の大きさは1cmから2cmの症例が3例、2cm以上の症例が1例であった。

乳がん検診にマンモグラフィーは欠かせないものとなっているが、あくまでも検診の基本は視触診であると考え。そのうえにマンモグラフィーを併用することで、より質の高い検診結果が得られるものと考え。

〔西部症例〕

提出者：鳥取大学医学部附属病院第2外科 石 黒 清 介

アロマターゼ阻害剤単独によるneoadjuvant療法後に乳房温存術を行った1例

55歳、女性。

平成14年10月、右乳房のしこりが大きくなってきたため近医を受診。乳癌の診断で当科紹介となる。右C領域にエコー上最大径3.7cmの境界不明瞭な腫瘍を認め、温存は困難と診断するも、温存を強く希望した。コアニードルバイオプシーでER(+)、PgR(+)、HER2(2+)と診断されたため、ネオアジュバント療法としてアロマターゼ阻害剤を選択して6ヶ月間投与を行った。エコー上3.7×1.5×3.1が2.5×0.8×2.3cmと縮小したところで乳房温存術を施行した。組織は乳頭腺管癌でリンパ節転移はなく、ER(+)、PgR(+)、HER2(1+)であった。

5. 大腸がん検診症例研究会

日 時 平成16年 8月21日 (土) 午後 4時～午後 5時30分

場 所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取生協病院 鈴木 一 則

症 例：65歳、男性

現病歴：平成13年の大腸がん検診で便潜血陽性を指摘され、他院で大腸内視鏡検査が施行されたが肝彎曲部までしか挿入できなかった。このため注腸造影が追加施行され、異常なしと判定された。平成14年の大腸がん検診でも便潜血陽性を指摘され、同院で大腸内視鏡検査が施行されたところ、上行結腸に進行癌が認められ、注腸造影ではapple core signとして描出された。当院での治療を希望されたため紹介された。

手術所見：右半結腸切除術を施行した。2型、5.2×3.5cm

病理組織所見：Well differentiated adenocarcinoma, mp, Iy₁, v₁, n(-)

検 討：初回注腸造影の見直しでは、上行結腸に腫瘍周堤の一部と思われる異常影が疑われたが、同部を撮影したフィルムの枚数も少なく不明瞭であった。初回の大腸内視鏡検査では肝彎曲部まで挿入できていたので、注腸造影では上行結腸から盲腸にかけて病変の存在を追究すべきであり、同領域では病変の描出性が困難になりやすいことも留意し、多方向から撮影するなどの注意を払うべきであったと考えられた。

〔中部症例〕

提出者：北岡病院 松田 哲 郎

症 例：73歳、男性

現病歴：平成13年の大腸がん検診では便潜血反応は陰性であったが、平成14年の検診では便潜血陽性となり、近医で注腸透視Ba検査を受け、異常を指摘されたため、大腸内視鏡検査目的で当院を初診、直腸の進行癌と診断し手術を施行した。切除標本の病理学的診断は深達度mpの進行癌であった。

検 討：この症例の場合、一年前の検診時にすでに進行癌であったかもしれないし、または深達度はsmくらいの早期癌であったとも予測される。便潜血反応の偽陰性率を進行癌で10%、早期癌で50%とする報告もあり、逐年検診の重要性を実感させられた。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 向山 智 之

症 例：73歳、男性

現病歴：平成13年11月の大腸がん検診で、便潜血陽性を指摘され、近医で行われた注腸造影検査で、上行結腸、S状結腸に多発ポリープを認め当科紹介受診。当科で施行した下部消化管内視鏡検査で、上行結腸に山田Ⅳ型ポリープを、S状結腸にI p型病変を2箇所認め、それぞれポリペクトミー施行した。

S状結腸下行結腸移行部で認められた病変は進達度m₃の高分化型腺腫内癌だったが、病理組織では、茎の部分がはっきりしないため、再検が必要と考えられた。尚、S状結腸の病変は腺腫で、上行結腸の病変については進達度m₃の高分化型腺腫内癌で切除断端はインタクトであった。

その後ご本人の受診機会なく、再検査は行われず、翌年再び大腸癌検診で便潜血陽性を指摘され平成14年12月当科再受診。S状結腸、下行結腸移行部、腸管膜側に13×13ミリ大の隆起性病変をみとめた。注腸造影側面像では台状変形を有しており、深達度mp以深のⅡa様進行癌と診断し、当院外科紹介とした。

手術所見：大きさ13×13ミリのⅠ型進行癌。

高分化型腺癌で深達度はSe、 $l y_2$ 、 v_1 、 $I NF \beta$ 、ステージⅢa。

検 討：本症例は内視鏡治療後の遺残再発である可能性が強く示唆されると共に、約1年の経過で進行癌にまで進展しており、内視鏡治療後のフォローアップの重要性はさることながら、逐年検診の必要性についても教訓的な一例と考えられた。

6. 肝臓がん検診症例研究会

日 時 平成17年3月5日(土) 午後4時～午後6時

場 所 鳥取県健康会館

東・中・西部地区より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 松田裕之

症 例：51歳、男性

既往歴・家族歴：特記事項認めず

飲酒歴：ビール大瓶2本×30年

現病歴：平成12年8月、検診の際、肝機能異常を指摘されるも放置。平成13年8月、検診の際、再度肝機能異常を指摘され、同年8月末当院受診、HCV抗体陽性・HCV-RNA陽性よりC型慢性肝炎と診断される。初診時超音波検査では肝内に腫瘤を指摘されなかったが、3か月後の同年11月定期経過観察として超音波検査を受けたところ肝SOLを指摘され、精査のため入院となる。

入院時検査成績：GOT 105U/l、GPT 174U/l、Alb 4.2g/dl、T.Bil 1.5mg/dl、PT 79%、ICG 16%、AFP 18ng/ml

画像診断のまとめ：超音波検査 S3径17mm hypo-echoic lesion

ダイナミックCT同部 low～high～low

DSA 同部 tumor stain (+)

CT-AP 同部 defect (+)

CT-A 同部 stain (+)

以上より、C型慢性肝炎に合併した肝細胞癌と診断された。

診 断：肝細胞癌、Stage I・肝障害度A

治 療：平成14年1月31日S3腫瘍に対し、経カテーテル的肝動脈塞栓術施行。さらに、肝動脈塞栓術では遺残が懸念される被膜外浸潤癌細胞に対し、同年2月8日経皮的ラジオ波焼灼術を追加、以後経過観察中であるが、治療後2年11か月後のダイナミックCT所見では再発は認められていない。また、肝細胞癌治療直後に非癌部の生検を行い、(F3、A3)であった。HCVセロタイプ1型・HCV-RNA定量0.5Meq/ml未満であったことから、インターフェロン- α -2b/リバビリン併用療法を行い、HCV-RNA持続陰性化に至っている。

考 察：検診によりC型慢性肝炎を指摘され、経過観察中に肝細胞癌が診断された症例。本例では、初診時超音波検査上肝腫瘤を指摘されなかったが、3か月後の超音波検査でS3辺縁に径17mmの肝細胞癌が発見された。C型慢性肝炎例では、小肝癌の早期診断には3か月に1度の定期超音波検査によるフォローアップが望ましいと考えられた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 嵯峨山 敦

患 者：62歳、男性

主 訴：肝腫瘍治療目的

家族歴・社会歴：肝疾患の家族歴なし。輸血歴なし。

既往歴：昭和50年に肝炎(詳細不明)、平成11年に心筋梗塞

現病歴：平成9年、健康診断でB型肝炎ウイルス陽性・肝機能障害を指摘され、初診。外来で血液

検査・腹部超音波での経過観察を受けていた。

平成16年、腹部超音波で肝S5に径20mmのSOLを認められ、入院となった。

入院時現症：特記所見なし

入院時血液検査成績：T. Bil0.3mg/dl、Alb4.4g/dl、PT117%、ICGR1526%、AST27IU/l、ALT 21IU/l、PLT $17.1 \times 10^4 / \mu\text{l}$ 、HBsAg(+)、HBeAg(-)、HBeAb(+)、HBV-DNA < 3.7 LGE/ml、AFP4.0ng/ml

画像診断成績：腹部超音波：肝前区域（S5）に径20mmの低エコーのSOL、動脈血流あり、肝ダイナミックCT：S5のSOLは早期相でhigh、晚期相はlow

CTA：S5にtumor stain

CTAP：S5にperfusion defect

血管造影：S5にtumor stain、門脈に異常所見なし

検査結果のまとめ：Image St-A、 $2.5 \times 1.8 \times 1.6$ cm、単純結節型、Stage II（T2、N0、M0）、Child A（Child-Pugh 5点）

治療：肝亜区域切除術施行

病理組織：癌部：中分化型肝細胞癌

非癌部：慢性肝炎（F2A1）

考察：B型ウイルス陽性慢性肝疾患では、病変の進行度によらず発癌がみられる。肝機能の安定した状態でも、適切な間隔で画像検査を行い、肝がんの早期発見に努めることが必要である。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 岸本幸廣

『まだ啓蒙がたりない？ 痛恨の症例』

過去の診察または検診においてウイルス性肝炎に罹患していることを告知されていながら、その後のfollow-upが十分でなく、進行した肝臓がんで発見される症例を年に数例は経験する。そのような痛恨の症例を提示することによって、まだ医師の間でさえウイルス性肝炎は将来肝臓がんに結びつくということが、十分啓蒙されていないのではという疑問を持っていただけたら、役目は果たせたと思われる。

症例1：44歳、男性。

主訴：下半身の腫れと睾丸の腫大

既往歴：H10年頃に糖尿病を指摘されており、H13に胃潰瘍による胃穿孔にて手術を受けた際、B型肝炎であること指摘されている。家族歴では肝疾患については不明である。

生活歴：飲酒歴は3合/日、喫煙歴は40本/日。

現病歴：糖尿病もB型肝炎も指摘された後、医師から特に指導を受けなかったため、放置していた。

H16年12月25日頃より、下半身の腫れに気付き、体重が急に10kg増加した。H17年1月18日より睾丸の腫れも出現したため、近医を受診し、1月19日当科へ紹介、入院となった。

現症：身長は172cm、体重は80kg（今までは70kgであった）。貧血なし、黄疸なし。腹部は膨隆しており、肝臓を右季肋下に3横指触知し、弾性硬で辺縁は鈍。腹水はないが、腹壁が浮腫状で下着の跡が容易に残る状態。また、睾丸は両方とも手拳大に腫脹しており、下肢は浮腫が著明であった。

検査成績：PLT 12.2 万/ μl 、TB1.2mg/dl、AST60IU/l、ALT54IU/l、ALP513IU/l、 γ -GTP282IU/l、TP6.0g/dl、Alb2.4g/dl、T-CHO322mg/dl、GLU378mg/dl、HbA1c8.7%、AFP28,340ng/ml、PIVKA II 707mAU/ml、ICG17.7%、HBe抗原陰性、HBe抗体陽性、

HBV-DNA (TMA) 6.3LGE/ml

画像検査：腹部超音波検査にて肝S7、8にhaloを伴ったmosaic patternを呈する50mm大の腫瘤と軽度の腹水を認めた。Dynamic CT、腹部血管造影、CT-AP、CT-Aにて肝S8の20mm大、肝S7、8の50mm大の肝細胞癌と診断した。

治療：肝障害度はB、Child-Pughスコアは7点でBであるが、ネフローゼ症候群の影響も考えて、Aと診断し、手術を施行した。術後の経過は良好である。

症例2：59歳、男性。

主訴：心窩部膨満感

既往歴：平成元年、当院にてB型慢性肝炎の治療歴有り。

家族歴：母は肝疾患にて死亡。本人は4人兄弟の3男であり、長男は当院で肝癌の治療中、次男は他病院で肝癌の治療中であった。

現病歴：当院で治療後、B型肝炎であることは知っていたが、自覚症状がないため放置していた。

H16年8月頃より上腹部の張る感じが生じていたが、我慢していた。H16年10月になり、心窩部膨満感が強くなり近医を受診し、肝臓の腫大を指摘されて当科へ紹介となった。

現症：心窩部に硬い肝臓を7横指触知する。腹水はなし。

検査成績：PLT8.3万/ μ l、TB1.8mg/dl、DB0.8mg/dl、AST547IU/l、ALT106IU/l、LDH390IU/l、ALP724IU/l、 γ -GTP209IU/l、TP6.7g/dl、Alb3.5g/dl、HBs抗原陽性、HBe抗原陽性、HBe抗体陰性、HBV-DNA(TMA) 6.1LEG/ml、HCV抗体陰性、AFP183,400ng/ml、PIVKA II270,000mAU/ml。

画像検査：腹部超音波検査、Dynamic CT、腹部血管造影検査、CT-A、CT-APのいずれの検査でも肝の両葉に瀰漫性に浸潤した腫瘤および門脈腫瘍塞栓(Vp4)を認め、浸潤型の肝細胞癌と診断した。

治療：肝障害度はBで、Child-Pughスコアは8点、Bであったが、Vp4を認めることから積極的な治療は断念した。

考察：いずれの症例も、過去にHBV陽性であることを指摘されいながら、医師から今後のfollow-upの重要性について十分説明がなされてなかったために、定期的な検査を受けず放置されていた。特に、症例2は家族歴的にも肝細胞癌発症のhigh risk群であったが、定期検査は受けていなかった。今後とも、ウイルス性慢性肝疾患患者に対しては、持続的な検査が必要であることを、いろいろな機会を捉えて訴えてゆくことが肝癌検診従事者の責務であると考えられた。

共同研究者：西向栄治、向山智之、神戸貴雅、謝花典子、古城治彦、川崎寛中

7. 各地区がん検診症例検討会開催状況

事業名	東 部			中 部			西 部			合 計		
	回数	症例数	参加者 延べ数	回数	症例数	参加者 延べ数	回数	症例数	参加者 延べ数	回数	症例数	参加者 延べ数
胃がん	18	43	674	6	17	175	22	3,741	474	46	3,801	1,323
子宮がん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
肺がん	3	20	60	10	73	90	10	71	67	23	164	217
乳がん	1	10	54	1	5	19	1	3	46	3	18	119
大腸がん	9	14	386	3	5	84	23	213	483	35	232	953
肝臓がん	2	3	64	4	9	100	5	10	85	11	22	249
合 計	33回			24回			61回			118回		

Ⅳ. 各がん検診精密検査医療機関登録について

平成10年度鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会及び各がん部会並びに鳥取県健康対策協議会各がん対策専門委員会において、がん検診の有効性向上のため、精度管理上、各がん検診精密検査医療機関登録の登録基準について、統一基準が決定し、これに基づき、各がん検診精密検査医療機関登録実施要綱等が次のとおり改正され、平成11年度以降の登録更新から適用することとしております。

なお、登録手続きは従来と同様に、地区医師会経由で申請を受付ます。ご不明の点がありましたら、鳥取県健康対策協議会事務局（☎0857-27-5566）へお問い合わせ下されば幸いです。

記

1. 改正の要点

- ① 平成11年度以降の登録更新から従事者講習会等の出席状況を点数化し、点数基準を満たしたもののについてのみ登録する。
- ② 登録基準点数は原則として、従事者講習会は5点、各地区症例検討会等、各ブロック学会等は3点とする。
- ③ 点数の取得は担当医師ごととし、申請書の様式は、出席状況が確認できるよう改正を行う。
- ④ 新規開業、県外転入等の場合についても同様に扱う。
- ⑤ 担当医師が非常勤の場合は登録を認めない。

2. 次回の更新時期

平成15年度より登録期間が、3年間となりましたので、ご留意下さい。

名 称	現在の登録期間	次回更新手続き時期	従事者講習会等 受講点数対象期間
胃がん検診精密検査	H15. 4. 1～H18. 3. 31	H17年度中	H15. 4. 1～H18. 3. 31
子宮がん検診精密検査	H15. 4. 1～H18. 3. 31	H17年度中	H15. 4. 1～H18. 3. 31
肺がん検診精密検査	H17. 4. 1～H20. 3. 31	H19年度中	H17. 4. 1～H20. 3. 31
乳がん検診精密検査	H17. 4. 1～H20. 3. 31	H19年度中	H17. 4. 1～H20. 3. 31
大腸がん検診精密検査 (注腸X線)	H17. 4. 1～H20. 3. 31	H19年度中	H17. 4. 1～H20. 3. 31
肝臓がん検診精密検査	H16. 4. 1～H19. 3. 31	H18年度中	H16. 4. 1～H19. 3. 31
肺がん一次検診	H17. 4. 1～H20. 3. 31	H19年度中	
乳がん一次検診	H15. 4. 1～H18. 3. 31	H17年度中	H15. 4. 1～H18. 3. 31

鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 精密検査として、内視鏡検査が実施できること。
- 2 生検組織の採取が可能な胃内視鏡検査装置を有し、かつ内視鏡検査に習熟した医師が対応できること。
- 3 食道、胃内視鏡検査の臨床例が年間50例以上あること。
- 4 精密検査の結果判明後は、胃精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見胃がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 胃がん検診読影委員会が主催する症例検討会に出席すること。
- 7 担当医が、胃がん検診従事者講習会を過去3年間に1度は受講していること。
- 8 担当医が、胃がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。
- 9 関連の各種学会等への参加を通じて、常に胃がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

講 習 会 等 の 区 分	開 催 頻 度	点 数
胃がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
胃がん検診症例研究会	東部6回/年 西部2回/年	3点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	3点
胃疾患研究会	東部11回/年	3点
鳥取消化器疾患研究会	東部2回/年	3点
消化器病研究会	中部6回/年	3点
山陰消化器研究会	全県6回/年	3点
消化管研究会	西部22回/年	3点
境港市胃及び大腸がん検診反省会・症例検討会	西部1回/年	3点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点

鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 コルポスコピーに習熟した医師が対応できること。
- 2 検診事業に関する調査・報告に積極的に協力すること。
- 3 検診の資料及び検診結果は3年以上にわたって整理、保存されること。
- 4 担当医が、日本産科婦人科学会専門医であること及び子宮がん検診従事者講習会及び子宮がん検診症例検討会を過去3年間に2回以上受講していること。ただし、やむを得ず、3年間のうち1回しか受講できなかった場合については、別途追加で開催する講習会に出席すれば登録条件を充たしたこととする。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度
子宮がん検診従事者講習会及び 子宮がん検診症例検討会	全県1回/年

鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 胸部エックス線撮影、CT撮影が可能であること。
- 2 気管支ファイバースコープ検査が施行でき、かつBF下細胞診が可能であること。
- 3 精検のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 4 精密検査の結果判明後は、紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見肺がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 7 担当医が、肺がん検診従事者講習会を過去3年間に1回以上受講していること。
- 8 関連各種学会等への参加を通じて、常に肺がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 医療施設内に乳房用エックス線撮影装置（「以下「乳房撮影装置」という。）及び乳房専用超音波検査装置を有すること。
- 2 乳房撮影装置は、日本医学放射線学会の定める仕様基準を満たす（満たさない場合は、線量（3 mGy以下）及び画像基準を満たす）撮影装置を備えること。
 なお、上記の基準に合致しなくても、委員長の指名する委員によって審査をした結果、当該検査を実施するに適格な撮影装置であると判定され、委員会で承認された装置であればいい。
- 3 乳房撮影を行う診療放射線技師が1名以上いること。
 なお、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催する乳房エックス線検査に関する講習会を修了していることが望ましい。
- 4 同一施設内で乳房造影、細胞診等の乳がん検査が可能であること。
- 5 精密検査結果判明後は、乳がん精密検査紹介状の所記載事項に結果を記入し、速やかに当該市町村に送付すること。
- 6 発見乳がんに関して健対協が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 7 担当医は、県、健対協、医師会が主催する乳腺疾患関係の研修会、症例検討会に積極的に参加し、乳がん研究会等各種集会への参加を通じて常に乳がん検診に関する学術的情報の補足に努めることとし、できれば日本乳癌学会の認定医であることが望ましい。
 また、乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に20点以上取得していること。ただし、「乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会」、「各地区症例検討会」、「鳥取県乳腺疾患研究会」以外の学会、研究会については、出席した事が証明できる書類等の写しを添付すること。
- 8 上記の参加条件に不備、不足があった場合には登録更新を認めない。

（別記）対象となる講習会等

講 習 会 等 の 区 分	開 催 頻 度	点 数
乳がん検診従事者講習会及び 鳥取県検診発見乳がん症例検討会	全県 1回/年	5点
日本乳癌学会	1回/年	5点
日本乳癌検診学会	1回/年	5点
各地区症例検討会	東・中・西部 各1回/年	3点
日本乳癌学会中国四国地方会	1回/年	3点
鳥取県乳腺疾患研究会	1回/年	3点
その他乳癌関連学会、研究会等	—	3点

[附則2]

- 1 責任者の欠員を生じた医療機関は遅滞なく、地区医師会を通じ、健対協に継続の意志の有無を届け出ることとし、適格な責任者がなければ登録資格は喪失するものとする。
- 2 部会等の長は、これらの医療機関に対して、必要に応じて届出機器で撮影した乳房エックス線像の提出を求めることができる。
- 3 超音波診断装置は乳房疾患診断可能な周波数（MHz）の異なる複数のプローブが必要である。
- 4 健対協は、委員会の審議までに委員長の指名する2名の委員に届出機関の視察を依頼し、その結果を委員会での審議の資料とする。

鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 全大腸内視鏡検査が実施できるか又はS状結腸内視鏡検査及び注腸エックス線検査が実施できること。
- 2 生検組織の採取が可能な内視鏡検査装置を有し、かつ内視鏡検査に習熟した医師が対応できること。
- 3 内視鏡検査の臨床例が年間30例以上あること。
- 4 注腸エックス線検査を実施する場合には、次の基準にあうエックス線装置を有すること。
 - (1) 透視台の起倒が可能で、透視下の圧迫が可能であること。
 - (2) エックス線管は小焦点であること。(小焦点は0.3mm、大焦点は1mm以下であることが望ましい)。
 - (3) エックス線管球は短時間定格が充分大きく、撮影時の露出時間は0.05秒以下であることが望ましい。
- 5 注腸エックス線写真は各地区医師会に設置した注腸エックス線写真合同読影委員会で合同判読すること。
- 6 精密検査のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 7 精密検査の結果判明後は、大腸精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 8 発見大腸がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 9 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 10 担当医が、大腸がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。ただし、大腸がん検診従事者講習会に1回必ず出席していること。
- 11 関連の各種学会等への参加を通じて、常に大腸がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
大腸がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
胃がん検診症例検討会	東部6回/年	2点
胃疾患研究会	東部11回/年	1点
消化器病研究会	中部6回/年	2点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	2点
消化管研究会	西部22回/年	1点
境港市胃及び大腸がん検診反省会・症例検討会	西部1回/年	2点
山陰消化器研究会	全県6回/年	2点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点

鳥取県大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録基準

- 1 次の基準にあうエックス線撮影装置で注腸エックス線検査が実施できること。
 - (1) 透視台の起倒が可能で、透視下の圧迫が可能であること。
 - (2) エックス線管は小焦点であること。(小焦点は0.3mm、大焦点は1mm以下であることが望ましい)。
 - (3) エックス線管球は短時間定格が充分大きく、撮影時の露出時間は0.05秒以下であることが望ましい。
- 2 注腸エックス線写真は各地区医師会に設置した注腸エックス線写真合同読影委員会で合同判読すること。
- 3 精密検査のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 4 精密検査の結果判明後は、大腸精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見大腸がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 7 担当医が、大腸がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。ただし、大腸がん検診従事者講習会に1回必ず出席していること。
- 8 関連の各種学会等への参加を通じて、常に大腸がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
大腸がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
胃がん検診症例検討会	東部6回/年	2点
胃疾患研究会	東部11回/年	1点
消化器病研究会	中部6回/年	2点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	2点
消化管研究会	西部22回/年	1点
境港市胃及び大腸がん検診反省会・症例検討会	西部1回/年	2点
山陰消化器研究会	全県6回/年	2点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点

鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 検診事業に関する調査・報告に積極的に協力すること。
 - 2 検診の資料及び結果は3年以上保存されること。
 - 3 精密検査として、少なくとも血小板検査、超音波検査、アルファフェトプロテイン（AFP）検査及びHCV-RNA検査（アンプリコア定性法）が実施できること。
 - 4 次の基準にあう超音波検査機器を有し、かつ超音波検査に習熟した医師が対応できること。
 - (1) 走査方式は、電子コンベックス方式が可能であること。
 - (2) プローブは、128素子以上の高密度多素子プローブであること。
 - (3) 2系統以上の距離計測機能を有していること。
 - (4) ポラロイド撮影装置、プリンター、マルチフォーマットカメラ、電子媒体のいずれかの画像記録装置を有していること。
 - (5) 観察用モニターは、9インチ以上であること。
- ※ 上記基準に合致しなくても本委員会が承認した装置であればよい。
- 5 腹部超音波検査の臨床例が年間200例以上あること。
 - 6 担当医が、肝臓がん検診従事者講習会等の受講点数を、過去3年間に10点以上取得していること。ただし、肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会に各1回必ず出席していること。

（別記）対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会	全県1回/年	5点
山陰肝・胆・膵研究会	全県1回/年	2点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
東部地区腹部超音波研究会	東部4回/年	2点
腹部画像診断研究会	中部6回/年	2点
中部肝疾患セミナー	中部2回/年	2点
肝・胆・膵研究会	西部6回/年	2点
消化器超音波研究会	西部4回/年	2点
西部腹部超音波研究会	西部2回/年	2点
肝がん撲滅運動講演会	全県1回/年	3点

（注） 上記以外の講習会等については、評価委員会及び専門委員会においてその都度協議することとする。

鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録基準

- 1 登録資格は医師とし、専攻科は問わない。
- 2 乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に12点以上取得していること。ただし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見がん症例検討会には、必ず1回は出席していること。
- 3 新規登録の場合は、次のいずれかを受講すること。
 - (1) 原則として健対協の主催する一次検診医講習会を受講すること。
 なお、この講習会は、乳がん及び乳がん検診についての一般的知識、特に視診及び触診に重点をおいた診断法、触診の実技の習得を目的とし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会に引き続いて年1回開催するものである。
 - (2) (1)の講習会を受ける事ができなかった場合は、部会等の長が指名した部会及び委員会の医師系委員から(1)に準じた指導を受けること。この場合、指導した医師が、一次検診医として十分能力が得られたと認定した時点をもって終了する。
- 4 上記2、3にかかわらず、次に該当する場合は、登録できるものとする。
 - (1) 日本乳癌学会認定の専門医、認定医
 - (2) 日本乳癌学会又は日本乳癌検診学会の役員

(別記) 対象となる講習会等

講 習 会 等 の 区 分	開 催 頻 度	点 数
乳がん検診従事者講習会及び 鳥取県検診発見乳がん症例検討会	全県1回/年	5点
日本乳癌学会	1回/年	5点
日本乳癌検診学会	1回/年	5点
各地区症例検討会	東・中・西部 各1回/年	3点
日本乳癌学会中国四国地方会	1回/年	3点
鳥取県乳腺疾患研究会	1回/年	3点
その他乳癌関連学会、研究会等	—	3点

あ と が き

検診事業の運営上、重要な一面を占める精度管理については、成人病検診管理指導協議会の各部会と鳥取県健康対策協議会の各検診対策専門委員会との合同会議で検討を重ね、会長の言葉にもあるように一層の向上に努めております。

鳥取県で実施している各種がん検診の実績を全て公表し、精度管理について評価、批判を戴くための報告書の第11報です。

この報告書は単年度のがん検診の詳細な全体像も一覽いただけるものと考えます。この点においても参考にして戴ければ幸いです。

ただ、がん検診実績は追跡調査、予後調査まで含まれているため、前年度の実績内容となっておりますので、ご承知下さい。

編集にあたり、各部会長、各専門委員長の先生方には多々御助言を戴きました。厚く御礼申し上げます。

最後に、発刊に際し、県医師会副会長岡本公男先生に御指導をいただきました。また、県医師会事務局の岩垣陽子さん、田中貴裕さんには何時もの様に強力なお手伝いを頂きました。

皆様に心から御礼申し上げます。

鳥取県健康対策協議会

理 事 宮 崎 博 実